

# 令和4年度 事業報告及び決算書



みんなが参加し、  
支えあうまちづくり



社会福祉法人

千代田区社会福祉協議会



# < 目 次 >

## 第1章 千代田区社会福祉協議会の概要

I	千代田区社会福祉協議会の組織	7
II	千代田区社会福祉協議会の事業体系	9

## 第2章 令和4年度 事業報告

### I 地域福祉推進事業（担当：地域支援係）

1	たすけあい・居場所づくり事業	10
	（1）ふれあい福祉まつり	10
	（2）サロン事業	11
	（3）ご近所福祉活動（町会福祉部活動）事業	15
	（4）アキバ分室ご近所福祉活動（町会福祉部活動）事業	19
	（5）広報事業（地域情報メールマガジン）	19
	（6）高齢者体力維持等支援業務（シルバートレーニング）	20
	（7）その他の事業	22
2	ふたばサービス事業（住民参加のたすけあい家事支援サービス）	23
3	千代田区ファミリー・サポート・センター事業	25
4	アキバ分室	30

### II 援護事業（担当：援護係）

1	車いす貸出事業	33
	（1）車いす貸し出し	33
	（2）車いすステーション	33
2	ひとり親家庭支援事業	33
	（1）ひとり親家庭児童入学祝い金贈呈事業	33
	（2）ひとり親家庭フードパントリー	34
3	地域公益活動	34
4	生活福祉資金等貸付事業	35
5	地域団体助成事業	37
	（1）地域団体助成事業	37
	（2）精神障がいのある方への支援	38
6	共同募金事業	38

(1) 歳末地域たすけあい募金	38
(2) 赤い羽根共同募金運動	39

### Ⅲ 権利擁護事業・成年後見制度利用支援事業（担当：成年後見係）

＜ちよだ成年後見センターの運営＞

1 福祉サービス利用支援事業	40
(1) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）	40
(2) 財産保管・管理サービス	40
(3) 将来に備えるサービス	40
(4) 権利擁護・成年後見に関する相談対応件数	41
2 福祉専門法律相談	41
3 成年後見制度推進機関運営事業	42
(1) 権利擁護人材の育成	42
(2) 成年後見制度の利用相談・申立支援	45
(3) 法人後見受任事業	45
(4) 運営委員会／区民後見支援委員会／権利擁護活動計画策定委員会	46
4 理解促進事業（説明会・講演会等）	47

### Ⅳ ボランティア・市民活動推進事業（担当：ボランティア係）

＜ちよだボランティアセンターの運営＞

1 沿革	49
2 事業概要	49
3 ボランティア活動状況	49
(1) 令和2年度～令和4年度活動状況	49
(2) 令和4年度活動対象別ボランティア活動件数及び活動延人数	50
4 ボランティア活動支援事業	50
(1) 相談・コーディネート	50
(2) 理解促進事業	50
(3) ボランティアグループ・NPO支援	52
(4) 学生向けのボランティア活動支援事業	53
5 企業・社員のボランティア活動推進	53
(1) ちよだボランティアクラブ	53
(2) 区内企業による地域福祉課題を解決するプロジェクト	55

(3) ちよだ企業ボランティア連絡会	56
6 助成事業	56
(1) 地域福祉活動提案事業助成金	56
(2) ボランティアグループ広報活動支援助成金（広報プロジェクト助成事業）	57
(3) 配食サービス活動への支援・助成	58
7 ボランティア保険・行事保険	58
8 広報事業	59
(1) ボランティアセンター情報誌	59
(2) ホームページ維持管理	59
(3) ボランティア情報ステーションの設置	60
(4) メールマガジンの発行	60
9 災害ボランティアセンター事業	60
(1) 帰宅困難者対応訓練、避難所防災訓練	61
(2) ちよだモデルネットワーク（CMN）	61
(3) 災害ボランティアセンター開設・運営訓練	61
(4) 災害時寄り添いサポーター養成講座	62
(5) 災害ボランティアフォーラム	62
(6) 区内大学災害救援ボランティア養成講座助成	62
(7) 災害ボランティア活動助成金	62
10 ボランティアセンター運営事業	63
(1) ちよだボランティアセンター運営委員会	63
(2) ボランティア・市民活動調査	63
11 千代田区事業の受託	63
(1) CD版（広報千代田）、「ちよだ区議会だより」の発行	63
(2) 介護保険サポーター・ポイント制度	64
<b>V 法人運営事業（担当：総務係）</b>	
1 組織運営・広報活動・計画策定	65
(1) 地域福祉活動計画策定	65
(2) 広報活動	65
(3) 組織強化活動	66

<b>VI 高齢者活動センターの運営</b> （指定管理者受託 担当：高齢者活動センター）	
1 利用対象・休館日等	69
2 利用実績	69
3 事業内容	70
(1) 健康づくり	70
(2) 講座・講習会	71
(3) 企画運営協力事業	73
(4) 長寿会活動支援	73
(5) 同好会活動・利用者有志活動支援	73
(6) 季節・レクリエーション事業	76
(7) ふれあいクラブ	76
(8) ボランティア活動	77
(9) 見学・実習等受入	77
5 PR等広報活動	77
6 SNSを活用した動画配信等（コロナ禍における代替事業）	78
<b>VII ちよだで多世代交流 Ciao!の運営</b> （指定管理者受託 担当：多世代交流事業担当）	
1 利用対象等	79
2 事業等実施状況概要	79
3 事業内容	79
(1) 多世代交流事業	79
(2) 協働事業	84
(3) ボランティア活動	84
<b>VIII 研修センターの運営</b> （指定管理者受託 担当：研修センター）	
1 施設概要	85
2 利用対象等	85
3 事業等実施状況概要	86
4 事業内容	86
(1) ボランティアの育成と活動支援	86
(2) 家族介護者のスキルアップ	87
(3) 介護・福祉従事者のスキルアップ	88
(4) 区民向け福祉・医療学習	92

(5) 介護・福祉人材の育成と就職・復職支援	93
(6) 介護カウンセリング	95
(7) 協力研修	95
(8) 広報事業（メールマガジン）	95

### 第3章 令和4年度 会計決算書（計算書類等）

1 財産目録	99
2 法人単位計算書類	
(1) 法人単位資金収支計算書 第一号第一様式	100
(2) 法人単位事業活動計算書 第二号第一様式	101
(3) 法人単位貸借対照表 第三号第一様式	102
(4) 資金収支内訳表 第一号第二様式	103
(5) 事業活動内訳表 第二号第二様式	104
(6) 貸借対照表内訳表 第三号第二様式	105
3 事業区分の計算書類	
【社会福祉事業区分内訳表】	
(1) 社会福祉事業区分 資金収支内訳表 第一号第三様式	106
(2) 社会福祉事業区分 事業活動内訳表 第二号第三様式	107
(3) 社会福祉事業区分 貸借対照表内訳表 第三号第三様式	108
(4) 計算書類に対する注記	109
【拠点区分の計算書類】	
(1) 社会福祉事業拠点区分 資金収支計算書 第一号第四様式	112
(2) 社会福祉事業拠点区分 事業活動計算書 第二号第四様式	115
(3) 社会福祉事業拠点区分 貸借対照表 第三号第四様式	118
(4) 計算書類に対する注記（社会福祉事業拠点区分用）	119
(5) 指定管理事業拠点区分 資金収支計算書 第一号第四様式	121
(6) 指定管理事業拠点区分 事業活動計算書 第二号第四様式	123
(7) 指定管理事業拠点区分 貸借対照表 第三号第四様式	125
(8) 計算書類に対する注記（指定管理事業拠点区分用）	126
(9) 自動販売機設置等事業拠点区分 資金収支計算書 第一号第四様式	128
(10) 自動販売機設置等事業拠点区分 事業活動計算書 第二号第四様式	129

---

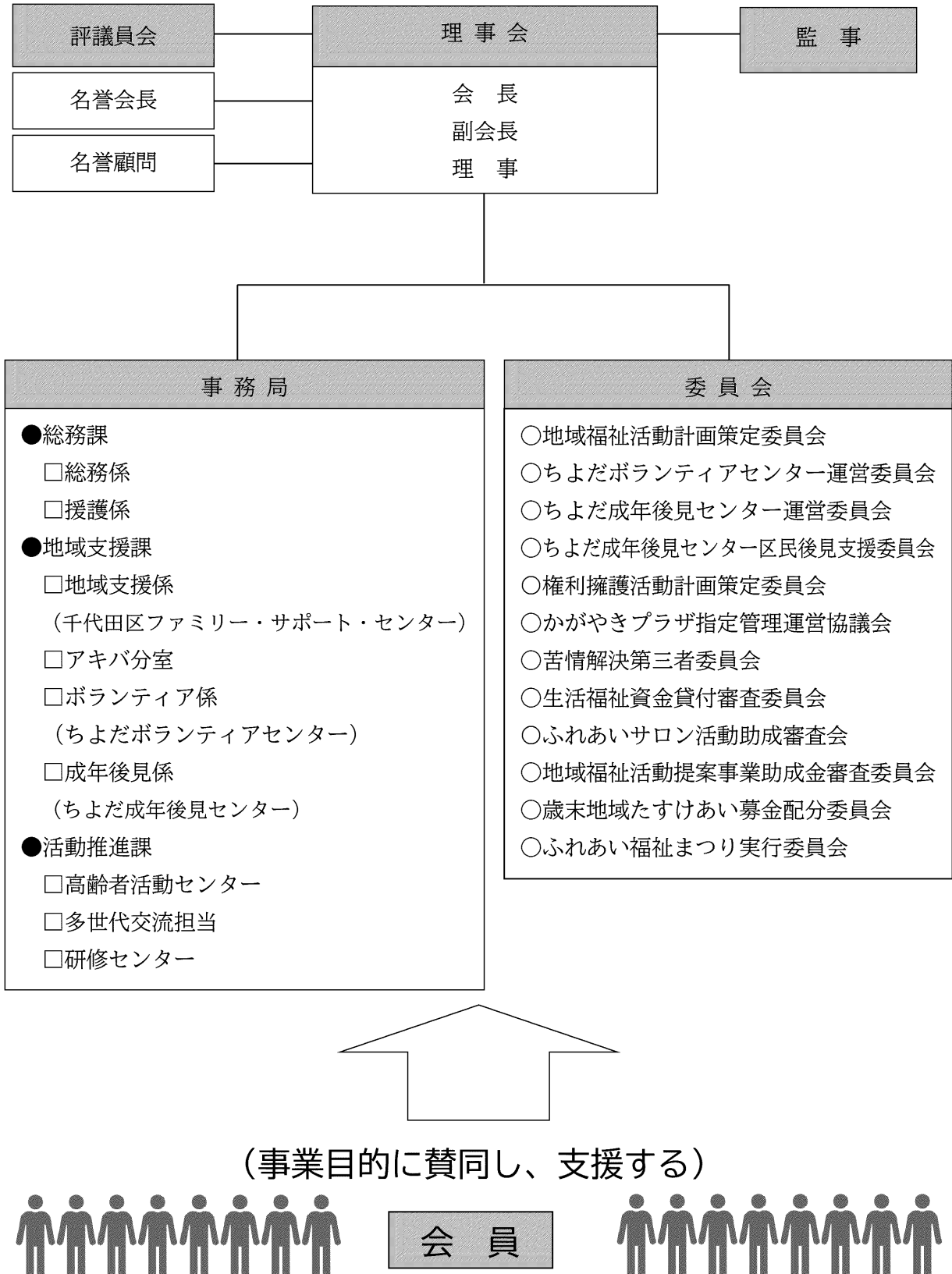
(11) 自動販売機設置等事業拠点区分 貸借対照表 第三号第四様式	130
(12) 計算書類に対する注記(自動販売機設置等事業拠点区分用)	131
4 付表	
(1) 会計区分表	133
(2) 令和4年度歳末地域たすけあい募金 配分実績表	134
(3) 固定資産管理台帳	135
(4) 高額寄付者一覧表	137
(5) 千代田区社会福祉協議会が目指すもの	140
5 監査報告書	141



# 第1章 千代田区社会福祉協議会の概要

## I 千代田区社会福祉協議会の組織

### 1 全体組織（令和5年4月1日現在）



## 2 役員名簿 敬称略

※令和5年4月1日現在

役 職	任期：令和5年度定時評議員会まで	
	氏 名	
会 長	田 邊	恵 三
副 会 長	石 田	勝 彦
副 会 長	小 野 田	文 紀
副 会 長	角 谷	幸 子
理 事	井 田	洋 二
理 事	横 山	義 文
理 事	西 秋	美 岐 子
理 事	篠 田	晴 久
理 事	下 川	衛
理 事	石 渡	伸 幸
理 事	堀 田	健 二
理 事	細 越	正 明
常務理事	歌 川	さとみ
監 事	鎌 倉	勤
監 事	榎 本	滋
監 事	若 月	曠 義

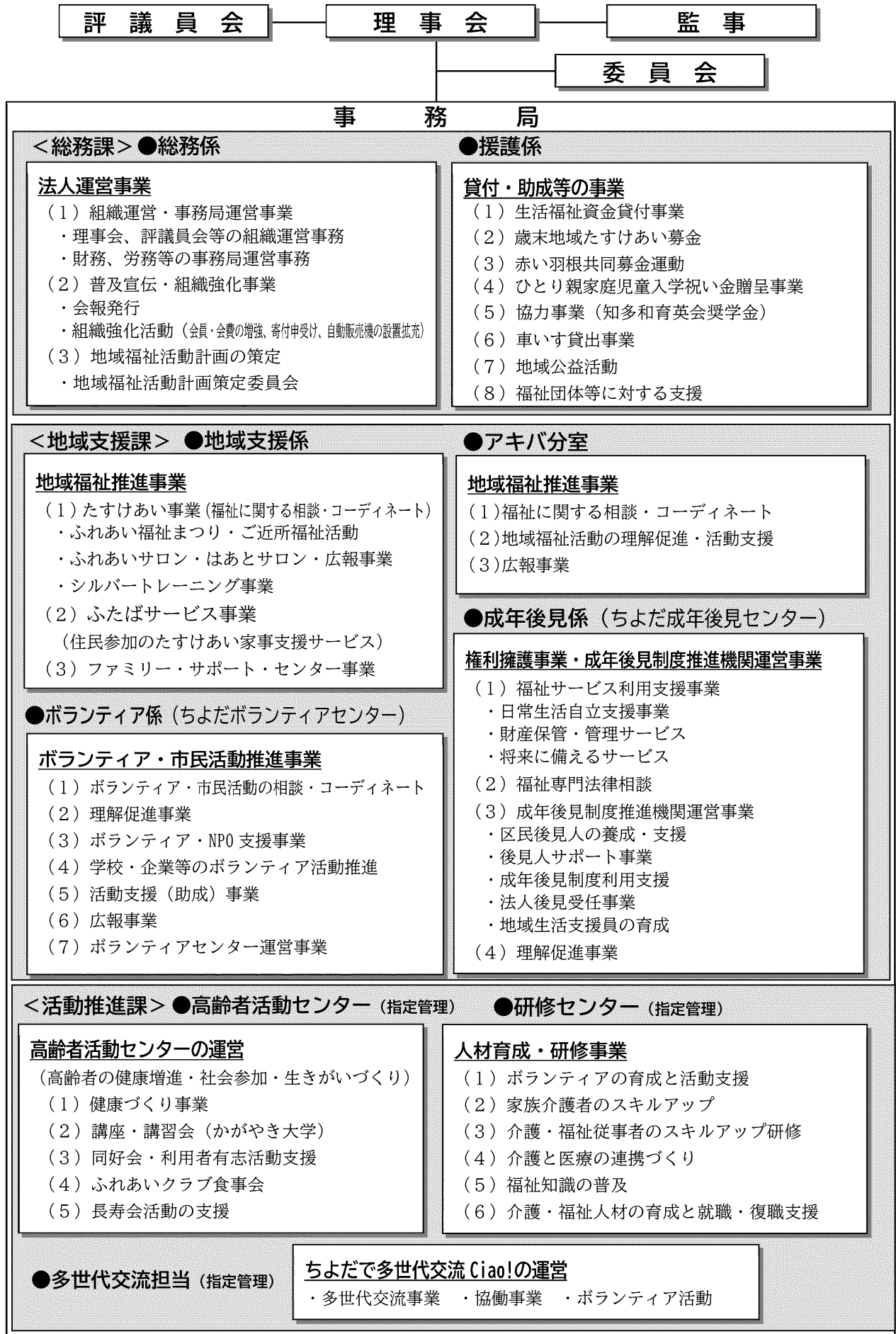
## 3 会議等開催状況

会 議 名	回 数
理事会	5 回
監事監査	1 回
評議員会	2 回
地域福祉活動計画策定委員会	5 回
ふれあい福祉まつり実行委員会	4 回
歳末地域たすけあい募金配分委員会	2 回（うち1回は書面での開催）
ちよだ成年後見センター運営委員会	2 回
ちよだ成年後見センター区民後見支援委員会	3 回
権利擁護活動計画策定委員会	4 回
ちよだボランティアセンター運営委員会	2 回
地域福祉活動提案事業助成金審査委員会	1 回
かがやきプラザ指定管理運営協議会	2 回
ふれあいサロン活動助成審査会	2 回（すべて書面での開催）

※書面での開催については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため。

# II 千代田区社会福祉協議会の事業体系

令和5年4月1日現在



## 第2章 令和4年度事業報告

### I 地域福祉推進事業

#### 1 たすけあい・居場所づくり事業

##### (1) ふれあい福祉まつり

**目的** 地域とのつながりを深め、共に支え合ういきいきとした“ちよだの福祉コミュニティ”を創ることを目的とします。

**運営沿革** ふれあい福祉まつり実行委員会  
平成15年度から千代田区全体の福祉の祭典として、「障がい者の日記念の集い」「ボランティアフェスティバル」「いきいきプラザまつり」をすべて統合し、「福祉まつり」の名称で開催していましたが、令和元年度から連合長寿会主催のふれあい秋まつりも統合したことに伴い、名称を「ふれあい福祉まつり」と改めました。



※令和元年度は台風19号接近の影響により中止。令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。

#### 事業実績

第20回ふれあい福祉まつり	
開催日	10月15日(土)
会場	千代田区役所、かがやきプラザ
実行委員会	委員数13名 計4回開催
内容	<p>(メイン企画) ～昔なつかし駄菓子屋さん～ボランティア・福祉団体ブースを回ってスタンプを集め、「駄菓子詰め放題」「福引き」に挑戦。</p> <p>(はあとステージ) 各地区長寿会、ボランティア地域団体等の演目披露、フレイル予防トークショー</p> <p>(多世代交流企画) 「編みクラゲ」ワークショップ、リメイクおもちゃ工場、ポッチャ広場</p> <p>(その他企画) ちよだお弁当市、フクシ☆チャレンジ、活動紹介・物販、いろいろな車を体験しよう、防災関係コーナー、フレイルチェックイベント、介護予防トレーニングでポイ活しよう</p>
参加者	入場者数 延べ 3,100名

**予算決算** 令和4年度決算額 4,232,441円  
令和5年度予算額 4,400千円

## (2) サロン事業

目 的	<p>地域の方々が公共施設や自宅などを活用し、高齢者・障がい者・子育て中の親子などを対象とした健康増進や生きがいづくり、交流などを行うふれあいサロン活動に対して支援を行います。</p> <p>なお、はあとサロン（いきいきプラザ一番町・和泉会館に設置）とアキバみんなのサロン、三崎町ふれあいサロンについては、職員が常駐し、地域の高齢者が気軽に立ち寄れるスペースとし、高齢者の見守り態勢をつくります。</p> <p>アキバみんなのサロンは高齢者に限定せず、区内在住どなたでも対象にしています。</p>
根 拠	<p>ふれあいサロン登録要綱、ふれあいサロン活動助成要綱</p> <p>はあとサロン実施要綱</p>
内 容	<p>ふれあいサロン実施グループに対しその経費の一部を補助</p> <p>はあとサロンの運営</p>
予算決算	<p>①ふれあいサロン</p> <p>令和4年度決算額 3,950,742円</p> <p>令和5年度予算額 5,693千円</p> <p>②はあとサロン</p> <p>令和4年度決算額 6,897,876円</p> <p>令和5年度予算額 7,416千円</p> <p>③ウエルネスマージャン初心者教室</p> <p>令和4年度決算額 207,444円</p> <p>令和5年度予算額 312千円</p> <p>④千代田いきいき健康マージャン交流事業</p> <p>令和4年度決算額 1,973,927円</p> <p>令和5年度予算額 2,774千円</p>
沿 革	<p>平成15年度 ふれあいサロン助成開始</p> <p>平成20年度 はあとサロンを開室（いきいきプラザ一番町・ジロール神田佐久間町）、三崎町ふれあいサロンを開室、ふれあい健康マージャン教室を開始</p> <p>平成21年度 3か所目のはあとサロンを開室（かんだ連雀） 計3ヶ所のはあとサロンを運営</p> <p>平成28年度 9月にジロールはあとサロン閉室 10月に和泉はあとサロン開室 11月より三崎町ふれあいサロン火曜日閉室</p> <p>令和元年度 8月よりふれあいサロン登録要件の見直し ふれあいサロン活動助成要綱の整備</p> <p>令和3年度 ①介護予防型ふれあいサロン②居場所型ふれあいサロンに対する活動助成および①に対する立ち上げ助成を新設。 かんだ連雀の連雀はあとサロンは令和3年3月で閉室 4月にアキバ分室開設によりアキバみんなのサロンを開設</p>

### サロン実施状況

区分 \ 年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
はあとサロン (職員配置型サロン)	4カ所 (三崎町ふれあいサロン含む)	4カ所 (三崎町ふれあいサロン含む)	4カ所 (三崎町ふれあいサロン含む)
ふれあいサロン (ボランティアサロン)	31カ所	29カ所	31カ所
(その他のサロン)	2カ所	2カ所	2カ所

※同一のグループが別の会場でサロンを開室した場合は1か所としてカウントする。  
 ※活動休止中のサロン、年度途中で活動終了となったサロンもカウントする。

## 事業実績

### ①はあとサロン・みんなのサロン（職員配置型サロン）

名称	一番町 はあとサロン	和泉 はあとサロン	アキバみんなのサロン
実施回数	99回	96回	100回
参加者数	899人 男72人 女827人	697人 男277人 女420人	661人 男169人 女462人 (内、子ども30人)
ボランティア活動数	218人	185人	345人
会場	いきいきプラザ一番町	和泉会館	アキバ分室



一番町はあとサロン



和泉はあとサロン



アキバみんなのサロン

### ②三崎町ふれあいサロン（職員配置型サロン）

名称	三崎町ふれあいサロン
実施回数	121回
参加者数	612人 (男197人・女415人)
ボランティア活動数	91人
会場	三崎町ふれあいサロン



三崎町ふれあいサロン

### ③アキバ子育て広場

名称	アキバ子育て広場
実施回数	51回
参加者数	親子 498人 (男 144人・女 354人)
ボランティア活動数	21人
会場	アキバ分室開放スペース『みりおん』



アキバ子育て広場  
 ※リトミック開催時の様子

名称	アキバ子育て広場特別企画 『ソックスモンキーを作ろう』
実施回数	(1) 7月22, 29日 (金) (2) 3月14, 28日 (火) 全2回
参加者数	(1) 7人 (2) 9人
ボランティア活動数	(1) 4人 (2) 6人
会場	アキバ分室開放スペース『みりおん』



アキバ子育て広場特別企画  
 『ソックスモンキーを作ろう』

## ④帰ってきたポイ活！～ポイントをためて楽しく健康に！～

内 容	介護予防・地域参加のきっかけづくりとして、ふれあい福祉まつりの企画を継承して実施。 ①ポイ活期間中に各会場（はあとサロン）でポイントカードを配付 ②各はあとサロンの体操プログラムに参加し、ポイントをためる（1回の参加で1ポイント獲得） ③ポイントカードと引き換えに景品を交換
会 場	一番町はあとサロン・三崎町はあとサロン・アキバみんなのサロン・和泉はあとサロン
開催日 参加者数	●ポイ活期間：2月3日（金）～3月14日（火） ●ポイ活のべ参加者数：190名 （内訳）一番町：48名／三崎町：59名／アキバ：51名／和泉：32名

## ⑤子育てサロン

内 容	交流、絵本よみきかせ、子育て相談、季節行事など
会 場	4月～7月：神田公園区民館、9月～3月：かがやきプラザ（1月アキバ分室）
開催日 参加者数	<p>&lt;令和4年&gt;</p> <p>4月20日（水）親子4組 ボランティア7人 5月18日（水）親子1組 ボランティア1人 6月15日（水）親子3組 ボランティア7人 7月20日（水）親子11組 ボランティア4人 9月21日（水）親子17組 ボランティア4人 10月19日（水）親子14組 ボランティア4人 11月16日（水）親子3組 ボランティア8人 12月21日（水）親子25組 ボランティア2人</p> <p>&lt;令和5年&gt;</p> <p>1月16日（月）親子13組 ボランティア5人 2月15日（水）親子11組 ボランティア5人 3月15日（水）親子7組 ボランティア3人</p> <p>※ボランティア人数には、各回絵本よみきかせボランティア2～3人含む。</p>



※平成28年度より、子育て支援事業をサロン事業に統合。

## ⑥ ふれあいサロン活動助成金

- 目 的 ふれあいサロン活動を実施するにあたり、その活動や立ち上げ経費の一部を助成することにより、千代田区内におけるふれあいサロン活動を拡充し地域福祉活動の推進を図ります。
- 対 象 (1)介護予防型ふれあいサロン活動  
体操などの介護予防に取り組みながら、住民同士のたすけあい、支え合いの活動を行うふれあいサロン活動。原則月3回以上で、参加者が10名以上。  
(2)居場所型ふれあいサロン活動  
身近な場所において高齢者や障がい者、子育て中の親などの居場所をつくり、交流や仲間づくり等を行うふれあいサロン活動。原則月1回以上。
- 内 容 (1)介護予防型ふれあいサロン  
・活動助成金 初年度上限は24万円  
翌年度～20名以上年間上限30万円/10名以上20名未満  
年間上限24万円  
・立ち上げ助成金 上限10万円

## (2)居場所型ふれあいサロン

・活動助成金 年額上限10万円

沿革 平成26年度より地域福祉活動提案助成金として助成。  
令和2年度よりふれあいサロン活動助成金として新たに要綱を制定。

## 事業実績 令和4年ふれあいサロン活動助成金支払実績

種類	サロン名	助成開始月	申請額	助成額
居場所型	番町おもちゃ病院	令和4年4月	100,000円	100,000円
居場所型	ふれあいサロン万世	令和4年4月	82,000円	60,120円
居場所型	ふれあいサロンココ	令和4年4月	70,000円	76,889円
居場所型	ふれあいサロン神田	令和4年4月	70,000円	58,276円
居場所型	ドレミの丘	令和4年4月	150,000円	149,746円
居場所型	家族介護者サロン♡ランプの灯	令和4年4月	84,000円	41,648円
居場所型	子育てサロン セボン	令和4年4月	100,000円	23,918円
居場所型	さくらの会	令和4年4月	60,000円	48,440円
居場所型	ちよだワークミーティング	令和4年4月	100,000円	61,232円
居場所型	四季の会	令和4年4月	100,000円	94,448円
居場所型	一般社団法人 ちよママ	令和4年4月	100,000円	86,777円
居場所型	キッズキッチンBonape (ボナペ)	令和4年4月	150,000円	150,000円
居場所型	就学準備の幼児教室「りりーふ」	令和4年4月	85,000円	85,000円
居場所型	ふれあいサロンクローバー	令和4年4月	100,000円	23,275円
居場所型	子育てママの息抜きサロン	令和4年4月	60,000円	80,118円
居場所型	Chiyoda update 勉強会・読書会	令和4年4月	100,000円	0円
居場所型	オヤコプラス+	令和4年4月	100,000円	100,000円
居場所型	ふれあいいいききサロンヒルフェ	令和4年4月	100,000円	65,828円
居場所型	学習サポート「セージ」	令和4年4月	75,000円	25,129円
居場所型	こどもひろば ながさんのおうち	令和4年4月	100,000円	81,281円
介護予防型	バーディー木曜会	令和4年4月	240,000円	223,516円
介護予防型	ちよだ元気クラブ	令和4年4月	240,000円	239,506円
介護予防型	エクサゴールド	令和4年4月	240,000円	238,533円
介護予防型	イーグルクラブ	令和4年4月	240,000円	240,000円
介護予防型	にこにこ体操クラブ(月)	令和4年4月	240,000円	240,000円
介護予防型	にこにこ体操クラブ(火)	令和4年4月	240,000円	240,000円
介護予防型	ウォーキングの会	令和4年4月	120,000円	120,000円



## ⑦ ウエルネスマージャン初心者教室／全12回 8月23日（火）～11月8日（火）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
参加者数	37名	中止	中止

## ⑧ 千代田区いきいき健康マージャン交流祭（場所：KKRホテル東京）

**目的** 健康マージャンを通じて楽しみながら手先と脳を使い、ひきこもり防止、健康増進、を図るとともに、健康について意識してもらい、千代田区の高齢者福祉に寄与します。また、健康マージャン教室終了後の地域のつながり、高齢者の仲間、居場所づくりを図ります。

**根拠** 千代田区いきいき健康マージャン交流祭実施要綱

**内容** (1) 1対局50分×3回を手積みで実施。  
(2) 井出洋介プロによるプチ脳トレ講座。

**予算決算** 令和4年度決算額 1,973,927円

令和5年度予算額 2,774千円

**沿革** 平成27年度より毎年実施。

※令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。

年度	令和4年度(第8回)	令和3年度(第7回)	令和2年度(第6回)
開催日	2月23日(木・祝)	中止	中止
参加者数	75名		

## (3) ご近所福祉活動（町会福祉部活動）事業

**目的** 町会等の地域を単位とする地域福祉活動の組織づくりを支援し、地域住民が互いに支え合える地域社会の実現に努めます。

**根拠** ご近所福祉活動事業実施要綱

**内容** ①ご近所福祉活動をすすめる町会に活動助成金（年間6万円）。  
②ご近所福祉活動の企画提案、活動の支援。  
③困ったことがあったら相談にのり、必要に応じて関係機関へつなぐ。  
④新しい福祉サービスなど地域福祉情報の提供。  
⑤研修会や福祉部同士の情報交換。  
⑥活動中の事故に備えた保険に加入。

社協職員が地区担当制をとり、地域との顔の見える関係づくりをすすめています。

**予算決算** 令和4年度決算額 4,967,923円

令和5年度予算額 6,476千円

**沿革** 平成10年度より開始

**事業実績** ※（ ）内は年度内新規加入町会数

年度	令和4年度 (内年度内設置町会数)	令和3年度 (内年度内設置町会数)	令和2年度 (内年度内設置町会数)
区分			
福祉部設置町会	67町会 (1町会)	66町会	66町会

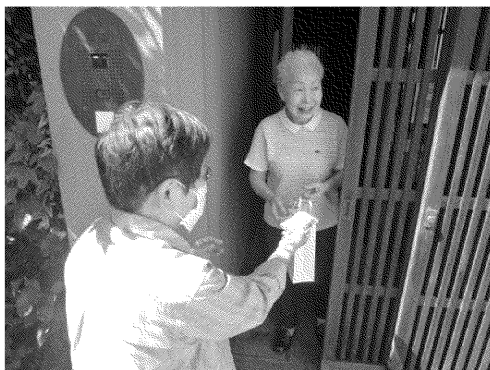
…町会福祉部の主な活動内容…

※集計数 60町会（福祉部設置67町会のうち）令和5年4月末集計

町会福祉部活動内容	令和4年度	令和3年度	令和2年度
高齢者への訪問、安否確認の実施	51町会 (のべ201回)	56町会 (のべ169回)	48町会
福祉部打合せ、社協との情報交換の実施	55町会 (のべ115回)	28町会 (のべ57回)	30町会
地域イベント時の対応・送迎等	15町会 (のべ15回)	3町会 (のべ4回)	3町会
茶話会、食事会の実施	28町会	15町会	2町会
延べ実施回数	104回	29回	2回
講座、勉強会等の実施	34町会	14町会	13町会

事業項目	内容／実施日	実績
<p>ご近所福祉活動 ICT活用講座</p>	<p>L I N EやZ O Oなどの使い方を学びたい地域住民（町会福祉部）と、大学生ボランティアをコーディネート。</p> <p>①個人間でのつながりや町会内でのつながりの構築。</p> <p>②オンラインを使えるようになることで、高齢者自身で有益な情報の取得や、オンライン講座の参加につながるなど、オンラインを身近なものとする。</p> <p>③学生と住民の交流機会とし、コロナ禍でもつながりを構築していく。</p> <p>&lt;実施町会&gt;</p> <p>①四番町町会 i P a d講習会 5月12日（木）、19日（木）、26日（木） 協力：上智大学学生ボランティア ちよだデジタルサポートボランティア</p> <p>②飯田橋町会 スマホ教室 12月18日（日） 協力：I V U S A三崎町クラブ</p> <p>③岩本町三丁目町会 スマホ・L I N E講座 2月15日（水） 協力：I V U S A市ヶ谷クラブ 地区担当職員</p> <p>*町会独自で実施した</p> <p>①富士見二丁目町会 スマホ・L I N E講座 5月24日（火）、7月2日（土） 協力：法政大学ボランティアセンター</p> <p>②西神田町会 スマホ講座 7月16日（土） ※講師はなく、出席者同士で教え合う内容</p>	<p>参加者数（のべ人数）</p> <p>①四番町町会 のべ34人 （町会員5人） （学生ボランティア5人） （デジサポ1人）</p> <p>②飯田橋町会 のべ25人 （町会員10人） （学生ボランティア15人）</p> <p>③岩本町三丁目町会 のべ26人 （町会員18人） （学生ボランティア1人） （地区担当職員7人）</p>
<p>町会福祉部連絡会</p>	<p>①新型コロナウイルスの影響によって、停滞傾向にある町会福祉部における活動確認と今後の見通しの情報共有。</p> <p>②町会福祉部同士の情報交換や地域情報の共有により、活動の課題や困りごと解決のきっかけをつくる。</p> <p>③行政・社協・あんしんセンター・相談センターをはじめとする区の関係機関等による情報提供による、各町会福祉部の活動推進。</p> <p>◆日時/場所 ※時間は和泉橋地区が10:00~11:30 それ以外の地区は14:00~15:30</p> <p>① 麴町地区 8月1日（月） 麴町区民館 ② 富士見地区 8月4日（木） 富士見区民館 ③ 神保町地区 7月22日（金） かがやきプラザ ④ 神田公園地区 7月27日（水） 神田公園区民館 ⑤ 万世橋地区 7月14日（木） アキバ分室 ⑥ 和泉橋地区 7月12日（火） 和泉橋区民館</p>	<p>参加者数(合計 201名)</p> <p>① 麴町地区 20名 （関係機関・社協職員 13名）</p> <p>② 富士見地区 13名 （関係機関・社協職員 12名）</p> <p>③ 神保町地区 19名 （関係機関・社協職員 12名）</p> <p>④ 神田公園地区 16名 （関係機関・社協職員 16名）</p> <p>⑤ 万世橋地区 24名 （関係機関・社協職員 15名）</p> <p>⑥ 和泉橋地区 26名 （関係機関・社協職員 15名）</p>

事業項目	内容／実施日	実績
「地域の見守り・声掛け学習会」	見守り活動の際に、気になる方と会った時や異変を感じた時など、その対応方法を学び、不安を解決する内容で開催。※研修センターと合同開催  ◆日時 ① 3月18日(土) 10:30~12:00 ② 3月20日(月) 14:00~15:30	参加者数(合計) 58名
ご近所かわらばん	「ご近所福祉活動(町会福祉部活動)」の推進のため、地域の福祉部活動の取り組みの紹介や、新しい福祉サービス・地域の情報を発信。  ①47号 発行日:5月31日(火) (全地区版) ②48号 発行日:9月20日(火) (地区別版) ③49号 発行日:2月20日(月) (地区別版)	①発行部数:9,000部 ②発行部数 麴町:1,200部 富士見:1,400部 神保町:2,100部 神田公園:1,100部 万世橋:2,000部 和泉橋:1,200部 ③発行部数 麴町:1,200部 富士見:1,400部 神保町:2,100部 神田公園:1,100部 万世橋:2,000部 和泉橋:1,200部
ご近所かわらばん(ウェブ版)	ご近所福祉活動事業担当者および、各地区担当が発信するブログで、地域の福祉部活動の取り組み、地域やご近所の集まり・イベント情報などを中心に発信。 ※ご近所かわらばん(夏の地区別版)発行にかえてウェブにて情報発信	※随時発信
地区担当制	社協の地区担当職員が、それぞれの地区の町会および福祉部の実施する事業やイベント等へ参加し、福祉部の活動の推進、地域の皆様との顔の見える関係づくりを行った。	<参加回数/のべ人数> 麴町地区:16回/43人 富士見地区:14回/31人 神保町地区:25回/49人 神田公園地区:19回/56人 万世橋地区:14回/34人 和泉橋地区:14回/38人
地区担当職員学習会	地域とかわるうえで必要な視点や知識、相談援助技術について講義やグループワークを通じて学んだ。 ・信頼関係を構築するための聴き方 ・ニーズ把握のポイント ・連携、協働のポイント  ◆日時 3月20日(月) 9:30~11:30	参加者数:ご近所福祉活動 地区担当職員 24名



高齢者宅への戸別訪問  
(富士見一丁目町会)



筋力アップ体操  
(神田山本町会)

#### (4) アキバ分室ご近所福祉活動(町会福祉部活動) 事業

目的	アキバ分室管内である万世橋地区・和泉橋地区の町会等の地域福祉活動の組織づくりを支援し、地域住民が互いに支え合える地域社会の実現に努めます。
根拠	ご近所福祉活動事業実施要綱
事業実績	コロナ禍で町会同士の情報交換の機会の減少していたため、他町会の活動の様子がわかる『令和4年度ご近所福祉活動事例集』(神田公園・万世橋・和泉橋地区版)を作成・配布しました。作成にあたり、町会へ書面または電話でのアンケート調査を行いました。また、活動の役立つ『ご近所学習会』開催しました。

##### ①ご近所福祉活動事例集

	アンケート対象町会数	アンケート回答町会数	活動件数
神田公園地区	20 町会	8 町会	6 件
万世橋地区	21 町会	15 町会	11 件
和泉橋地区	25 町会	19 町会	12 件

##### ②ご近所福祉活動学習会

内容	参加者数	講師	日時
ひきこもりに関する ご近所福祉活動学習会	32 名	①児童家庭・支援センター職員 ②東京都ひきこもりネットワーク職員	2月25日(土)

#### (5) 広報事業(地域情報メールマガジン)

目的	地域住民、ボランティア、企業、NPO等が連携を図るための情報を掲載したメールマガジンを配信することで、地域福祉活動への参加、ならびに推進を図ります。
----	--

根 拠	地域情報メールマガジン事業要綱
内 容	毎週火曜日に千代田区の地域活動やボランティア情報の配信
予算決算	令和4年度決算額 376,451円 令和5年度予算額 420千円
事業実績	千代田でつながるメールマガジン「つなメール」

年度 区分	令和4年度	令和3年度	令和2年度
配信回数	51回	50回	48回
読者数	1,671人	1,684人	1,768人

## (6) 高齢者体力維持支援等業務（シルバートレーニング）※区委託事業

目 的	参加者が運動機能等の維持改善を図る方法を身につけ、在宅でも体力維持を行い、住み慣れた地域において自立した生活を送れるように運動指導や情報発信等を行う。また、自主グループ作りの支援等を行い、業務終了後も参加者が自主的に介護予防に取り組めることを目指す。
-----	---

内 容	シルトレ運営業務
予算決算	令和4年度決算額 19,810,613円 令和5年度予算額 24,496千円

沿 革	
令和2年	5月より受託運営開始。コロナ禍によりシルトレ通信発行業務、電話対応業務を受託。
令和3年	4月より12会場で原則月1回参加の「シルトレ塾」を実施。各会場講師1名とサブスタッフ2名配置。 同年6月より月2回参加の要望が強く、「シルトレ」として隔週参加に調整し運営。 同年11月より、サブスタッフ制を終了し、講師1名と職員1名体制で運営。
令和4年	毎週1回参加できるよう、会場を16コースでスタート。講師2名体制で運営し、月1回職員の訪問を実施。 参加者数の増加により、同年5月からかがやきプラザ及び神保町区民館、6月から万世橋区民館、10月から岩本町ほほえみプラザを2部制に変更。和泉橋区民館は2部参加者が予想した人数よりも大きく下回り、会場のレイアウトを工夫した結果、5月より1部制に変更。 同年3月より、いきいきプラザ一番町は金曜日に映像投影のシルトレを開始。3月末時点で、会場20コースに増加。

## 事業実績

## ①シルトレ運営業務

会場	曜日／時間	実施回数	のべ参加者数
万世橋区民館	月曜 ① 9:30～10:30 ②10:45～11:45	83回	1,373人 (男151人/女1,222人)
富士見区民館	月曜/13:30～14:30	46回	1,111人 (男265人/女846人)
麴町区民館	火曜 ① 9:30～10:30 ②10:45～11:45	96回	1,460人 (男221人/女1,239人)
岩本町ほほえみプラザ	水曜 ① 9:30～10:30 ②10:45～11:45	74回	1,762人 (男323人/女1,439人)
神保町区民館	水曜 ①13:30～14:30 ②14:45～15:45	94回	1,356人 (男227人/女1,129人)
いきいきプラザ一番町	水曜 ①13:30～14:30 ②14:45～15:45	98回	1,768人 (男326人/女1,442人)
いきいきプラザ一番町	木曜/10:00～11:00	47回	965人 (男72人/女893人)
神田公園区民館	木曜 ①13:30～14:30 ②14:45～15:45	94回	992人 (男89人/女903人)
かがやきプラザ	金曜 ① 9:30～10:30 ②10:45～11:45	93回	2,273人 (男632人/1,641人)
万世橋区民館(投影)	金曜/10:00～11:00	49回	454人 (男77人/女377人)
アーツ千代田3331	金曜/10:30～11:30	49回	553人 (男40人/女513人)
いきいきプラザ一番町 (投影)	金曜/11:00～12:00	3回	9人 (男0人/女9人)
和泉橋区民館	金曜/13:30～14:30	53回	733人 (男28人/女705人)
合計		879回	13,436人 (男2,300人/女11,136人)



かがやきプラザ会場



神田公園区民館会場

## ②その他講習会

事業項目	内容／実施日	実績
マットを使って朝活運動！	<p>今後シルトレ参加者の中からの自主グループ化を見据えるにあたり、マット運動に対するニーズ把握とキーパーソンとなり得る方の発掘等を行う。</p> <p>実施日：11月25日、12月2日 12月9日、16日 いずれも金曜日 9:00～9:50</p> <p>会場：万世橋区民館8階</p>	<参加者> 20名
体力測定会	<p>参加者が自らの体力を把握し、シルトレに参加することへのモチベーションを維持する。 また指導員も日頃のトレーニング内容に反映する。</p> <p>会場：実施日</p> <p>①万世橋区民館：1/30(月) ②富士見区民館：1/23(月) ③麴町区民館：1/24(火) ④岩本町ほほえみプラザ：2/1(水) ⑤神保町区民館 2/8(水) ⑥いきいきプラザ一番町・水：1/25(水) ⑦いきいきプラザ一番町・木：1/19(木) ⑧神田公園区民館：2/2(木) ⑨かがやきプラザ：1/27(金) ⑩アーツ千代田 3331：1/20(金) ⑪和泉橋区民館：2/3(金)</p>	<p>&lt;参加者&gt;</p> <p>万世橋区民館(月) 30人 (1部10人 2部20名) 富士見区民館(月) 20人 麴町区民館(火) 30人 (1部12人 2部18名) 岩本町ほほえみプラザ(水) 34人 (1部13人 2部21名) 神保町区民館(水) 32人 (1部19人 2部13名) いきいきプラザ一番町(水) 20人 (1部9人 2部11名) いきいきプラザ一番町(木) 15人 神田公園区民館(木) 24人 (1部19人 2部13名) かがやきプラザ(金) 32人 (1部13人 2部19名) アーツ千代田 3331(金) 13人 和泉橋区民館(金) 19人</p>

## (7) その他事業

## ①令和4年度 共立女子大学看護学部「地域感度学援助演習」インタビュー受け入れ

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>千代田区の地域特性や高齢者、母子の特徴</li> <li>高齢者、母子支援の取り組みやその中での課題</li> </ul> <p>上記についてインタビュー形式の演習を受け入れ実施。</p>
開催日 参加者数	<p>10月20日(木) 9時～12時</p> <p>共立女子大学看護学部2年生 41名</p>



## 2 ふたばサービス事業（住民参加のたすけあい家事支援サービス）

### （1）事業概要

目 的	区民等の協力と参加を得て、支援を必要とする方に対し家事援助等のサービスを提供し、地域の助け合い活動を促進します。
根 拠	ふたばサービス実施要綱
沿 革	平成7年11月より支援会員の募集、12月より依頼会員、賛助会員の受付を開始し、平成8年1月よりサービス活動を開始。 平成24年1月より料金を改定。 平成31年4月からは、支援メニュー拡大のほか、高齢者困りごと24事業を「ちょこっとサポート」の名称で統合。 令和3年度、依頼会員と支援会員をマッチングするシステムとして、アプリ導入の試行実施。
予算決算	令和4年度 決算額 2,528,883円 令和5年度 予算額 4,617千円

対 象 この事業は、会員制で行うこととし、次の会員で構成します。

①依頼会員	千代田区に居住する方で日常生活を営むのに支障があり、サービスを必要とする方
②支援会員	この事業に理解を有し、趣旨に賛同する18歳以上の方で、依頼会員にサービスを提供することができる方

賛助会費 平成25年度までは、「賛助会費」の他、「年会費」として依頼会員と支援会員から1,000円を納入していただいていた。平成26年度より「年会費」を廃止し、「賛助会費」（1口1,000円）と統一。任意での納入をお願いしている。

### 内 容

メニュー名	サポート内容
①家事サポート	掃除や洗濯、買い物、食事の支度などの家事、ペット等の散歩やペットに関する買い物（介護保険等では対応できない日常の生活支援）
②産前産後サポート	産後最長6カ月未満の方を対象に、上記①と同様の家事をサポート
③おでかけサポート	通院や買い物、墓参り等の外出の付き添い
④よりそい・いきがいサポート	訪問による傾聴、趣味のお相手、食事の同席等
⑤ちょこっとサポート （依頼者は会員登録不要）	電球交換や簡単な家具の組み立て等ちょっとした日常生活の困りごと（清掃関係は家事サポートでの対応）

### 料 金 表

	時間内 月～土（午前9時～午後5時）	時間外 （日・祝日と年末年始は原則除く）
依頼会員 利用料	◎利用料 1時間につき1,300円 ◎事務費／1時間につき100円	◎利用料 1時間につき1,500円 ◎事務費／1時間につき100円

支援会員 活動費	1,200円×活動時間 + 交通費実費 (限度額400円)	1,400円×活動時間 + 交通費実費 (限度額400円)
-------------	----------------------------------	----------------------------------

※平成24年1月1日より、税務当局の指導により活動費が源泉徴収の対象となる

## (2) 会員状況

年度 区分	令和4年度	令和3年度	令和2年度
依頼会員	309人 (女251人/男58人)	272人 (女220人/男52人)	291人 (女241人/男50人)
支援会員	292人 (女212人/男80人)	308人 (女227人/男81人)	282人 (女194人/男74人)
賛助者	14人	14人	14人

## (3) 活動状況

### ①活動件数及び活動時間

年度 区分	令和4年度	令和3年度	令和2年度
活動件数	4,999件	3,160件	3,055件
活動時間	5,855時間	5,125時間	4,831時間

### ②サービス内容

活動延べ件数 4,999件

(1回の活動で複数のサービスを提供する場合があります、活動件数の合計と活動延べ件数は一致しない。)

内容	件数	内容	件数
食事の支度	634件	窓ふき	55件
清掃・整理整頓	2490件	ペットの買い物・散歩	133件
洗濯	441件	外出付き添い	241件
買い物	577件	通院付き添い	177件
見守り・話し相手	39件	訪問傾聴	4件
植栽の手入れ	1件	ちょこっとサポート	64件

#### ◆ちょこっとサポート 内訳

ゴミ出し	8件	家電確認	17件
荷物・家具の移動	5件	買い物	1件
電球交換	20件	その他	0件
家具の設置	13件	計	64件

## (4) 会員事業

### ① 理解促進

事業名	内容	実績数
支援会員 交流会	日時：3月22日（水）10:00～12:00 場所：かがやきプラザ4階 研修室3 ①依頼内容の傾向及びハンドブックの重要性について ②支援会員同士でグループワーク	参加者：10名
支援会員 登録 説明会	① 日時：9月29日（金）10:00～11:30 場所：かがやきプラザ4階 ② 日時：2月21日（火）10:00～11:30 場所：万世橋出張所・区民館 6階アキバ分室 ・ふたばサービスの制度、支援会員実務の説明 ・支援会員体験談	参加者：①12名 ② 4名

予算決算 令和4年度 決算額 7,861,879円  
令和5年度 予算額 8,342千円

## 3 千代田区ファミリー・サポート・センター事業

### (1) 事業概要

**目 的** ファミリー・サポート・センターは、「子育てのお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」と「子育てのお手伝いをしてくれる方（支援会員）」で構成される会員組織で、会員間の支援活動を実施することにより、区内の育児世帯の仕事や社会参加と家庭の両立を図るとともに、保護者の育児不安や負担感を軽減し、児童が健やかに成長できる子育ての環境をつくることを目的としています。

**根 拠** 千代田区ファミリー・サポート・センター実施要綱  
**対 象**

①依頼会員	千代田区に居住する方で生後6カ月から小学校6年生までの子どもの保護者
②支援会員	心身ともに健康で地域の子育てに理解と熱意のある18歳以上の区内在住・在勤・在学者（高校生不可）
③両方会員	①と②どちらもの資格を満たした者

**内 容** ファミリー・サポート・センターにアドバイザー（常勤職員）を配置し、会員の募集、登録、支援活動の調整、会員向けの講習会などを行っている。

**料 金 表** 利用料および支援会員への活動費は、下記表のとおりです。

	月～土 (午前9時～午後5時)	月～土 (午前7時～午前9時) (午後5時～午後9時)	日曜・祝日・ 年末年始(12/29～1/3) 終日
利用料	1時間800円	1時間1,000円	1時間1,000円
	・最初の1時間はそれに満たない場合でも1時間とみなし、その活動開始時間帯の1時間分の料金となります。 ・1時間を超える場合は30分毎に加算します。		

\*平成27年度より、事務経費（1時間150円）を年度末に積み上げた額（一括）を支援会員（指定口座）に振り込む。

沿革 平成15年7月より千代田区が事業を開始し、平成24年4月1日より当会が受託運営を行う。

予算決算 令和3年度 決算額 6,703,823円(人件費を除く)  
令和4年度 予算額 3,186千円

## (2) 会員状況

### 入退会の状況

	依頼会員	支援会員	両方会員
《新規》	97名	17名	0名
《退会》	86名	18名	0名
合計	183名	35名	0名

### 会員総数

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
依頼会員	830名	819名	823名
支援会員	242名	243名	237名
両方会員	3名	3名	3名
合計	1,075名	1,065名	1,063名

## (3) 活動状況

### ① 相談対応件数 290件

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
紹介成立	88件	90件	92件	104件
紹介できず	14件	3件	10件	16件
辞退	15件	23件	18件	40件
あんしん登録	41件	42件	38件	41件
事前打合せの取り交し	50件	26件	35件	47件
その他	135件	106件	83件	102件
合計	343件	290件	279件	350件

### ② 活動件数及び活動時間

年度 区分	令和4年度	令和3年度	令和2年度
活動件数	5,192件	5,237件	4,205件
活動時間	6,251時間	6,421時間	5,140時間

③ メール受信件数 2, 222件④ サービス内容

内 容	件 数
保育所・幼稚園の登園前の預り及び送り	208件
保育所・幼稚園の送り	968件
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預り	650件
保育所・幼稚園の迎え	830件
保育所・幼稚園の帰宅後の預り	62件
学童の放課後の預り	7件
学童保育前の預りまたは学童保育への送り	70件
学童保育への迎え及び帰宅後の預り	160件
学童保育からの帰宅後の預り（迎えなし）	1件
子どもの病気時の援助	0件
子どもの習い事の援助	1,557件
保育所・学校等休み時間の援助	6件
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	26件
保護者等の求職活動中の援助	0件
保護者等の冠婚葬祭・子どもの学校行事の場合の援助	2件
保護者等の外出の場合の援助	76件
保護者等の病気、産前・産後の場合の援助	44件
保護者の家事中の援助	370件
慣らし援助	12件
小学校の送迎	143件
病後の援助	0件
その他	0件
合計	5,192件
*キャンセル回数	103件

## (4) 会員事業

## ① 支援会員養成講座

	日 時	科目	講座内容	参加者数
第1回	6月11日(土) 9:30~16:40	必修	「ファミリー・サポート・センターとは」 「今どきの子育て事情と千代田の傾向」 「子どもの事故と安全・応急処置」	5名
	6月18日(土) 9:30~16:40	必修	「預かること、預けること、預けられること」 「支援会員の体験談」 「活動の実務」	8名
	6月25日(土) 9:30~17:40	選択	「障がいのある子の預かり」 「身体の発達と病気」 「子どもの育ち、保育園での姿」	9名
	7月2日(土) 9:30~15:30	選択	「子どもの健康管理」 「子どもの栄養と食育」	9名
第2回	9月7日(水) 9:30~16:40	必修	「預かること、預けること、預けられること」 「ファミリー・サポート・センターとは」 「支援会員の体験談」	7名
	9月14日(水) 9:30~16:40	必修	「今どきの子育て事情と千代田の傾向」 「活動の実務」 「子どもの事故と安全・応急処置」	11名
	9月21日(水) 9:30~16:40	選択	「障害のある子の預かり」 「子どもの健康管理」 「身体の発達と病気」	7名
	10月5日(水) 9:30~16:30	選択	「子どもの育ち、保育園での姿」 「子どもの栄養と食育」	6名
第3回	11月5日(土) 9:30~16:40	必修	「ファミリー・サポート・センターとは」 「今どきの子育て事情と千代田の傾向」 「子どもの事故と安全・応急処置」	7名
	11月12日(土) 9:30~16:40	必修	「預かること、預けること、預けられること」 「支援会員の体験談」 「活動の実務」	5名
	11月19日(土) 9:30~17:40	選択	「障害のある子の預かり」 「身体の発達と病気」 「子どもの育ち、保育園での姿」	5名
	11月27日(土) 9:30~15:30	選択	「子どもの健康管理」 「子どもの栄養と食育」	5名
第4回	2月6日(月) 9:30~16:40	必修	「ファミリー・サポート・センターとは」 「今どきの子育て事情と千代田の傾向」 「子どもの事故と安全・応急処置」	9名
	2月13日(月) 9:30~16:40	必修	「預かること、預けること、預けられること」 「支援会員の体験談」 「活動の実務」	3名
合 計				96名

## ②依頼会員登録説明会

開催月	日程	申込み者数	参加者数
4月	7日(木)、21日(木)	10名	9名
5月	11日(水)、24日(火)	4名	4名
6月	8日(水)、23日(木)	9名	8名
7月	6日(水)、21日(木)	6名	5名
8月	5日(金)、23日(火)	3名	1名
9月	9日(金)、20日(火)	7名	6名
10月	4日(火)、21日(金)	5名	5名
11月	10日(木)、29日(火)	8名	6名
12月	8日(木)、20日(火)	10名	9名
1月	12日(木)、24日(火) アキハ 17日(火)	4名	4名
2月	2日(木)、21日(火) アキハ 16日(木)	15名	12名
3月	2日(木)、23日(木) アキハ 7日(火)	14名	11名
合計		95名	80名



## ③支援会員学習会&amp;交流会

目的	①今後の支援活動に自信を持つ ②支援会員より現場の情報をききとり、今後のコーディネートに役立てる	
第1回	対象	現支援会員 240名
	内容	未就学児をサポートすることに対する理解を深める 講師：子ども支援課 千葉 俊美氏 支援会員いどばた交流会♪
	実績	令和3年8月17日(火) 10時～11時30分 参加者：13名
第2回	対象	現支援会員 248名
	内容	不登校や発達障がいの子どもの支援方法や対応方法・千代田区の現状 講師：千代田区スクールソーシャルワーカー 則岡 陽香氏 支援会員いどばた交流会♪
	実績	1月21日(土) 10:00～12:00 参加者：10名

## (5) 広報活動 「スマイル通信」

対象	全会員
内容	会員へのお知らせ、会員登録状況、学習会・交流会の報告
実績	年2回発行 各約1,400部

## 4 アキバ分室

### (1) 事業概要

目 的	千代田区に住み、働き、学ぶ人々の地域福祉活動や、社会福祉を目的とする事業への参加促進と活動の活性化を図るために、千代田区社会福祉協議会の分室として設置されています。事業実施にあたっては、主に神田地区を対象としています。
根 拠 内 容	アキバ分室設置規程 ①福祉に関する総合相談事業 ②ご近所福祉活動（町会福祉部活動）の支援、推進 ③サロン事業の企画、運営、支援、推進 ④その他、地域福祉活動等に関する理解促進事業 ⑤開放スペースの管理・運営
予算決算	令和4年度決算額 1,270,540円 令和5年度予算額 932千円
事業実績	

### (2) 相談対応

目 的	地域住民や企業、団体より福祉やボランティア活動、協働事業などの相談を受けています。
根 拠 内 容	アキバ分室設置規程 ①福祉、ボランティアに関する総合相談 ②ボランティア保険、車いすの貸出し等の受付 ③アキバ分室との協働事業のご相談

来所者・相談数 アキバ子育て広場、アキバみんなのサロンなどの事業参加者数も含む

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所数	146名	131名	230名	112名	250名	140名	157名	132名	266名	126名	191名	209名	2,090名
相談数	33件	75件	49件	56件	52件	52件	69件	55件	61件	47件	29件	53件	631件

### 協働事業

	アンケート対象町会数
障害者福祉センター えみふる	6月、8月、12月に『えみふる』の利用者の作品をアキバ分室の開放スペース『みりおん』にて展示。 9月に、10月のふれあい福祉まつりで使用するレゴブロックの仕分け作業を実施。
区内保育園『せいが保育園』	6月25日（土）アキバみりおん縁日に園児が描いた絵を提灯にして展示。



6月 えみふる作品贈呈式



6月 せいが保育園 提灯



## (2) サロン事業（アキバ子育て広場・アキバみんなのサロン）

\* 1. たすけあい・居場所づくり事業（2）サロン事業に掲載

## (3) ご近所福祉活動（町会福祉部活動）事業

\* 1. たすけあい・居場所づくり事業（3）ご近所福祉活動(町会福祉部活動)に掲載

### ①ご近所福祉活動事例集

	アンケート対象町会数	アンケート回答町会数	活動件数
神田公園地区	20 町会	8 町会	6 件
万世橋地区	21 町会	15 町会	11 件
和泉橋地区	25 町会	19 町会	12 件

### ②ご近所福祉活動学習会

内容	参加者数	講師	日時
ひきこもりに関する ご近所福祉活動学習会	32 名	①児童家庭・支援センター職員 ②東京都ひきこもりネットワーク職員	2月25日(土)

## (4) アキバ分室PR事業

**目 的** 開設されたばかりのアキバ分室の周知のための事業を行いました。参加者だけでなく、ボランティア活動の場としての担い手発掘の機会ともしました。また、近隣企業様より寄付物品をいただき、それをもとに事業を行いました。

**根 拠** アキバ分室設置規程

**内 容** 事業実績参照

**事業実績**

	参加者数 (延べ人数)	ボランティア数 (のべ人数)	日付・回数
アキバみりおん縁日	40 名	35 名	6/25 (土) 1 回
バーチャル花火を楽しもう (特別講座含む)	81 名	32 名	8/20 (土) 1 回
プラモデルサロン①	24 名	10 名	11/19(土)1 回
アキバ de クリスマス会	100 名	24 名	12/17(土)1 回
ひとり親世帯への寄付 (お菓子)配布	47 名	1 社 (お菓子寄付)	2/22 (水)、24日(金)、 25日(土)3 日間
企業防災情報交換会	8 名 (6 社)	0 名	3/7 (火) 1 回

プラモデルサロン②	50名	10名	3/25(土)1回
親子で学ぶ防災講座	40名	4名	3/26(土)1回



6月 アキバみりおん縁日



8月 バーチャル花火を楽しもう



12月 アキバ de クリスマス会



2月 ひとり親家庭への寄付品配布



3月 プラモデルサロン



3月 親子で学ぶ防災講座

## II 援護事業

### 1 車いす貸出事業

予算決算 令和4年度決算額 225,538円  
令和5年度予算額 150千円

#### (1) 車いす貸し出し

目的 歩行に支障のある方に車いすを貸出すことにより、外出の機会を増やし、社会参加の促進を図ります。

根拠 車いす貸出事業実施要綱  
対象 歩行困難な方及び高齢者等

内容 貸出日の属する月は無料。  
翌月から1年間の利用料は月額500円。  
2年目以降は利用料月額1,000円。  
希望により有料での配達・回収も可能。



沿革 昭和47年度より開始  
昭和63年6月より配送・回収サービス開始  
平成12年4月より有料化  
平成14年7月より貸出期限撤廃

#### 事業実績

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
貸出件数	97件	85件	75件

#### (2) 車いすステーション

目的 車いすの利用者の利便を図るため、区内の個人・店舗・公共施設等の協力を得て、車いす貸出拠点を設置します。

根拠 車いすステーション設置要綱  
内容 区内の個人宅・店舗・公共施設等に車いすを用意し、一週間以内の無料貸し出しを行います。

沿革 平成14年8月要綱施行

#### 事業実績

区分 \ 年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
ステーション数	40ヶ所	42ヶ所	41ヶ所
車いす設置台数	53台	55台	54台
貸出件数	362件	292件	320件



### 2 ひとり親家庭支援事業

#### (1) ひとり親家庭児童入学祝い金贈呈事業

目的 千代田区のひとり親家庭のこどもが義務教育終了後に上級学校に進学する際に、祝い金を贈呈することにより進学への意識を喚起します。

根拠 入学祝い金贈呈事業実施要領

対象 以下の学校に進学し、新たに入学する児童等を扶養している世帯であって、

かつ、当該児童等が進学・入学する年度の前年度の3月31日時点において千代田区児童育成手当（育成手当・障害手当）の受給資格を有している世帯  
 (1) 高等学校  
 (2) 大学  
 (3) 短期大学  
 (4) 高等専門学校  
 (5) 専修学校（高等課程・専門課程・一般課程）

予算決算 令和4年度決算額 1,688,032円  
 令和5年度予算額 2,041千円  
沿革 平成29年度より実施

事業実績

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
件数	46件	37件	48件
合計金額	1,660,000 円	1,410,000 円	1,920,000 円

## (2) ひとり親家庭フードパントリー（試行）

目的 昨今の生活エネルギーや生活物資等の物価高騰、特に子育て中の世帯では教育等に係る費用にも影響が出ていることから、生活支援を目的としました。  
対象 歳末たすけあい募金見舞品贈呈事業にひとり親として登録された方  
内容 お米・食用油・お菓子詰め合わせ等の食料品配布、アンケート記入

事業実績

区分	場所	かがやきプラザ	アキバ分室
	参加世帯数		56世帯



※3月30日（木）かがやきプラザ、アキバ分室の2カ所を拠点とし、16:00～17:30、17:30～19:00の2部制で実施した。

## 3 地域公益活動

目的 千代田区内の社会福祉法人間の連携、地域公益活動の促進を図ることにより、千代田区の福祉の向上を目指します。  
根拠 千代田区地域支援ネットワーク連絡会設置要綱  
内容 ①社会福祉法人間の情報交換・連携の促進に関すること  
 ②社会福祉法人が協働して取り組む公益活動の検討及び実施  
 ③町会等地域団体が実施するコミュニティ活動や福祉活動への参加・協力に関すること  
 ④その他、目的達成に必要な活動  
予算決算 令和4年度決算額 3,000円  
 令和5年度予算額 36千円  
沿革 厚生労働省社会・援護局福祉基盤課長通知社会福祉法人の「地域における公益的な取組」について（平成28年6月1日付社援基発0601第1号）に基づき、平成29年度より実施。

参加法人数 10法人（15事業所）：令和5年3月31日現在

No	法人名	事業所名
1	社会福祉法人 いちえ会	ケアハウス神田紺屋町
2	社会福祉法人 いのちの電話	同左
3	社会福祉法人 東京栄和会	いきいきプラザ一番町
4	社会福祉法人 多摩同胞会	岩本町ほほえみプラザ
5		かんだ連雀
6	社会福祉法人 新生寿会	ジロール神田佐久間町
7		ジロール麴町
8	社会福祉法人 奉優会	淡路にこにこフォーユープラザ
9	社会福祉法人 武蔵野会	障害者福祉センターえみふる
10		ジョブ・サポート・プラザちよだ
11	社会福祉法人 東京都知的障害者育成会	みさきホーム（城東地域生活支援センター）
12	社会福祉法人 共生会 （アフタースクール千代田）	アフタースクールさくら
13		アフタースクールさくら第二
14		アフタースクールこうじ町
15	社会福祉法人 千代田区社会福祉協議会	同左

## 千代田区地域支援ネットワーク連絡会開催回数

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
会議開催数	2回（うち書面1回）	2回（書面開催）	2回（書面開催）

## 事業実績

事業項目	内容
講座「地域における公益的な取組み」について	区内社会福祉法人を対象とした「地域における公益的な取組」に関する講座（講師は都公益活動推進協議会から招聘）と意見交換。 開催日：令和5年3月15日 参加：6法人・計17名

## 4 生活福祉資金等貸付事業

目的 低所得世帯や他からの借入が困難な世帯の相談に応じ、資金の貸付によって世帯の更生を図ります。（東京都社会福祉協議会よりの受託事業）

対象 千代田区内に住んでいる下記の方  
① 他からの借入が困難な低所得世帯

- ② 「身体障害者手帳」「愛の手帳」「精神障害者保健福祉手帳」等の交付を受けている方の世帯
- ③ 日常生活上、療養または介護を必要とする、概ね65才以上の高齢者  
いる低所得世帯

予算決算 令和4年度決算額 2,754,868円(事務費のみ)  
令和5年度予算額 12,055千円

沿革 昭和30年10月 東京都社会福祉協議会より受託  
平成14年 3月より離職者支援資金貸付開始  
平成15年 4月より長期生活支援資金貸付事業、緊急小口資金貸付開始  
平成21年 2月より離職者支援貸付事業を再就職支援貸付事業の名称にて  
期間限定(平成22年3月まで)実施  
平成21年 10月より総合支援資金貸付事業、臨時特例つなぎ資金貸付開始  
「長期生活支援資金」が「不動産担保型生活資金」に名称変更  
平成23年 東日本大震災にともない緊急小口資金の特例貸付と生活復興支援  
資金貸付開始(※特例貸付は平成24年3月末をもって終了)  
令和 2年 3月25日から新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特例措置で  
ある緊急小口資金等の特例貸付(以下、新型コロナウイルス感染  
症に係る特例貸付)を開始  
令和 2年 6月 新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付の受付期間を  
令和2年9月30日まで延長(当初期間7月31日まで)  
※ この後7度にわたる延長で、令和4年6月30日までの受付期間となる  
令和 4年 4月 新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付の受付期間を  
令和4年8月31日まで延長

事業実績

年度	令和4年度 (コロナ特例内数)	令和3年度 (コロナ特例内数)	令和2年度 (コロナ特例内数)
相談件数	537件 (405件)	2,054件 (1,984件)	4,042件 (3,851件)
新規貸付	95件 (94件)	565件 (563件)	1,043件 (1,041件)

<令和4年度生活福祉資金等本則新規貸付決定内容一覧>

資金の種類	申込件数	申込金額	貸付件数	貸付決定額
福祉費	—	—	—	—
緊急小口資金	—	—	—	—
教育支援資金	—	—	—	—
総合支援資金	—	—	—	—
不動産担保型生活資金	—	—	—	—
臨時特例つなぎ資金	—	—	—	—
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	1	200,000円	1	200,000円
合計	1	200,000円	1	200,000円

<新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付件数（令和2～4年度）>

資金の種類	令和4年度	累計	備考
緊急小口特例貸付	47件	712件	上限20万円
総合支援特例貸付（初回）	47件	471件	上限60万円（月額20万円×3ヶ月）
総合支援特例貸付（延長）	0件	183件	上限60万円（月額20万円×3ヶ月） ※令和3年6月30日で受付終了
総合支援特例貸付（再貸付）	0件	332件	上限60万円（月額20万円×3ヶ月） ※令和3年12月31日で受付終了
合計	94件	1,698件	累計貸付額 604,200,000円

## 5 地域団体支援事業

### （1）地域団体助成

目 的	高齢者や障がい者等の地域団体が、会の目的である会員の福祉・福利向上等のために行う活動を支援します。
根 拠	地域団体助成実施要綱
対象団体	次に掲げる主に千代田区民で構成された地域団体 ①65歳以上の高齢者 ②身体障がい者および知的障がい者 ③精神障がい者 ④ひとり親・寡婦 ⑤原爆被爆者 ⑥上記①～③までの対象者の家族会 ⑦その他
内 容	実施事業の共催、協賛 実施事業への財政的支援（一団体 年間10万円まで） ※ただし、各地区長寿会については会員数に応じた助成額
予算決算	令和4年度決算額 1,109,032円 令和5年度予算額 1,196千円
沿 革	平成4年度より、区の福祉基金を基に、地域福祉活動等支援助成事業として開始。 平成20年度より地域福祉活動支援助成金と「は・あ・と助成金」とを統合。 平成22年度より長寿会については10万円または会員数に500円を乗じて得た金額のうち多い金額を助成する。ただし、会員数が100人以下の団体については7万円を上限に助成する。

#### 事業実績

区分		年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
財政支援	麴町長寿会		70,000円	70,000円	100,000円
	富士見地区富久寿会		100,000円	100,000円	100,000円
	神保町地区長寿会		100,000円	100,000円	100,000円
	神田公園地区長寿会		70,000円	70,000円	70,000円

万世呉竹会	100,000円	100,000円	
和泉橋菊寿会	100,000円	100,000円	100,000円
千代田区障害者共助会	400,000円	100,000円	
万世母の会			
あじさい会	77,384円	80,086円	63,856円
千代田区ひとり親家庭福祉会			
さくらんぼの会	89,504円	57,726円	
合計	1,106,888円	777,812円	533,856円

※万世母の会、千代田区ひとり親家庭福祉会は感染症の影響で活動中止。

## (2) 精神障がいのある方への支援

### ①夕食会への参加

**目的** さくらんぼの会が主催する心の病がある方を対象にした食事会への運営協力やボランティアのコーディネートを行います。

**事業実績** (平成22年度より開催)

<b>会場</b>	神保町区民館 (ひまわり館)	<b>開催日</b>	令和4年12月2日、令和5年3月3日 の計2回(他の月は、新型コロナウイルスの影響で開催中止)
-----------	-------------------	------------	--

## 6 共同募金事業

### (1) 歳末地域たすけあい募金

**目的** 区内の援助を必要とする方々に募金によって集められた資金を配分し、「たすけあい」による社会連帯意識の高揚を図ります。

**根拠** 歳末地域たすけあい募金実施要綱

**対象** 区内全域

**内容** 町会、婦人団体、民生・児童委員協議会等各団体、全区民の協力で実施

**主催等** 主催：東京都共同募金会

主唱：東京都社会福祉協議会

実施：千代田区社会福祉協議会

協賛：千代田区、区内各町会、区内婦人団体協議会、

千代田区民生委員・児童委員協議会

**沿革** 昭和27年度より実施。

平成10年度より入院患者、施設入所者への見舞品贈呈を廃止。

平成11年度より生活保護世帯への見舞品贈呈を廃止。

#### 事業実績

区分		年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
		募金総額	4,639,674円	5,750,128円	5,864,953円
配分先	支援を必要とする方	690,099円	731,794円	770,741円	
	障がいのある方	2,557,721円	2,507,400円	2,547,200円	



ひとり親の家庭	599,223円	622,900円	614,400円
見舞金品贈呈事業費	3,847,043円	3,862,094円	3,932,341円
諸経費	463,000円	575,822円	584,822円
たすけあい活動費	329,631円	1,313,034円	4,096,640円

※ 令和2～4年度は新型コロナウイルス感染防止のため、戸別募金を中止し郵便振替による募金に変更。

## (2) 赤い羽根共同募金運動

目的	区内の援助を必要とする方々に募金によって集められた資金を配分し、地域福祉の課題解決に取り組む、民間団体を支援します。
根拠	共同募金運動要綱 東京都共同募金会千代田地区協力会会則
対象	区内全域
内容	町会、婦人団体、民生・児童委員協議会等各団体、全区民の協力で実施
主催等	主催：東京都共同募金会 実施：東京都共同募金会千代田地区協力会
沿革	平成26年度より千代田地区協力会事務局業務を千代田区から移管

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
募金総額	979,773円	976,126円	1,005,868円

## Ⅲ 権利擁護事業・成年後見制度推進機関運営事業

<ちよだ成年後見センターの運営>

### 1 福祉サービス利用支援事業

#### (1) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

<u>目 的</u>	判断能力に不安のある高齢者、精神障がい者、知的障がい者などを対象に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスを提供することにより、地域での生活を支援します。
<u>根 拠</u>	福祉サービス利用支援事業実施要綱
<u>予算決算</u>	令和4年度 決算額 9,329,143円（人件費委託金含む） 令和5年度 予算額 10,371千円
<u>沿 革</u>	平成11年度 東京都社会福祉協議会が運営主体となり、基幹社協である新宿社協の協力社協としてその事業運営に協力。 平成11年10月 サービス実施。 平成15年1月 基幹社協として東京都社会福祉協議会より委託を受け、サービスを提供する。 平成18年4月 「ちよだ福祉サービス利用援助センター」から「ちよだ成年後見支援センター」に名称を変更。 平成20年4月 「ちよだ成年後見センター」に名称を変更。

#### (2) 財産保管・管理サービス

<u>目 的</u>	自己の財産等の保管あるいは管理が困難な要支援・要介護の高齢者や身体障がい者等の財産の保管や日常的な金銭管理を行うことにより、地域での生活を支援します。
<u>根 拠</u>	福祉サービス利用支援事業実施要綱
<u>予算決算</u>	令和4年度 決算額 378,466円 令和5年度 予算額 640千円
<u>沿 革</u>	平成13年7月より実施



[支援の様子]

#### (3) 将来に備えるサービス

<u>目 的</u>	区内に身よりがいないか、いても協力が得られない状況にある在宅高齢者で契約時に理解、判断能力がある方を対象に福祉サービス利用援助や自己の財産等の保管、個別のサービスなどを行うことにより、地域での生活を支援します。
<u>根 拠</u>	福祉サービス利用支援事業実施要綱
<u>予算決算</u>	令和4年度 決算額 178,672円 令和5年度 予算額 309千円
<u>沿 革</u>	平成21年11月より実施

#### 【契約件数・契約内容内訳】

年 度	令和4年度			令和3年度			令和2年度		
	地域福祉 権利擁護	財産保管 ・管理	将来に 備える	地域福祉 権利擁護	財産保 管・管理	将来に 備える	地域福祉 権利擁護	財産保管 ・管理	将来に 備える
契約者数・内容									
契約中件数	59名	5名	3名	59名	5名	2名	55名	7名	1名
新規契約者数	10名	0名	1名	16名	0名	1名	14名	2名	0名
解約者数	10名	0名	0名	12名	2名	0名	14名	0名	1名

利用援助対応件数	3,380件	148件	32件	4,565件	468件	21件	6,403件	299件	88件
日常的金銭管理対応件数	532件	38件	0件	641件	49件	0件	665件	26件	21件
書類預かり対応件数	19件	2件	1件	22件	3件	0件	18件	3件	0件

#### (4) 権利擁護・成年後見に関する相談対応件数

区分	年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
高齢者 初回相談件数		188件	149件	137件
高齢者 継続対応件数		9,035件	8,616件	6,949件
知的障がい者 初回相談件数		2件	4件	8件
知的障がい者 継続対応件数		386件	306件	449件
精神障がい者 初回相談件数		5件	4件	10件
精神障がい者 継続対応件数		1,888件	3,094件	1,683件
身体障がい者 初回相談件数		37件	20件	0件
身体障がい者 継続対応件数		212件	310件	48件
その他 初回相談件数		72件	90件	27件
その他 継続対応件数		423件	3,153件	222件
実初回相談件数 合計		304件	267件	182件
実継続対応件数 合計		12,367件	18,632件	9,351件

※「その他」は、匿名等属性の聞き取り把握ができなかった相談、エンディングノートや一般・関係機関からの制度に関する問い合わせ等を含みます。

※継続対応件数には、福祉サービス利用支援事業の契約者や法人後見活動等の相談対応が含まれます。

## 2 福祉専門法律相談

**目 的** 福祉サービス利用者の法的権利を擁護するため、弁護士による無料相談を月2回実施します。

**【実施日】**

(原則として) 毎月第2・第4木曜日 午後2時～4時20分

**【弁護士】**

「福祉相談弁護士グループ」

※ 石川 宏、平澤 千鶴子、八杖 友一、澄川 洋子  
石坂 浩、佐野 みゆき、鈴木 一夫



**根 拠** 成年後見制度推進機関運営事業実施要綱

**予算決算** 令和4年度 決算額 1,416,382円

令和5年度 予算額 1,570千円

**沿 革** 平成14年7月より実施

平成18年4月より「ほほえみサポートちよだ弁護士グループ」(7名の弁護士)

による相談を年20回実施  
 平成19年4月より年24回実施  
 平成20年4月より「福祉相談弁護士グループ」に名称変更、相談時間を延長

【福祉専門法律相談】

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談件数	47件	57件	44件

※令和2年度は新型コロナウイルスの影響により4月～5月中止とした。

### 3 成年後見制度推進機関運営事業

**目的** 高齢者、知的障がい者、精神障がい者等が判断能力の低下によって自らの財産管理、日常生活を送ることが困難になったとき、地域で安心して生活が継続できるよう、成年後見制度の積極的な活用を図ります。

**根拠** 成年後見制度推進機関運営事業実施要綱  
 区民後見人等候補者育成事業実施要綱

**予算決算** 成年後見制度推進機関運営事業  
 令和4年度 決算額 46,140,144円  
 令和5年度 予算額 45,440千円  
 区民後見人養成事業  
 令和4年度 決算額 1,608,698円  
 令和5年度 予算額 2,796千円

**沿革** 平成17年度および18年度、東京都の「成年後見活用あんしん生活創造事業」において成年後見推進機関を立ち上げ準備。  
 平成19年度より、区からの指定により千代田区社会福祉協議会が「成年後見推進機関」となる。推進機関では、権利擁護に関する相談をはじめ、成年後見制度の理解促進、区民後見人等人材育成や後見人サポート事業等を行う。  
 平成27年度より、千代田区独自で区民後見人養成講座を実施。以降、平成28年度・令和元年度に養成講座を実施。  
 令和5年3月に、「千代田区地域福祉計画2022」に包含された「千代田区成年後見制度利用促進基本計画」を受けて、権利擁護支援を進めるための基本指針となる「千代田区社会福祉協議会権利擁護活動計画」を策定した。

#### (1) 権利擁護人材の育成

##### ① 区民後見人の養成・支援

**目的** きめ細かい見守りとともに、同じ地域住民の立場・視点で支援を行う区民後見人等を養成し、活動を支援することにより、認知症や知的・精神障がい者などが、判断能力が不十分であっても自分らしく、自らの意思で希望を実現し、地域で安心して暮らし続けることを可能とする地域社会の実現を目指します。



**根拠** 区民後見人等候補者育成事業実施要綱

【養成講座の実施】

年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
講座内容	未実施	未実施	未実施
修了者	0 名	0 名	4 名
区民後見人候補者 名簿登録者数	24 名	24 名	25 名

平成 17 年度より東京都において社会貢献型後見人養成講座を実施していたが、平成 26 年度より、養成事業の実施主体が東京都から市区町村へ移行したことに伴い、千代田区独自の区民後見人候補者名簿のしくみをつくり、養成講座を修了した方が登録。

※候補者名簿登録者の中から、平成 24 年度に 1 名、27 年度に 1 名、29 年度に 3 名、30 年度に 3 名、2 年度に 3 名、3 年度に 3 名（計 13 名、14 件）が区民後見人として選任されています。

※令和 5 年度に養成講座を実施予定。

【区民後見支援委員会委員による区民後見人受任者への定期相談】

**目 的** 区民後見人が後見等の活動の中で、財産管理や身上配慮が適切に行われているか確認するとともに、法的問題等への迅速な対処を図るため、専門職からの指導・助言を定期的かつ継続的に行います。

**根 拠** 区民後見人等候補者育成事業実施要綱

**沿 革** 平成 29 年 4 月より実施。

年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度
受任者	9 名	9 名	6 名
担当委員	8 名	8 名	6 名
相談回数	合計 11 回	合計 11 回	合計 6 回

【区民後見人「受任者連絡会」の実施】

**目 的** 区民後見人受任者同士の交流のきっかけとし、業務に関する意見交換・仲間づくりの場を提供するとともに、日常の支援内容での悩み相談・支援方法のアイデア交換をすることにより、支援の負担軽減と意欲の向上をはかります。

**根 拠** 区民後見人等候補者育成事業実施要綱

**沿 革** 平成 30 年度より実施

**事業実績**

年 度	令和 4 年度	令和 3 年度
実施内容	(対面開催) ・コロナ禍での取り組み (面会状況など) ・医療における同意 ・今後の活動や定期相談について (令和 5 年 3 月 23 日)	(オンライン開催) ・コロナ禍の活動で取り組んでいること ・コミュニケーションの工夫 ・マニュアルについて (令和 3 年 10 月 11 日)
参加者	4 名	8 名

## ②地域生活支援員の育成

**目 的** 福祉サービス利用支援事業において、利用者に対する援助業務を行う地域生活支援員を通年で募集・登録し、それぞれの経験年数に応じたスキルアップのための研修を実施しています。

**根 拠** 福祉サービス利用支援事業実施要綱

### 事業実績

開催内容	開催日	参加者数
新任生活支援員研修 「利用者訪問時の留意点、記録の書き方」	令和4年 5月12日 5月17日 5月23日 令和5年 1月17日	10名
地域生活支援員研修 「記録の書き方、グループワークによる交流会」	令和5年 3月13日	18名
東京都社会福祉協議会主催 新任生活支援員研修 「地域福祉権利擁護事業の基礎的な理解と生活支援員の役割等」(第1回:動画配信、第2回オンライン開催)	令和4年 6月 3日 10月18日	25名
東京都社会福祉協議会主催 現任生活支援員研修 「精神障害のある方の支援と権利擁護」 (オンライン研修(動画視聴))	令和5年 2月20日 3月21日 3月24日	32名

### 地域生活支援員登録数

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
地域生活支援員登録状況 (内、区民後見人候補者名簿登録者数)	40名(24名)	32名(24名)	33名(25名)
新規登録支援員数	9名	5名	0名
登録終了者	1名	6名	1名

※平成20年度より区民を対象に福祉サービス利用支援事業の説明会を実施し、地域生活支援員を募集、登録。

令和3年度は令和4年3月17日に説明を開催し12名が参加。活動希望者の選考後、その内、令和4年度に9名が登録。

※平成27年度・28年度・令和元年度は、区民後見人養成講座修了生で、地域生活支援員の活動を希望する方を登録。

## ③研修の実施

**目 的** 同じ地域住民の立場・視点で本人に寄り添い、意思決定支援を行う権利擁護支援の担い手のスキルアップを目的とした研修に取り組んでいます  
令和2年度より区民後見人候補者名簿登録者向け「フォローアップ講座」と地域生活支援員向けのスキルアップ研修を一体化。

根 拠 区民後見人等候補者育成事業実施要綱  
福祉サービス利用支援事業実施要綱

事業実績

開催内容	令和4年度	令和3年度
開催内容	①事例検討（高齢者のケース） ②事例検討（障害者のケース）  講師／ばあとなあ東京 鳥居理英子氏 （区民後見支援委員会委員）	①「他業種との役割分担と連携」 ②「判断能力低下に伴う成年後見制度の利用や見極めについて」  講師／かんだ居宅サービスセンター ケアマネージャー 川上明美氏
開催日	令和5年2月27日	令和4年1月26日
参加人数	21名	15名

(2) 成年後見制度の利用相談・申立て支援

年 度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
新規相談	102件	111件	130件
申立済み	14件	15件	13件
審判済み	17件	13件	13件

※新規相談後の支援および継続相談支援対応件数は、前記「1福祉サービス利用支援事業」の相談対応件数に加わっています。

(3) 法人後見受任事業

目 的 身近な親族がなく、また経済的理由等により、適切な後見人を探すことが難しい方を対象として、審査の上で、千代田区社会福祉協議会が後見業務を受任します。  
なお、法的なアドバイスを受けるため顧問弁護士を置いています。

根 拠 法人後見事業実施要綱

沿 革 平成16年4月より実施（初回受任は平成18年度）

全国的運用として、市民後見人が選任された場合は、原則成年後見制度推進機関が後見監督人を受任。

【受任件数】

年 度		令和4年度	令和3年度	令和2年度
法定後見受任	補助（受任中件数）	3件	3件	3件
	保佐（受任中件数）	1件	1件	2件
	後見（受任中件数）	3件	2件	1件
	新規受任	1件	0件	3件
	受任終了	0件	0件	1件
後見監督人受任	受任中件数	10件	10件	7件
	新規受任	0件	3件	3件
	受任終了	0件	0件	1件

※ 法定後見の受任累計数は24件（補助5件・保佐5件・後見14件）  
うち地域福祉権利擁護事業から法定後見への移行 累計19件

- ※ 後見監督人の受任累計数は16件（親族2件、区民後見人14件）
- ※ 任意後見受任実績は過去1件（平成29年受任および終了）

予算決算	令和4年度	決算額	1,452,778円
	令和5年度	予算額	2,053千円

★事務管理（平成19年度よりちよだ成年後見センター規程第5条により事務管理を実施）

年 度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
事務管理件数	6件 (新規6件)	5件 (新規5件)	3件 (新規3件、前年度からの継続5件)

※開始後累計61件。

## （４）運営委員会／区民後見支援委員会／権利擁護活動計画策定委員会

### ①運営委員会

目 的 ちよだ成年後見センターの業務の透明性・公平性と事業の適正な運営の確保を図るため設置し、当会との法人契約、法人後見受任についての審査等を行います。

根 拠 ちよだ成年後見センター運営委員会設置運営要綱  
構 成 弁護士、医師、民生・児童委員、司法書士、町会関係者、学識経験者、行政、社会福祉士 計10名

事業実績

年 度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
回 数	2回	3回	2回 (うち1回は書面開催)

### ②区民後見支援委員会

目 的 千代田区の区民後見人等候補者養成事業において、区民後見人等人材の育成、区民後見人等の支援に関する事項を検討し実施します。

根 拠 ちよだ成年後見センター運営委員会等設置運営要綱  
沿 革 平成24年度より「小委員会」として実施。平成26年度より「区民後見支援委員会」へ変更

構 成 運営委員より5名（副委員長、行政、弁護士・司法書士・社会福祉士各1名）  
 運営委員以外の弁護士・司法書士・社会福祉士  
 他、事案により必要と認めた専門職・関係機関 計10名以内

事業実績

年 度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
回 数	3回 (※ワーキンググループ3回)	3回	3回

### ③権利擁護活動計画策定委員会

目 的 「千代田区地域福祉計画2022」（千代田区成年後見利用促進基本計画を包含）の趣旨をより具体化するとともに、効果的かつ計画的に権利擁護事業を展開するため中長期の活動計画を検討し、策定します。

根 拠 ちよだ成年後見センター権利擁護活動計画策定委員会設置要綱  
構 成 弁護士、医師、民生・児童委員、司法書士、障害者団体、学識経験者、行政、社会福祉士 計10名



事業実績

※令和5年3月に「千代田区社会福祉協議会 権利擁護活動計画」を策定しました。

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
回数	4回	3回	1回

## 4 理解促進事業（説明会・講演会等）

**目的** 成年後見制度等、権利擁護に関する正しい理解を広めることや、ちよだ成年後見センター事業をPRするため、対象となる区民や福祉サービス事業所等関係機関への情報の提供を図ります。



【グループワークの様子】

### ①講演会・相談会（主催・共催）

開催内容	開催日・場所	参加者数
講演会と個別相談会 「相続や不動産についてのルールが変わります！～相続登記義務化など、司法書士が分かりやすく解説します～」 講師／司法書士 新聞香織氏 (共催：東京司法書士会リーガルポート千代田支部)	令和4年12月12日 日本教育会館 (対面開催)	講演会16名 個別相談8組
講座・グループワーク／障害者とその親向け 障害のある子が地域で暮らすために～「親あるあいの準備」～ テーマ：「障害サービス」 (共催：障害者センターえみふる、障害者よろず相談モフカ)	令和5年2月3日 社会福祉協議会 (対面開催)	11名
講演会 「今から知る医療と介護 ACPのお話 自分らしく生きるために～もしもに備え思いを残す」 エンディングノート「私の歩みノート」 講師／緩和ケア病棟看護師長 但木祥子氏 緩和ケア病棟看護師) 大類奈津子氏 (共催：杏雲堂病院)	令和5年3月10日 社会福祉協議会	23名

### ②出張講座（講師依頼）

団体名・講演内容	開催日・場所	参加者数
はあとカフェ麹町 「成年後見制度ってどんなこと？」	令和4年6月9日 (対面開催)	14名
(株)URコミュニティ「生活支援アドバイザー研修」 「千代田区社会福祉協議会の取り組み、車いすステーションについて、福祉サービス利用支援事業と成年後見制度について」	令和4年11月8日 (オンライン開催)	169名
千代田区ひとり親家庭福祉会 「千代田社協版エンディングノート「私の歩みノート」活用術」	令和5年3月1日 (対面開催)	16名

### ③「支援者のための成年後見制度活用ハンドブック」の発行

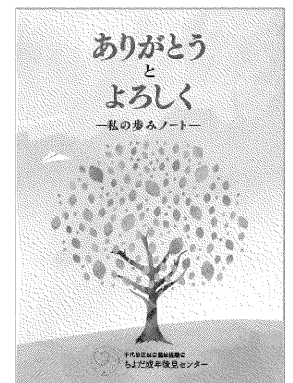
- 目的** 支援者向けに成年後見制度の説明と申立時の実務を解説し、本センターの周知、成年後見制度の利用促進をはかるために、ハンドブックを作成します。
- 事業実績** 令和5年3月に作成し発行。(400部)

### ④成年後見センターだよりの発行

- 目的** 講座への参加や来所相談が難しい方、また広く一般の方に成年後見制度や福祉サービス利用支援事業等の成年後見センター事業をわかりやすく伝えています。また権利擁護支援の担い手を増やすために、地域生活支援員や区民後見人の活動も紹介しています。
- 事業実績** 令和4年7月、令和5年3月 計2回 各600部

### ⑤ちよだ版エンディングノート「私の歩みノート」の発行

- 目的** いつ訪れるかわからない事故や病気に備え、自分自身のことや終末期医療など将来の希望を、なるべく元気なうちにまとめておく大切さを伝えるため、希望する区民に配布しています。



### ⑥ちよだ悪徳商法バスターズ活動

- 目的** 安心・安全に暮らせるよう、住民自らが消費者被害から身を守る方法を会得し、判断能力に不安のある方の権利擁護とともに、悪徳商法のないまちを目指す活動です。

- 沿革** 平成22年度、千代田区消費生活センターと共催により「ちよだ悪徳商法バスターズ養成講座」の修了生が中心となり結成。千代田区の悪徳商法撲滅のためにできることを考え活動する。



[悪徳商法バスターズによる朗読劇]

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
活動内容	・連絡会1回 ・「ふれあい福祉まつり」と「くらしの広場」それぞれにブース参加(アンケート調査とカレンダー配布)	・連絡会1回 ・「ふれあい福祉まつり」「くらしの広場」はコロナ禍のため中止 ・カレンダーを作成し区内高齢者、ボランティア等に個別配布	・連絡会、「ふれあい福祉まつり」「くらしの広場」はコロナ禍のため中止 ・カレンダーを作成し区内高齢者・ボランティア等に個別配布
登録者数	26名	26名	26名

## Ⅳ ボランティア・市民活動推進事業

<ちよだボランティアセンターの運営>

### 1 沿革

千代田区内のボランティア活動の活性化を図るため、

昭和59年4月 千代田区社会福祉協議会事務局内にボランティアコーナーを開設。  
「地区ボランティア活動推進事業協力地区」に指定される。

平成7年 5月 区の施設「いきいきプラザ一番町」2階に移転。  
名称を「ちよだボランティアセンター」と改称。

平成13年3月 西神田庁舎3階に移転。非営利な市民活動（NPO）  
を含めた広範で多様な活動の支援・協働を推進。

平成20年3月 同庁舎4階に移転

平成27年11月 「かがやきプラザ」4階に移転  
「かがやきボランティアサロン」オープン



かがやきボランティアサロン

### 2 事業概要

**目的** 千代田区に集うすべての人々のボランティア・市民活動への参加促進と活動の  
活性化を図り、地域の福祉を推進します。

**根拠** ちよだボランティアセンター設置規程

**利用時間** 月曜日～土曜日 午前8時30分～午後5時15分  
※日曜日・国民の祝日、年末年始を除く

### 3 ボランティア活動状況

#### (1) 令和2年度～令和4年度活動状況

年 度		令和4年度	令和3年度	令和2年度	
個人ボランティア登録者数※		235	324	265	
登録グループ数		135	157	162	
活動件数 (件)	個人・団体等	7,466	4,611	3,778	
	受託事業	0	0	1	
	計	7,466	4,611	3,779	
活動延べ人数 (人)	個人・団体等	31,851	25,831	17,582	
	受託事業	0	0	6	
	計	31,851	25,831	17,588	
ボランティア保険 取扱数 助成単価@150	助成	人数(人)	693	388	1,291
		額(円)	103,500	58,200	193,650
	自己負担(人)	4,498	3,519	3,906	
	計(人)	5,191	4,078	4,330	

※個人ボランティア登録者：

既存の制度では対応が難しい個別の福祉課題に対して、ボランティアセンターに登録し協働する意志のある活動者のこと

## (2) 令和4年度活動対象別ボランティア活動件数及び活動延人数

### 個人及びグループ活動

種 別	内 容	活動件数	活動延人数
施 設	高齢者施設、障がい者施設、児童施設、美術館、博物館など	997件	3,296人
ボランティアグループ NPO等	国際協力、障がい者支援、高齢者支援 環境保護、子ども・家庭支援、手話など	4,518件	18,541人
個 人	使用済み切手整理、傾聴ボランティアなど	278件	494人
社会福祉協議会	ふれあいサロン、地域行事他	1,673件	9,520人
合 計		7,466件	31,851人

### 受託事業

活 動 内 容		活動件数	活動延人数
カセット テープ版	広報千代田、千代田区議会だより	0件	0人
合 計		0件	0人

※新型コロナウイルスの影響により、現在活動休止中

## 4 ボランティア活動支援事業

予算決算 令和4年度 決算額 1,079,454円  
令和5年度 予算額 1,022千円

### (1) 相談・コーディネート

目 的 多様なボランティア活動・市民活動に関する相談を受け、需給調整（コーディネート）を図ることにより、地域の福祉活動をすすめます。

#### 事業実績

年 度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
1) 相談	1,057件	931件	863件
ア ボランティア活動希望相談	159件	109件	103件
イ ボランティア募集相談	61件	51件	40件
ウ その他の相談	837件	771件	720件
2) 活動件数	4,493件	4,146件	3,779件
ア 個人・団体等	4,493件	4,146件	3,778件
イ 受託事業	0件	0件	1件

### (2) 理解促進事業

#### ① ボランティア登録説明会・学習会・セミナー

目 的 ボランティア・市民活動への理解を深め、参加のきっかけづくりをします。  
対 象 在住・在勤者、在学者など  
内 容 現在ボランティア活動をしている方同士の情報交換、課題の共有、個別相談

	内 容	参加者数
7月26日(火) 10:30~12:00	ボランティア活動者交流会① ①自己紹介 ②個別ケースの紹介 ③グループワーク	6名

8月1日(月) 13:30~15:00	ボランティア活動者交流会② ①自己紹介 ②個別ケースの紹介 ③グループワーク	5名
9月3日(土) 10:30~12:00	個人ボランティア活動者交流会 「ボランティアって必要?ゆるく語る会」 ①個別ボランティアコーディネートの目的と現状 ②事例を通してできることを考えよう! ワールドカフェ	16名
第1回 1月27日(金) 19:00~20:45	第1回 千代田区の多文化共生を知る・考える ①今、多文化共生を考える理由 ②異文化コミュニケーション体験 ③「やさしい日本語」を知ろう ④千代田区に住む外国人住民の気持ちを聴く	第1回 26名
第2回 2月17日(金) 19:00~20:45	第2回 日本語を使ったボランティア活動あれこれ ①多文化共生ボランティア活動を知る ②活動紹介 ③今日から始める!ボランティア活動	第2回 26名

## ②福祉ボランティア出張講座

**目 的** ボランティア・NPO等の協力を得て、学校・企業・団体等へ出張し、車いすや手話等の体験、環境、ボランティア等の講座を実施し、ボランティア・市民活動への理解を深め、参加のきっかけづくりをします。

**対 象** 企業・学校・団体等(原則として区内)

**内 容** ボランティア・市民活動や環境・福祉に対する理解促進のための出張講座等を行います。

**沿 革** 平成7年度より開始



### 事業実績

年 度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開 催 数	10回	12回	5回
人 数	1,809名	1,871名	910名

団体名	開催内容	回数	参加者数
東京歯科大学短期大学 2年	手話体験講座・ボランティア入門講座	1回	52名
二松学舎大学	ボランティア入門講座	1回	6名
日本大学3年	手話体験講座・車いす体験講座	2回	298名
都立日比谷高等学校1年	ボランティア入門講座・手話体験・切手整理活動	3回	963名
三輪田学園高等学校 2年	車いす体験講座	1回	180名
白百合学園中学校 2年	ボランティア入門講座	1回	194名
白百合学園小学校 3年	盲導犬のお話	1回	116名
合 計		10回	1,809名

### (3) ボランティアグループ・NPO支援

#### 連携・協働事業

目的 学校や企業、地域の様々な事業等に支援・連携・協働することにより、ボランティア・市民活動への理解と促進を図ります。

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
件数	14件	17件	12件

#### <事業実績>

団体・企業名	事業名	協力・共催・協働内容
一般社団法人プロギング ジャパン	千代田プロギング (Chiyoda Plogging)	後援名義、広報協力
神田一橋中学校	神田一橋中学校職場体験	中学生の職場体験受入れ
NPO法人日本教育再興連盟	大和証券2022年度(第29回)ボランティア活動助成	助成金申込みにもなうコメントの寄稿
東京ボランティア・市民活動センター	第2回企業&社員のための社会貢献セミナー2022「東京都災害VCと企業各社との連携を考える」	事例発表
千代田区	認知症カフェ	企画協力
	職員研修	講師協力
がん哲学外来市ヶ谷だいじょうぶ!カフェ	SOMPO福祉財団住民参加型福祉活動資金」助成	助成金申込みにもなうコメントの寄稿
	市ヶ谷だいじょうぶ!カフェ(がんカフェ)	後援名義、広報協力
がん哲学外来映画製作委員会	ドキュメンタリー映画「がんと生きる言葉の処方箋」特別上映会	後援名義、広報協力
障害者福祉センターえみふる	「かつおがゆく」	取材協力
災害時寄り添いサポーターの会	災害時寄り添いサポーターの会勉強会	後援名義、広報協力
まちみらい千代田	マンション連絡会	ミニ講座の開催・事業案内
一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会	第5回 福祉防災シンポジウム	後援名義、広報協力、会場貸出
東京都	TOKYOみみカレッジ2022	手話サークル、講習会等の情報提供

## (4) 学生向けのボランティア活動支援事業

### ①夏の中高大学生向けボランティア活動の情報発信

目 的	夏休み期間中に参加できるボランティア活動情報を提供し、ボランティア活動のきっかけを作ることを目的とします。
対 象	区内在住・在学の中学生以上の生徒・学生
内 容	区内の高齢者施設、保育園、児童館等にボランティア受入れの調査を行い、その結果のボランティア活動情報をホームページ等で提供。

### ②大学生ボランティアサークルネットワーク

目 的 区内大学のボランティアサークル同士のネットワークづくりや地域課題に向けた取り組みをします。

事業名	回数	参加者数
大学生ボランティアサークルネットワーク幹事会	10回	のべ65名
スクールソーシャルワーカーとの情報交換会	1回	のべ6名
夏休みの宿題を進める会 いきいきプラザ一番町：8月17日(水)・8月18日(木)・8月19日(金) かがやきプラザ：8月30日(火)・8月31日(水)	2回	のべ30名
大学生と宿題を進める会(10月開始)	11回	のべ65名
福祉まつり 防災バッグづくり	1回	のべ48名

## 5 企業・社員のボランティア活動推進

### (1) ちよだボランティアクラブ

目 的	企業とその社員が、地域のボランティアグループや福祉施設等とつながりを持ち、法人としての企業と個人としての社員が地域福祉の推進を図ります。
対 象	区内の企業・ボランティアグループ・福祉施設など
内 容	企業は、任意で自社の社員が地域や施設等でボランティア活動をした時間に応じた金額を社会福祉協議会に寄付します。社会福祉協議会は、いただいた寄付金をボランティア活動の受け入れ団体等に配分します。企業としては、自社の社員のボランティア活動時間等実績報告を専用ホームページで把握することができ、CSR報告書等で活用することができます。
沿 革	平成17年度から実施 平成21年3月に専用ホームページを立ち上げる。 平成21年3月より企業社員自らが会員登録を行ってカードを所持し、カードのID番号で活動の記録を行うシステムに変更。 同時に企業の寄付を任意として「ちよだボランティアクラブ」に名称変更。 平成25年3月ホームページ全面リニューアル。
予算決算	令和4年度 決算額 2,094,956円 令和5年度 予算額 2,280千円



カード見本

事業実績

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
参加企業数	75社	70社	66社
受入れ団体数	55団体	55団体	54団体
総活動時間	664時間	64時間	76時間
寄付金額	232,000円	37,000円	108,000円

【マッチング企業】 18社

- 1)ジブラルタ生命保険株式会社 2)前田建設工業株式会社 3)丸紅株式会社
- 4)MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
- 5)三菱地所株式会社 6)安田不動産株式会社 7)株式会社日本カウンセラー学院
- 8)株式会社サンメディア 9)千代田区社会福祉協議会はあとユニオン
- 10)株式会社コスモテック 11)ソニー銀行株式会社
- 12)日本アムドックス株式会社 13)明豊ファシリティワークス株式会社 14)ブルームバーグL. P.
- 15)株式会社日陸 16) エネルギープロダクト株式会社 17) 株式会社ホスピタリティエージェント
- 18) Celonis 株式会社

【参加企業】 57社

- 1)株式会社大和証券グループ本社 2)株式会社大塚商会 3)ダイダン株式会社
- 4)三和電子株式会社業務統括部 5)三菱製紙株式会社 6)株式会社ツヴァイ
- 7)明治安田生命保険相互会社 8)三菱ガス化学株式会社 9)ライフネット生命保険株式会社
- 10)株式会社セブン銀行 11)株式会社ゼンリン 12)興産信用金庫
- 13)東海旅客鉄道労働組合新幹線地方本部新幹線鉄道事業本部支部 14)プロロジス
- 15)株式会社デジタルライン 16)城南信用金庫神田支店 17)新ケミカル商事株式会社本社
- 18)日管株式会社東京支店 19)株式会社協同宣伝 20)クラスメソッド株式会社
- 21)日本ゼオン株式会社 22)双日株式会社 23)太陽石油株式会社
- 24)ロジスティック・プランニング・スタッフサービス株式会社
- 25)城南信用金庫九段支店 26)興研株式会社 27)株式会社農心ジャパン
- 28)明治安田生命保険相互会社 総合法人第五部 29)三菱UFJファクター株式会社
- 30)三菱樹脂株式会社 31)大和リース株式会社東京本店 32)向井建設株式会社
- 33)株式会社NEXC O保険サービス 34)日立自動車交通株式会社 35)隼町クラブ
- 36)株式会社マイナビパートナーズ 37)クミ化成株式会社
- 38)全国土木建築国民健康保険組合 39)ヤファー株式会社 40)株式会社東京金融取引所
- 41)ハワイアン・エアーラインズ・インク 42)タッパーウエアブランドジャパン株式会社
- 43)株式会社パソナグループ 44)株式会社セールスフォース・ドットコム社会貢献室
- 45)コマニー株式会社 46)ブライトリンクス株式会社 47)リコーリース株式会社
- 48)有限会社安田総合 49)株式会社日本コンラックス 50)株式会社LIFULL senior
- 51)RIKAI 株式会社 52)西村あさひ法律事務所 53)ソフマップ労働組合 54)株式会社Hibou
- 55)明治安田損害保険株式会社 56)株式会社セブン&アイクリエイティリンク
- 57)株式会社ユタカ



(2) 区内企業による地域福祉課題を解決するプロジェクト

プロジェクト名	参加企業・施設	内容
企業体験	ラルフローレン合同会社 ×障害児支援事業「フレンズビレッジ千代田」	○「働く大人」の姿を見学し、「働くこと」や「仕事」について視野を広げてもらうきっかけ作りを目指したプログラム。 ○動画や3択クイズを用いた企業の紹介、子どもたちが自宅に帰ってもできる活動である「Tシャツたたみ体験」を通し「仕事」について学び、社員ボランティアは児童・生徒とのふれあいを通し、子どもたちとのかかわり方を学ぶ。
	ジョンソン・エンド・ジョンソン ×障害児支援事業「フレンズビレッジ千代田」	○動画やスライドを用いて企業紹介を行った。「薬剤師体験」を通し、調剤や処方への仕組みについて学ぶ。児童・生徒の活動サポートを通し、子どもたちと触れ合い、かかわり方を学ぶ。
サロンプログラムへの協力	パソナグループ株式会社 ×ふれあいサロン・ココ	○企業内の管理栄養士、理学療法士より、サロンプログラム講師として「運動と食事健康セミナー」を行ってもらう。
	東邦薬品株式会社 ×エクサゴールド	○企業内管理栄養士による「暑い夏を乗り切る！脱水予防のポイント」をお話いただく。 ○体操のみならず、普段の生活からフレイル予防や健康維持についての学びを深めることにつながった。
地域施設へのプログラム協力	パソナグループ株式会社 ×よさこいサークル「今、ひとたび」 ×岩本町ほほえみプラザ	○区内高齢者施設の新年会プログラムを行う。企業の社会貢献委員と区内で活動する社会人サークルによるコラボレーション企画。参加型でよさこい踊りを楽しんでいただく。

### (3) ちよだ企業ボランティア連絡会

目 的	社会貢献活動に関心を持つ区内企業との協働で事業の企画・開催、及び情報交換を行います。
対 象	区内に事業所があり、社会貢献担当部署かそれに該当する部署をもつ企業。
内 容	定例会を3ヶ月に1回開催するほか、会員企業の中から幹事企業を決めて、各種の連絡会事業をすすめます。
沿 革	平成8年度発足
事業実績	

年度	令和4年度
定例会	① 令和4年5月31日(火) 21名 ② 令和4年9月 6日(火) 23名 ③ 令和5年1月12日(木) 20名 ④ 令和5年3月17日(金) 13名 ※いずれもハイブリッドにて開催。③は企業の会場を借りて実施。
実施事業	(1)第20回ふれあい福祉まつり 防災関連ブース出展 令和4年10月15日(土) 15名 (2)サンタクロースボランティア ①プレゼント作りボランティア 令和4年10月27日(木)～令和4年12月2日(金) 105名 ②サンタクロースボランティア交流実施(6か所) a. 令和4年12月14日(水)(アキバみんなのサロン) 3名 b. 令和4年12月15日(木)(ジロール麹町) 4名 c. 令和4年12月17日(土)(一番町特別養護老人ホーム) 3名 d. 令和4年12月17日(土)(淡路にこここフォーユープラザ) 4名 e. 令和4年12月21日(水)(高齢者活動センター) 3名 f. 令和4年12月21日(水)(子育てサロンinひだまりホール) 5名 (3)学習会(「企業×施設 共につくる地域貢献ボランティア」) ゲストスピーカー 一般社団法人 D&A Networks 代表理事 中田 弾氏 令和5年 3月 6日(月) 14名

【加入企業名(令和5年3月現在16社)】※休会企業除く。

- 1) ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
- 2) 株式会社コスモテック
- 3) 岡谷鋼機株式会社
- 4) NEC ネットエスアイ・グループ
- 5) プロロジス
- 6) カルビー株式会社
- 7) 株式会社バスクリン
- 8) ラルフローレン合同会社
- 9) 株式会社セールスフォース・ジャパン
- 10) 株式会社パソナグループ
- 11) 株式会社明星電気商会
- 12) コマニー株式会社
- 13) 株式会社久原醤油東京営業所
- 14) 向井建設株式会社
- 15) 株式会社あおぞら銀行
- 16) Celonis 株式会社

## 6 助成事業

### (1) 地域福祉活動提案事業助成金

目 的	千代田区の地域福祉を推進するために活動する非営利な団体に対し助成金を交付することにより、千代田区民の地域福祉への参加ならびに活動の促進を図ります。
対 象	有償・無償を問わない非営利な区民主体の公益的な活動(区内の高齢者・障がい者・児童を対象とした、生活支援・居場所づくり・サポート等)を行う団体。
内 容	年額上限10万円(特例15万円)を助成します。
予算決算	令和4年度決算額 1,453,084円 令和5年度予算額 4,033千円

沿 革 平成26年度より地域福祉活動提案事業助成金を開始  
 (環境福祉助成金、福祉ボランティア活動支援助成金、ふれあいサロン助成金)  
 令和2年度よりふれあいサロン助成金は制度変更で別助成金となる。

事業実績

年 度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
件 数	33件	30件	33件

【令和4年度 助成グループの内訳】

グループ名	助成金額	グループ名	助成金額
ちよだ・おはなしひろば	56,687円	Chiyoda Community Connection	89,203円
介護サロン わらべファミリー	21,138円	お堀の会	95,129円
なでしこ篠笛の会	0円	なでしこフレンズ	30,000円
双子ちゃん三つ子ちゃんの会	19,910円	ヘルマンハーブ琴和	21,806円
抹茶の会	0円	神田お手玉の会	100,000円
スポーツウエルネス吹矢東京千代田会	67,780円	チャチャ庵!	14,414円
MCW「歩こう教室」	95,531円	腹式呼吸クラブ	34,126円
チャレンジリーディング	0円	IKILUを考える会	0円
ひつじの会	99,276円	たいわ室 千代田支部	45,290円
ちよだ日本語カフェSwan	17,750円	Nailsarasa	81,687円
おもちゃ2015	0円	ちよだでつながるLINEの輪♡	11,717円
たまり場あつまろう会	100,000円	災害時寄り添いサポートの会	12,931円
障がいをもつ子どもの現在と未来を考える会	44,599円	ながさんのおうち	100,000円
サタデースクールちよだ	38,537円	一般社団法人エスコートダンス協会	18,890円
グリーンネイバーフッド千代田を目指す会	50,000円	ちよだニャンとなる会	0円
ちよだ絵本の会	39,126円	東京ちよだこども会	55,178円
歯っぴーちよだ	33,310円		

※助成金0円については、新型コロナの影響で活動が中止となり使用しなかった。

(2) ボランティアグループ広報活動支援助成金 (広報プロジェクト助成事業)

目 的 千代田区における広範なボランティア活動を行う団体に対し、広報活動に関する助成金を交付することにより、区民のボランティア参加ならびに活動の促進を図ります。

対 象 ちよだボランティアセンター登録グループ  
内 容 年額上限3万円を助成します。

予算決算 令和4年度 決算額 231,105円  
 令和5年度 予算額 705千円

沿 革 平成27年度より開始  
故河村恣様の遺贈寄付を活用し、実施期間は平成27年度から36年度までの10年間とする。

事業実績

年 度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
件 数	13件	15件	14件

【令和4年度助成団体の内訳】

グループ名	助成金額	グループ名	助成金額
フレンドシップちよだ	8,461円	さくら美守り隊	0円
認定特定非営利活動法人ファミリーハウス	30,000円	車いす体験アドバイザー「いっぽ」	5,060円
認定NPO法人日本ハビタット協会	30,000円	朗読赤十字奉仕団	30,000円
千代田・人権ネットワーク	0円	特定非営利活動法人地球の友と歩む会	30,000円
NPO法人後見サポート颯乃会	10,406円	アキバへ恋!	0円
千代田区文化連盟	22,916円	NPO法人生と死を考える会	30,000円
NPO法人NGOフク21ふらっとホーム	10,238円		

※助成金0円については、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が中止となり使用しなかった。

(3) 配食サービス活動への支援・助成

目 的 配食サービス活動を行うボランティアグループを支援し、活動助成金を交付することで、地域福祉を推進することを目的とします。

対 象 配食ボランティアグループ(なでしこ麴町・なでしこ万世橋・なでしこ神保町)  
内 容 ひとり暮らしの高齢者または高齢者世帯、障がい者へ、手作りのお弁当を配る活動を行っているボランティアグループに対して、助成金の交付や活動上の相談などを行っています。

沿 革 平成9年度より実施

予算決算 令和4年度決算額 1,177,118円

令和5年度予算額 1,350千円

事業実績

地 区	活 動 日	延べ回数	助 成 金 額
なでしこ麴町	第1・3月曜日 昼食	18回	452,600円
なでしこ万世橋	第4水曜日 夕食	9回	218,600円
なでしこ神保町	第2月曜日 昼食	11回	249,400円

7 ボランティア保険・行事保険

目 的 千代田区内で安心して、安全にボランティア活動を行ってもらうことを目的に実施

対 象 千代田区内でボランティア活動をする方で、ボランティアセンターにボランティア登録をする方

内 容 ボランティア保険、行事保険の加入事務  
ボランティア保険料の一部助成(令和4年度まで)

予算決算 令和4年度 決算額 178,620円

令和5年度 予算額 128千円

事業実績

		令和4年度	令和3年度	令和2年度
ボランティア 保険(人数)	助成あり	693名	388名	424名
	自己負担	4,498名	3,519名	3,906名
行事保険 (件数)		197件	129件	67件

## 8 広報事業

### (1) 「ボランティアセンター情報紙」 (年間6回発行)

<u>目 的</u>	ボランティア・市民活動や福祉に対する理解促進及びPRを目的とします。
<u>内 容</u>	ボランティア募集、NPO紹介、ボランティアセンター事業の紹介などを掲載しています。区内の公立施設や情報ステーションで配布している他、ボランティア活動希望者には郵送、また、ホームページでも閲覧できます。 平成21年11月号(10月25日発行)を通巻300号特別記念号として発行。 平成24年3月に、特別号「ヤング版」「シニア版」を発行(各4,000部)。 平成24年11月に「ちよだご近所かわらばん」との合併号を発行(以後、令和3年度まで毎年発行)。 平成26年3月に「企業向け特別号」を発行。 平成27年3月に「ボランティア」特別号を発行(以後、毎年発行)。 平成30年4月から隔月発行。 令和3年3月に映像作品「ちよだボラ the Movie」を配信
<u>予算決算</u>	令和4年度 決算額 2,528,491円 令和5年度 予算額 2,651千円

事業実績

年 度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
発行部数	39,000 (6,500部/月)	39,000 (6,500部/月)	39,000 (6,500部/月)
特別号 発行部数	1回 3月 9,000部	2回 11月 10,000部 2月 10,000部	2回 10月 11,000部 3月 ※(1)

※(1)令和2年度3月発行号は映像作品(オンライン配信)として制作

### (2) ホームページの維持管理

<u>目 的</u>	ホームページを開設し、多様なボランティア・市民活動情報を提供します。
<u>沿 革</u>	平成12年度より実施。 平成17年より株式会社大塚商会様の協力を得て、新サイト「ちよだボラボラ島WEB」を開始。 平成21年度より、ボランティア募集情報を東京ボランティアファインダーに統一。 平成23年区内企業様の協力により災害ボランティア専用サイト「ちよだボランティア情報」を開設。 平成24年7月WEB発信情報を統合。ホームページ全面リニューアル。 令和4年より得意なことでボランティアができる掲示板「ちよだでシェアボラ」の機能を追加。

### (3) ボランティア情報ステーションの設置

- 目的** 区内の身近な場所で、ボランティアセンターだよりを手に入れることができるようにし、ボランティア・市民活動を推進します。
- 内容** 商店等の店頭にボランティアセンターだよりを配布できるコーナーの設置を依頼。必要に応じて、パンフレットスタンドの貸出を行っています。
- 沿革** 平成12年度より実施  
平成22年3月に生活衛生同業組合の協力で、加盟店舗に約180ヶ所に設置。

**事業実績**

年 度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
設置数	286ヶ所	287ヶ所	298ヶ所

### (4) メールマガジンの発行

- 目的** Eメールを活用して、ボランティア・市民活動情報を幅広く提供することで、ボランティア・市民活動を推進します。
- 沿革** 平成15年度より実施（毎月10回配信）  
平成25年度9月より、地域情報とボランティア情報を合わせ、「千代田でつながるメールマガジン（つなメール）」として新たに配信を開始する。（毎週火曜日配信）

**事業実績**

年 度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
配信件数	1,653件	1,689件	1,767件

## 9 災害ボランティアセンター事業

- 目的** 地震等による災害時のボランティアセンター運営準備と、大学生を災害ボランティアのコーディネーターとして養成することを目的とします。
- 沿革** 平成13年度より災害時ボランティアコーディネートマニュアル策定のため準備会を開催。平成15年3月「災害ボランティアコーディネートマニュアル」を策定。  
平成16年1月14日千代田区と「災害時におけるボランティア活動等に関する協定」を締結。災害時のボランティア受入体制を準備。  
平成20年12月NPO法人国際ボランティア学生協会と災害時の支援協定を締結。平成24年3月「ちよだ災害ボランティアセンター運営マニュアル」策定。  
平成26年4月 区内の施設、企業、NPO、NGO、大学、病院等が、災害時はもちろん、平時からつながるための連絡会「ちよだモデルネットワーク（CMN）」を発足。  
平成27年、移転にともない協定書の一部を変更しました。
- 予算決算** 令和4年度 決算額 2,605,222円  
令和5年度 予算額 3,062千円
- 事業実績** 区内の地域特性を踏まえた、災害時の「自助・協助を「災害ボランティアフォーラム2023を開催しました。また11月に、災害ボランティアセンター開設・運営訓施しました。

(1) 帰宅困難者対応訓練、避難所防災訓練

項目	内容
千代田区帰宅困難者対応訓練 (ボランティアコーディネート)	【日時】 令和5年3月3日(金) 9:15~11:30 ○外国人誘導ボランティア 5名
避難所防災訓練 (ボランティアコーディネート)	○神田9町会防災訓練 【日時】 令和5年3月11日(土) ボランティア3名

(2) ちよだモデルネットワーク(CMN)

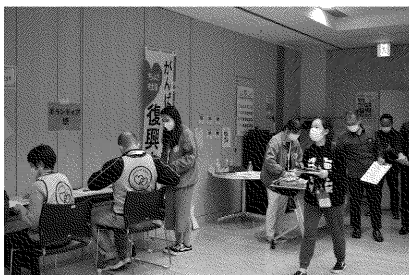
「災害時はもちろん、平時からつながるための連絡会」を実施し、区内のネットワークづくり

項目	内容
幹事会	①令和4年5月20日(火) 18:30~19:30 14名参加 ②令和4年1月26日(月) 18:30~20:00 21名参加 ③令和4年12月15日(木) 18:30~20:00 12名参加 ※Zoomミーティングで実施。①は希望者のみ、かがやきプラザに集まった。
学習会	①令和4年度 第1回ちよだモデルネットワーク災害学習会 令和4年8月22日(月) 18:30~20:00 21名参加 主催：ちよだモデルネットワーク 協力：一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会 代表理事 鍵屋 一 氏 「首都直下地震の新しい被害想定から考える」 ②令和4年度 第2回ちよだモデルネットワーク災害学習会 令和4年11月1日(火) 18:00~20:00 19名参加 主催：ちよだモデルネットワーク 協力：東京災害ボランティアネットワーク 事務局長 福田 信章 氏 「災害ボランティアセンター基礎知識-千代田区で想定されるボランティア活動」 ③令和4年度 第3回ちよだモデルネットワーク災害学習会 令和5年3月16日(木) 18:30~20:00 15名参加 主催：ちよだモデルネットワーク 協力：認定NPO法人レスキューストックヤード 常務理事 浦野 愛 氏 「災害時に『どんな支援ができるか』ではなく『どんな支援をするか』」 ※②は対面で実施。①③は希望者のみ、かがやきプラザに集まった。

(3) 災害ボランティアセンター開設・運営訓練

災害発生時に社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを開設・運営するにあたり職員研修も兼ね広範な区民や区内のNPOも参加し、災害ボランティアセンターの役割などを学びました。

実施日時	内容
令和4年11月1日(火) 14:00~17:00	○会場：かがやきプラザ1階 ひだまりホール ○参加者：①社会福祉協議会職員：21名 ②在勤、在住者等：19名



災害ボランティアセンター  
開設・運営訓練

- (4) 災害時寄り添いサポーター養成講座（災害時要配慮者支援ボランティア養成講座）  
 高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児、外国人等の方々が、災害時にどのようなサポートを必要としているのかを学び、受講者には災害時だけでなく、日常から配慮が必要な方への理解と支援を普及・啓発する講座を開催しました。講師は、全てジョージ防災研究所所長の小野修平氏にお願いしました。

実施日時	受講者数
令和4年6月25日（土）14：00～15：30	18名 ※オンラインと会場視聴で実施
令和4年11月17日（木）18：30～20：00	20名 ※オンラインと会場視聴で実施
令和5年2月21日（火）10：00～11：30	9名 ※オンラインと会場視聴で実施

(5) 災害ボランティアフォーラム

区内の防災・減災活動に係る課題をテーマに、ゲストとともに参加者で平時からどのような行動を取ればいいかを考えるイベント。

実施日時	実施内容
令和5年3月11日（土） 14：30～15：00	会場：かがやきプラザ4階研修室1・2 実施方法：オンラインと会場視聴 参加者数：21名 テーマ：マンション防災と要配慮者について考える 協力：一般社団法人地域防災支援協会 代表理事 三平 洵 氏 なぎさ防災会 会長 鈴木 正彦 氏 都筑区災害ボランティアネットワーク 会長 後藤 浩志 氏

(6) 区内大学災害救援ボランティア養成講座助成

千代田区と災害時の支援協定を締結している大学において、学生災害ボランティアの養成を目的に各大学主催で実施している講座に開催費用の助成（1回30万円）を行う。

大学名	参加者数	
専修大学	前期：39名	後期：40名
明治大学	前期：18名	後期：21名
法政大学	前期：27名	
上智大学	後期：22名	

(7) 災害ボランティア活動助成金

災害救助法適用地域、または災害ボランティアセンターが開所し、圏外からのボランティアを受け入れている地域で災害支援ボランティアを行う、千代田在住、在勤、在学者に、年間1回一人20,000円を上限とする交通費・宿泊費の助成を行う。  
 ※助成金の対象となる災害(令和4年7月から9月にかけての大雨や台風による被害)があったが、新型コロナウイルスの影響で被災地近隣のボランティアに活動を限定したため、本助成金の実績はなかった。



## 10 ボランティアセンター運営事務事業

### (1) ちよだボランティアセンター運営委員会

目的	運営委員会を組織することで、ボランティアセンターの全体の運営や区内のボランティア・市民活動に関する意見を吸収し、事業の立案や評価に生かすことを目的とします。		
根拠 委員構成	ちよだボランティアセンター運営委員会要綱 知識経験者2名、民生・児童委員1名、ボランティアグループ3名、NPO・NGO2名、地域福祉団体2名、地域活動団体3名、企業関係者1名、行政機関1名、社協役員2名、計17名		
内容	事業計画の検討、実施事業の評価・反省、役割分担（広報、講座、運営評価等）についての打ち合わせ、報告を行います。		
沿革 事業実績	平成13年度より設置		

年度	令和4年度	令和2年度	令和2年度
運営委員会開催数	3回 (ZOOMと対面を併用して開催)	3回 (ZOOMと対面を併用し開催。1回は書面開催)	2回 (ZOOMを対面を併用し開催)

### (2) ボランティア・市民活動の調査

目的	ボランティア・市民活動のボランティア活動の状況を把握するため、ボランティアの受入れ状況を調査することを目的とします。		
対象	ボランティア・NPO・市民活動グループ等		
内容	月毎に活動内容とボランティアの人数を調査		
事業実績			

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
調査	①ボランティア活動調査 ②ボランティア登録団体现況調査	①ボランティア受入調査 ②コロナ禍におけるボランティアグループの活動調査	①ボランティア受入調査 ②コロナ禍におけるボランティアグループの活動調査

## 11 千代田区事業の受託

### (1) CD版「広報千代田」、「ちよだ区議会だより」の発行

目的	視覚障がい者の福祉の向上を目的とします。		
内容	朗読ボランティアの協力で印刷物の内容をCDに録音し、区内の視覚障がい者及び図書館に配付します。		
対象	区内在住の視覚障がい者であり希望する方、及び区内の図書館		
沿革	「広報千代田」…区の委託により昭和61年度より実施 「ちよだ区議会だより」…区の委託により平成6年度より実施		
予算決算	令和4年度 決算額	3,263,775円	
	令和5年度 予算額	4,620千円	
事業実績			

「広報千代田」の発行	発行対象者：5名（年度途中から1名追加） 施設：5施設 発行回数：24回(月2回)
------------	---

「ちよだ区議会だより」の発行 作成数：1回10本 発行回数：5回

(2) 介護保険サポーター・ポイント制度

- 目 的** 65歳以上の区民が、地域づくりに参加することで、自らの健康増進や生きがいがづくりを行うとともに、介護保険料の負担を軽減することを目的とします。
- 根 拠** 千代田区介護保険サポーター・ポイント制度実施要綱
- 内 容** 介護保険サービス等のサポート活動をする高齢者を対象に、その活動をスタンプで記録し、ポイント化することで翌年の介護保険料に充てるための資金としてお渡しする。
- 沿 革** 平成19年12月 区の受託事業として試行  
平成20年4月 本格実施
- 予算決算** 令和4年度 決算額 636,899円  
令和5年度 予算額 3,067千円

事業実績

年 度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録者数	124名	139名	166名
受入れ団体数	34団体	34団体	27団体
その他	①かがやきプラザで、登録説明会兼サポーター活動に役立つ講座を2回開催 ②新規登録者16名。	①かがやきプラザで、登録説明会兼サポーター活動に役立つ講座を2回開催。	①かがやきプラザで2回登録説明会を実施予定だったが、コロナウィルスの影響で中止した。 ②新規登録者は1名(新型コロナウイルス感染症の影響により、新規登録者数は大幅に減少)

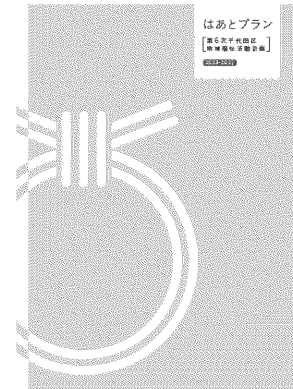
## V 法人運営事業

### 1 組織運営・広報活動・計画策定

#### (1) 地域福祉活動計画策定

##### ①地域福祉活動計画策定委員会

<u>目 的</u>	行政の計画（地域福祉計画）に対し、住民をはじめ地域福祉活動を行っている人・団体等の実践的計画である地域福祉活動計画（はあとプラン）を策定し、計画の円滑な推進を図ることを目的とします。
<u>根 拠</u>	地域福祉活動計画策定委員会設置要綱
<u>委員構成</u>	地域住民、民生・児童委員、福祉施設関係者、学識経験者、福祉団体関係者、教育関係者、区行政機関、社協理事等、計16人以内
<u>予算決算</u>	令和4年度 決算額 3,004,835円 令和5年度 予算額 140千円
<u>沿 革</u>	平成8年度より設置 平成10年3月、第1次は・あ・とプラン策定 （計画期間：平成10年度～平成14年度） 平成15年3月、第2次は・あ・とプラン策定 （計画期間：平成15年度～平成19年度） 平成20年3月、第3次は・あ・とプラン策定 （計画期間：平成20年度～平成24年度） 平成25年3月、第4次は・あ・とプラン策定 （計画期間：平成25年度～平成29年度） 平成29年度より策定年度のみ委員会を設置 （進捗については理事会、評議員会で報告） 平成30年3月、第5次は・あ・とプラン策定 （計画期間：平成30年度～令和4年度） 令和5年3月、第6次はあとプラン策定 （計画期間：令和5年度～令和9年度）



第6次はあとプラン

#### (2) 広報活動

##### ①会報発行

<u>目 的</u>	社協事業の紹介と福祉情報を提供し、社協活動への理解促進を図ります。
<u>対 象</u>	社協会員、区内各町会、区内各施設、関係団体など
<u>配布方法</u>	区民への全戸配付、社協会員・町会長等関係者へ郵送、また区内各施設で窓口配布などを行っています。
<u>内 容</u>	社協事業の紹介と福祉関連の情報を掲載。
<u>予算決算</u>	令和4年度 決算額 2,603,143円 令和5年度 予算額 4,532千円
<u>沿 革</u>	昭和30年2月創刊
<u>事業実績</u>	



広報誌「ちよだ社協」

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
区分			
発行回数	年5回	年4回	年4回
一回の発行部数	※32,500部	32,500部	32,500部

※令和4年度春号のみ46,000部を発行

- ※平成28年度より全面カラー化を行う。  
 ※平成29年度に指名競争入札を実施。  
 ※令和4年度春号で区内全戸へのポスティングを試行

## ②事業周知活動

目 的	社協の事業内容、および福祉情報等を多様なメディアを通して掲載し、社協活動への理解と福祉への意識向上を図ります。
内 容	①ホームページの開設・運営、SNSの活用 ②社協事業（ふたばサービス事業、ボランティアセンター事業、高齢者センター事業を含む）の紹介と福祉関連情報の紹介等のパンフレットの作成。 ③広報「千代田」に社協活動記事掲載およびPRを依頼。
予算決算	令和4年度 決算額 1,830,573円 令和5年度 予算額 2,549千円

## (3) 組織強化活動

### ①社協会員及び活動賛助金の増強

**目 的** 地域を構成する住民、団体及び企業に対して、地域福祉の推進に賛同し、社協活動への関心と理解を求めるとともに、社協の自立性を高めるために会員および活動賛助金の拡充を図ります。

**根 拠** 会員規程

**活動賛助金** 個人会員：（1口） 2,000円より

団体会員：（5口） 10,000円より

**会 員 数** 団体会員：団体の規模に応じた額（町会の場合1世帯200円）

区分 \ 年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
個人会員	462名	478名	494名
団体会員 （法人含む）	232団体	232団体	232団体
活動賛助金	2,436,800円	2,392,400円	2,720,800円

\*いずれも3月末日の会員数



### ②寄付金・寄付物品の受入

**目 的** 社協の地域福祉推進活動に賛同し、協働いただける方々より、金品及び物品寄付を受け入れ、地域福祉活動に活用するための自主財源を確保することを目的とします。

**対 象** 社協事業に賛同・協力いただける企業・団体・施設、個人等

**内 容** 金品及び物品の寄付受入

**事業実績**

区分 \ 年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
寄付金件数	274件	49件	32件
寄付金総額	6,486,348円	5,508,838円	4,637,988円
寄付物品件数	112件	86件	105件

※令和4年度は創立70周年記念事業にかかる寄付も含む。

## ③自動販売機設置の推進

目 的	社協の自主財源を確保するとともに、社会貢献や防災意識に対する理解促進を図ることを目的とします。
対 象	社協事業に賛同・協力いただける企業・団体・施設、個人商店等
内 容	自動販売機の設置場所を提供していただく。
沿 革	平成14年8月より開始 平成15年8月より災害時に無料で飲料水及び災害情報を提供することができる災害対策用自動販売機を設置。

## 事業実績

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
区分			
設置台数	28台	24台	23台
手数料収入	2,577,904円	3,943,149円	2,258,838円

## ④創立70周年記念事業

目 的	創立70年(法人化60年)の節目を迎え、日頃より本会の活動にご理解ご協力をいただいている皆様に感謝の意を表し、住民主体の地域福祉推進の中核的な役割を担う社会福祉法人として、決意を新たにすることを目的としました。
対 象	社協事業に賛同・協力いただいている企業・団体・施設、個人等
内 容	<p>①法人新ロゴマーク制作</p> <p>②記念式典開催          &lt;日時&gt;令和4年11月20日(日)          &lt;会場&gt;グランドアーク半蔵門          &lt;出席者数&gt;212名</p> <p>③記念誌制作          ・記念対談、社協70年のあゆみ          活動者紹介、未来へのメッセージ他          ・20ページ仕様、4,000部印刷・配布</p> <p>④絵本「にっこりのカギ」製作・販売          区内にあいさつを広め、明るく安心なまちにすることを目的に          18歳から97歳までの区民・学生ボランティアとともに手作りました。</p> <p>⑤社協PRグッズ製作・販売          新ロゴマーク入りランチトートバック2種類を製作・販売。</p>



記念式典の様子

## 事業実績

年度	令和4年度
区分	
70周年寄付金件数	177件
70周年寄付金総額	1,705,300円

## ⑤社会福祉士実習生の受入

目 的	地域福祉社会の実現に様々な形で貢献する人材養成を目的としました。
対 象	実習生受入希望がある区内及び本会事業に関係する学校を対象
内 容	社会福祉士相談援助実習に基づくカリキュラム
沿 革	平成24年9月より開始
事業実績	

区分 \ 年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
受入学校数	2校	1校	0校
受入総人数	4名	1名	0名

※令和4年6月7日（火）より上智大学総合人間科学部社会福祉学科2名を対象に実施。

※令和5年2月1日（水）より日本社会事業大学福祉学部福祉援助学科2名を対象に実施。

### ⑥職場体験学習生の受入

**目的** 勤労の社会的な意義や勤労の喜びを理解し、将来の人生設計に主体的に取り組む力を育むことを目的としました。

**対象** 職場体験受入希望のあった区内及び本会事業に関係する学校を対象

**内容**

- ①はあとサロン準備、運営、利用者対応
- ②かがやき大学準備、運営、利用者対応
- ③同好会体験
- ④ボランティアセンター運営補助

**沿革** 平成24年9月より開始

**事業実績**

区分 \ 年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
受入学校数	2校	1校	0校
受入総人数	7名	3名	0名

※令和4年7月7日（火）より九段中等教育学校4名を対象に実施。

※令和4年10月4日（火）より神田一橋中学校3名を対象に実施。

## VI 高齢者活動センターの運営（平成28年1月から指定管理者）

高齢者活動センターは、平成28年1月に高齢者総合サポートセンター（かがやきプラザ）に開設した施設で、千代田区社会福祉協議会が管理運営を行っています。高齢者活動拠点として、高齢者がいきいきと元気で暮らしを楽しめるよう、レクリエーション、機能回復訓練等の場を提供し、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりを支援しています。

沿革	昭和50年4月	「千代田区立老人福祉センター」として神田神保町に開設。
	昭和61年4月	「千代田区立高齢者センター」と改称。
	平成11年4月	千代田区社会福祉協議会が「区立高齢者センター」運営受託。
	平成28年1月	高齢者総合サポートセンターに移転し、名称を「高齢者活動センター」に改称。 千代田区社会福祉協議会が指定管理者として運営開始。

### 1 利用対象・休館日等

①利用対象	60歳以上の区民及び60歳以上の区民で構成された団体。利用者には利用証を発行します。
②開館時間	午前9時から午後5時まで
③休館日	第1日曜日、年末年始（12月31日～1月3日） ※年始が日曜日の場合は、1月は最終日曜日が休館となります。
④利用料	無料

### 2 利用実績

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
開館日数	349日	281日	154日	348日
のべ参加者数	57,821人	※(1)31,836人	8,876人	62,055人
利用登録者数 （更新・新規）	※(3)822人	※(2)800人	※683人	1,329人
新規利用登録者数	151人	117人	24人	215人
浴室利用者数	16,952人	13,418人	5,540人	22,496人

事業区分	事業項目	令和4年度		令和3年度	
		回数	参加者数	回数	参加者数
健康づくり事業	健康づくり事業 （浴室利用者含む）	396回	22,376名	334回	14,132名
	機能回復訓練	95回	431名	30回	268名
	その他健康事業（マシン利用含む）	794回	9,943名	532回	5,263名
ふれあい食事	ふれあいクラブ食事会※(4)	125回	858名	101回	746名
	ふれあいクラブ研修交流会等	0回	0名	4回	29名
講座講習会	かがやき大学	105回	2,911名	50回	1,220名
	講習会関係	48回	231名	40回	152名
長寿会支援	長寿会活動支援	76回	2,708名	43回	1,064名

同好会支援 手作り事業	同好会支援事業※(5)	1,313回	8,894名	1回	1名
	サークル発表・大会	5回	216名	1回	234名
	利用者懇談会	6回	157名	6回	315名
	利用者有志・その他手作り事業	46回	204名	11回	68名
季節・レクリエーション	季節・レクリエーション	8回	312名	42回	542名
ボランティア活動	ボランティア活動	442回	1,315名	174回	531名
見学等	見学・実習・取材	11回	43名	5回	11名
その他施設利用等	開放事業等	-	7,222名	-	7,260名
合計			57,821名		31,836名

※(1)令和3年度より高齢者活動センター事業参加者数の総合計を記載

※(2)令和2年度・3年度は、新型コロナウイルスの影響により利用登録更新手続きを行わなかったため、実利用人数を記載

※(3)令和4年6月末より利用登録更新手続きを再開

※(4)「ふれあいクラブ食事会」は、5月から人数を制限し対面での食事会の再開

※(5)令和4年度より「その他施設利用等」に含まれていた同好会活動参加者数を「同好会支援事業」に記載



### 3 事業内容

#### (1) 健康づくり

予算決算 令和4年度 決算額 9,278,568円  
令和5年度 予算額 10,074千円

##### ①健康相談

目的 高齢者の身体的・精神的健康の維持・増進  
内容 (1)医師による健康相談  
①健康医療相談（第一・三金曜日）  
②運動器相談（第三火曜日）  
(2)看護師による健康相談（毎開館日）

##### ②機能回復訓練

目的 高齢者の身体機能の維持・回復  
内容 理学療法士によるアドバイス  
①運動サポート相談（随時）  
②理学療法士によるスポット体操（第二火曜日）





## ③その他健康事業

## 内 容

- ・トレーニングマシン利用は予約制で実施
- ・栄養相談（第四水曜日）
- ・ラジオ体操（毎開館日）
- ・ハンドマッサージ（第三月曜日）
- ・生活相談（随時）
- ・脳のトレーニング（毎開館日）
- ・脳のトレーニングは、活動センターホームページ「自宅でチャレンジ！なんでもトライ」に毎日掲載
- ・利用証の新規登録及び登録更新

## (2) 講座・講習会

予算決算 令和4年度 決算額 2,680,342円  
 令和5年度 予算額 3,429千円

## ①かがやき大学（講座）

目 的 教養を深め知識を習得する、趣味活動の幅を広げる  
 内 容 文学歴史、音楽、美術、健康、くらし等の講座

<令和4年度実施内容>

- 1) 通年講座とし、4月～7月を前編、10月～1月を後編として、それぞれパンフレットを作成し、対面で実施しました。

【通年講座 前編（4月～7月）】全24回講座56回実施 参加者数：延1,613名	
1	ウォーキング講座
2	朝の鑑賞会～牧歌礼讃/楽園憧憬 アンドレ・ボージャン+藤田龍児～
3	与謝野晶子～旅を詠む～
4	災害に備え「自助」「共助」を考える～支えあえる千代田区を目指して～
5	知っているようで知らない世界遺産
6	横溝正史の元ネタ～バックボーン～
7	名著再読～人生の終わりに読み返す文庫本～
8	知って得する！プロから学ぶ寝たきり予防セミナー
9	九段坂病院共催 目の健康
10	大塚製薬工場 presents 初夏から備える熱中症
11	盆栽で作る小さな景色～育てるたのしさ、観るたのしさ～
12	絵画で読む聖書の物語～旧約聖書編～
13	英語に触れる三日間
14	知っておきたい！大切な食事と栄養素について～健康を楽しくサポート～
15	星空の中に季節を探して
16	消費生活講座 かしこい消費者になろう！
17	シューベルトへの旅
18	運動不足解消！今日から始める運動習慣！
19	ジェンダー視点でみる「紅白歌合戦」～歌の世界の男女平等は？～
20	浮世絵からお江戸にタイムスリップ
21	とっさに手も出る！足も出る！～万難を恐れぬ身体づくり～

22	宮城道雄の生涯と作品～伝統と革新のはざままで～
23	これさえ知っておけば安心！「相続」と「遺言」
24	能楽鑑賞のススメ

【通年講座 後編（10月～1月）】 全24講座 47回実施 参加者数：延1,197名	
1	東洋医学から学ぶ 季節の養生
2	ウォーキング講座
3	絵画で読む聖書の物語～新約聖書編～
4	浮世絵からお江戸にタイムトラベル
5	認知症疾患医療センター講座
6	スマホ講習会
7	栄養・食事管理と身体活動の見直し
8	千代田で学ぶ古生物学～恐竜時代の生き物たち～
9	あなたが知らない世界遺産！ワインで巡る世界の歴史
10	駿河台の旗本根岸鎮衛が語る怪談ばなし
11	星空探訪
12	モーツァルトとは誰だったのか
13	日本の漢詩
14	和綴じでつくる、自分史・家族史
15	姿勢講座・呼吸講座
16	朝の鑑賞会「鉄道と美術の150年」
17	元大妻中高教師が語る「番町（大妻学院周辺）と九段下周辺」の歴史散歩
18	耳の健康
19	カメラの歴史と大河ドラマに登場したカメラ
20	大人の社会科見学「警視庁に行こう！」
21	やってみよう！eスポーツ体験会
22	知っておきたい歯周病とフレイル予防
23	今から始める「終活」～いつまでも、自分らしく～
24	平家物語と能

- 2) 記念講演会については、ひだまりホールと区内の各会場をオンラインでつないで実施しました。

【記念講演会】		
令和4年度後期かがやき大学記念講演会～ げんきに生きる～「91歳日本最高齢インストラクター『タキミカ』の作り方」	9月20日	ひだまりホール 31名 アキバ分室 7名
『美術館の楽しみ～心豊かな人生のために～』	3月7日	ひだまりホール 60名 アキバ分室 3名

## ②講習会

目 的 継続した活動につながる趣味の習得  
高齢者活動センターへの参加推進

内 容 運動系から文化系まで幅広いジャンルの「やって覚える」講習会

<令和4年度実施内容>

- ・パソコンサロン（23回、参加者90名）
- ・スマホサロン（23回、参加者141名）

### （３）企画運営協力事業

- 予算決算 令和４年度 決算額 7,083円  
令和５年度 予算額 166千円
- 目的 高齢者活動センター利用者の主体的な事業参加を促し、利用者が企画・運営に参加する多世代交流事業を展開する。
- 内容 高齢者活動センターの事業企画運営協力者(企画運営サポーター)を募り、協働事業を実施する。
- <令和４年度主な実施内容>
- ・ひだまりサロンチャオ「おえかきフィッシング」[7/30]
  - 「さくら工作サロン」[3/25]
- その他、活動センターの季節行事、多世代交流事業の運営

### （４）長寿会活動支援

- 予算決算 令和４年度 決算額 884,266円  
令和５年度 予算額 1,517千円
- 目的 いきがいづくり・仲間づくりを目的に高齢者が主体となって活動する団体の支援による、高齢者の自主活動の活性化
- 内容 千代田区連合長寿会の活動支援、区内各地区長寿会の活動支援
- <令和４年度主な実施内容>
- ・連合長寿会役員会運営支援（原則第４火曜日）（10回）
  - ・のんびりお散歩会（5/30、参加者24名）
  - ・のんびりバスツアー（11/30、参加者45名）
  - ・ふれあい福祉まつり（10/15、参加者302名）
  - ・千代田区福祉芸能大会（3/2、参加者115名）
  - ・各地区例会・誕生会における健康講座・いきいき講座の開催（延べ55回、1972名）
  - ・広報誌「はくちょう」発行（9月/3月：各2,000部）

地区	誕生会・例会	回数
翹町	第3日曜日	11回
富士見	第3水曜日	9回
神保町	第2土曜日	10回
神田公園	第3土曜日	7回
万世橋	第2水曜日	7回
和泉橋	第2土曜日	11回



### （５）同好会活動・利用者有志活動支援

- 予算決算 令和４年度 決算額 224,433円  
令和５年度 予算額 239千円
- 目的 いきがいづくり・仲間づくりを目的に高齢者が主体となって活動する団体の支援による、高齢者の自主活動の活性化
- 内容 高齢者活動センター登録同好会の立ち上げや日常的活動の支援、同好会連絡会の開催

## ①同好会活動

## 1) 同好会推移

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
同好会数	51 団体	53 団体	54 団体
会員数	703 名	740 名	760 名
新規	2 団体	1 団体	0 団体
解散	4 団体	2 団体	0 団体

## 2) 令和4年度同好会一覧

※3月31日付

種別	同好会名	内容	結成年月	活動日
書	道の会	書道	平成18年1月	月2回
書画	ひまわりの会	絵手紙	平成18年4月	月1回
	たのしい水彩画	水彩画	平成18年9月	月2回
	心がアラワれる写経	写経	平成30年4月	月1回
	絵手紙コスモス	絵手紙	令和元年7月	月1回
文芸 文学	現代俳句 木の会	俳句	平成11年2月	月1回
	かるがも	川柳	平成20年4月	月2回
	チャレンジリーディング	朗読	平成21年11月	月2回
	すいれん	朗読	令和3年7月	月2回
手工芸	てまり	手まり作り	平成2年11月	週1回
	おしゃれリフォーム	洋裁	平成12年6月	週1回
	クルクルシャイン	ペーパークイリング	平成28年4月	月2回
	編み物クラブ	編み物	平成29年4月	月2回
ゲーム	碁楽会	囲碁	平成8年12月	週1回
運動	万華の会	ヨーガ	昭和54年4月	週1回
	卓友会	卓球	昭和55年7月	週1回
	気功太極拳	太極拳	昭和57年3月	週1回
	風仙花	卓球	平成4年10月	週1回
	スポーツウエルネス吹矢 東京千代田会	スポーツウエル ネス吹矢	平成16年1月	月2回
	ハッピーフィットネス	ロコモ対策運動	平成17年5月	週1回
	自彊術	体操	平成20年7月	週1回
	らくらくストレッチ	ストレッチ	平成27年1月	週1回
	楊名時太極拳	太極拳	平成28年5月	月2回
	ゆるやか体操の会	体操	平成29年3月	月2回
	MA T	体操	平成29年4月	月3回
	太極拳 睡蓮(ひつじ草)	太極拳	令和4年6月	月2回
	太極拳 木蓮(マグノリア)	太極拳	令和4年6月	月2回
	100歳まで元気に過ごす体操	体操	平成29年5月	月2回
	プラチナ会	体操	平成30年9月	月3回
	声を 出す	民謡同好会	民謡	昭和54年4月
さざんか		カラオケ	昭和58年10月	週1回
ヴォイス		カラオケ	平成11年4月	月2回
カトレア		カラオケ	平成12年6月	月2回
プープー・ヒメヒメ		ハワイアンソング	平成17年11月	月2回
明星の会		ミュージックセラピー	平成20年4月	月3回

	リルシャンテ	シャンソン他	平成 22 年 4 月	月 2 回
	歌唱同好会・藤枝	各種歌	平成 22 年 5 月	月 2 回
	わかば	カラオケ	平成 28 年 3 月	週 1 回
	カラオケ勉強会	カラオケ	平成 28 年 3 月	月 2 回
	かがやきカンツォーネ	カンツォーネ	平成 28 年 4 月	月 1 回
	はまゆう	カラオケ	平成 29 年 7 月	週 1 回
	八重桜の会	歌唱	令和 4 年 3 月	月 1 回
	愛唱歌の森	唱歌	令和元年 7 月	月 1 回
おどり	レイ・ハッアハッア・オ・ヒロ・プアリリア（フラダンス）	フラダンス	平成元年 8 月	週 1 回
	フラ・プアエフ	フラダンス	平成 10 年 4 月	週 1 回
	ちゅらさん	沖縄舞踊	平成 18 年 8 月	月 2 回
	かがやき社交ダンス同好会	社交ダンス	平成 28 年 3 月	週 1 回
花	あやめ会	華道(龍生派)	平成 2 年 4 月	月 2 回
音楽	ウクレレ同好会	ウクレレ	平成 12 年 6 月	月 2 回
	ウクレレオハナ	ウクレレ	平成 20 年 10 月	月 2 回
	フォーク&ポップスの会	ギター	平成 29 年 6 月	月 2 回
計	51 同好会			

### 3) 同好会発表・大会

内 容 同好会主催による発表会・大会の開催

<令和 4 年度主な実施内容>

- ・作品展 [2/26～2/28]（来場者延べ 164 名）
  - ・ビリヤード大会[3月10日・11日]（2回 参加者延べ 11 名）
- ※新型コロナウイルスの影響により以下の発表会・大会は中止  
（演芸サークル発表会、卓球交流大会、スポーツ吹矢交流大会、  
囲碁交流大会、七夕カラオケ大会、年忘れカラオケ大会）

### 4) 同好会講習会

内 容 同好会主催による講習会・体験会の開催

<令和 4 年度主な実施内容>

講習会・体験会	同好会名
同好会体験会	八重桜の会
同好会体験会	かがやき社交ダンス
同好会体験会	スポーツ吹矢

- ・ビリヤード講習会[2月25日・3月4日]（4回、参加者延べ 23 名）

### 5) 同好会地域福祉活動

内 容 同好会による地域サロンや長寿会など、地域活動への出講活動および交流

<令和 4 年度主な実施内容>

- ・一番町はあとサロン（プープー・ヒヌヒヌ）
- ・和泉サロン（フラ・プアエフ）
- ・多世代交流 ciao! ひだまりサロン「みんなで身体を動かそう」  
（フラ・プアエフ、プアリリア、らくらくストレッチ）

## 6) 利用者懇談会・同好会連絡会

内 容 高齢者活動センター運営及び事業の企画に反映させるため利用者の意見や要望を聴き、センターの利用ルールなどの情報を共有する。また、同好会活動の部屋申請、及び情報共有や利用者の意見や要望を聴く。

<令和4年度主な実施内容>

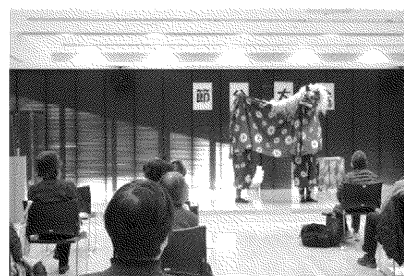
- ・利用者懇談会・同好会連絡会（計6回）

## ②利用者有志・その他手作り事業

内 容 高齢者活動センター利用者有志が主体的に教える講習会、大会等の開催

<令和4年度主な実施内容>

- ・おりがみ講習会（計12回、参加者73名）
- ・ビリヤードご新規 day（計16回、参加者53名）
- ・卓球ご新規 day（計9回、参加者60名）
- ・ゴルフご新規 day（計9回、参加者18名）



## (6) 季節・レクリエーション事業

予算決算 令和4年度 決算額 456,983円  
令和5年度 予算額 775千円

## ①季節行事

目 的 季節行事への参加や劇場等での芸能鑑賞が困難な高齢者への機会提供

内 容 ・伝統的なものから新しいものまでの季節行事  
・音楽・映画や舞踊などの芸能鑑賞会

<令和4年度実施内容>

実施回数：6回

- 主な催し：しょうぶ湯[5/22]（52名）
- 納涼会[8/27]（67名）
- ゆず湯[12/22]（51名）
- 3年ぶりにサンタがやってくる！[12/19]（11名）
- 新春おたのしみ会[1/11]（36名）
- 節分福まき会[2/2]（58名）

## ②その他レクリエーション

目 的 娯楽の提供

<令和4年度実施内容>

- 主な催し：オペラミニコンサート[10/3]（2回37名）

## (7) ふれあいクラブ

予算決算 令和4年度 決算額 1,672,488円  
令和5年度 予算額 2,893千円

目 的 ひきこもり防止・解消、バランスよい食事の提供による食育効果、地域における仲間づくり

内 容 区内出張所単位6地区における会食方式による食事サービス

地区	会場	活動日	活動回数
麴町	一番町集会室	金	21回
富士見	富士見区民館	金	21回
神保町	神保町区民館	土	21回
神田公園	スポーツセンター	土	20回
万世橋	万世橋区民館	月	21回
和泉橋	和泉橋区民館	金	21回

## （８）ボランティア活動

- 目 的 ・福祉に携わるボランティアの育成  
 ・ボランティア活動の場を広げることで区内ボランティア活動を活性化  
 ・ボランティアとの協働による事業メニューの充実

内 容 ボランティア活動者を主体とした事業の実施

<令和4年度主なボランティア活動>

ふれあいクラブボランティア、脳トレーニングボランティア、パソコンサロン講師、スマホサロンボランティア、栄養相談、ハンドマッサージボランティア  
 折り紙講習会アシスタント、ビリヤードご新規 day ボランティア  
 卓球ご新規 day ボランティア、ゴルフご新規 day ボランティア  
 かがやき大学学生アシスタント、納涼会、サンタクロース、オペラミニコンサート  
 多世代交流ボランティア、企画運営サポーター  
 （累計442回 延べ1,315名）

## （９）見学・実習等受入

- 目 的 ・福祉に携わる人材育成への協力  
 ・福祉向上のための研究への協力  
 ・高齢者福祉に対する理解促進

内 容 見学、実習、研究・取材等への協力

<令和4年度主な受入実績>

①見学	学	パラグアイ大使館
②実習	習	共立女子大学看護学部、上智大学、九段中等教育学校、神田一橋中学校、社会福祉事業大学

## 4 PR等広報活動

目 的 施設・事業利用の促進

内 容 施設案内パンフレット、事業案内パンフレット・ちらし、月報「のぞみ」、同好会案内、高齢者活動センター文集「きらめき」など各種広報紙の発行

実 績 （月報「のぞみ」・同好会案内発行数）

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
高齢者活動センター月報「のぞみ」	26,000部/年	30,000部/年	30,000部/年
同好会案内	2,000部/年	0部/年	0部/年

## 5 SNSを活用した動画配信等（コロナ禍における代替事業）

- 目的 新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出を受け、高齢者活動センターが休館する期間、高齢者のフレイル予防や家での時間を楽しめるよう、高齢者センターの事業を動画で配信
- 内容 活動センターのホームページやYouTubeなどを利用して、ご自宅でも閲覧できるように、脳のトレーニングを毎日配信するとともにストレッチ・体操、おりがみや工作などの動画を随時配信

内容	配信回数	閲覧回数
おりがみ	11回	235回
なぞなぞ	13回	1,975回
俳句	13回	219回
脳のトレーニング	361回（毎日配信）	



## Ⅶ ちよだで多世代交流 Ciao! の運営 (平成28年1月から指定管理受託)

ちよだで多世代交流 Ciao! は、平成28年1月に高齢者総合サポートセンター(かがやきプラザ)に開設し、千代田区社会福祉協議会が管理運営を行っています。かがやきプラザ1階ひだまりホールを多世代交流拠点として、多世代の出会いや交流を促進し、活力ある地域社会を目指します。

また、さまざまな世代の区民が多世代交流事業を運営するボランティア等として活躍できる場を提供することで、センター利用者はもとより、子どもから高齢者まで多くの区民が互いに交流できるイベントを実施します。

沿革 平成28年1月より高齢者総合サポートセンターの開設に伴い、事業開始。世代間交流を通じ、住民同士が挨拶のできる関係を築けるよう、事業名を「Ciao」(チャオ)と名付ける。

### 1 利用対象等

①利用対象	区民、在学者、在勤者、その他
②休業日	毎月第1日曜日(ただし、事務室業務時間は、原則として、祝日を除く月曜日から金曜日の8時30分から17時まで)

### 2 事業等実施状況概要

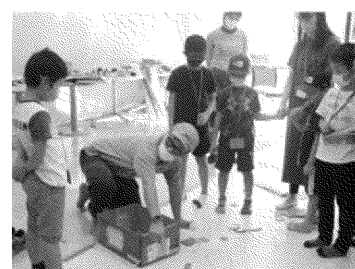
	R4			R3		
	回数	延べ オンライン 閲覧数	延べ 参加者数	回数	延べ オンライン 閲覧数	延べ 参加者数
チャオチャンネル	25回	935名		11回	2644名	
あそび講座	5回		64名	0回	0名	0名
多世代交流カレッジ	19回		430名	15回	203名	202名
ひだまりサロン	13回		266名	3回		32名
多世代交流食堂かがやキッチン	食事業につき 新型コロナウイルスのため中止			食事業につき 新型コロナウイルスのため中止		
協働事業	13回		190名	5回		1101名
その他企画	3回		122名	23回		155名
ボランティア参加者数			240名			155名
合計	78回	935名	1,312	57回	2847名	1645名

### 3 事業内容

#### (1) 多世代交流事業

予算決算 令和4年度 決算額 3,299,968円  
令和5年度 予算額 3,418千円

目的 多世代交流拠点として、多世代の出会いや交流を促進し、活力ある地域社会を目指す。



## ① 多世代交流カレッジ

内 容 子どもから高齢者まで年齢を問わず、工作などのワークショップ等を通じた多世代での交流を図る。

事業内容	日時	内容	参加者
ひだまり俳句くらぶ	4月9日	北の丸公園を散策し、季節の俳句を詠む。	28名
おんがくとあそぼう 「アンサンブル喫茶へようこそ」	5月14日	東京文化会館ミュージックワークショップ	30名
スティールパンとあそぼう	6月18日	スティールパンコンサートと体験ワークショップ	29名
にんちしょうってなあに？	7月16日	VRによる認知症体験を通じた交流	22名
ひだまり俳句くらぶ 夏	7月23日	俳句制作を通じた交流	22名
ひだまりプラモデルサロン	8月6日	プラモデル制作を通じた交流	23名
ひだまりマジックショー	9月10日	マジックショーを通じた交流	32名
ポッチャサポーター養成講座	9月11日	ポッチャ企画を運営していくサポーターの養成講座	15名
おんがくとあそぼう 「One day セッション」	10月8日	東京文化会館ミュージックワークショップ	13名
あーとたいむ	10月23日	ミッションくじに沿って作品を制作、アートを通じた交流	10名
チャオの哲学カフェ	11月5日	哲学対話を通じた交流	10名
ひだまり俳句くらぶ	11月27日	俳句制作を通じた交流	17名
チャオのクリスマスリース作り	12月10日	IVUSA市ヶ谷クラブによるリース作りワークショップ	42名
おんがくとあそぼう 「箏と一緒にコロリンシャン」	1月14日	東京文化会館ミュージックワークショップ	50名
ひだまり俳句くらぶ 冬	2月4日	俳句・創作を通じた交流	15名
チャオの哲学カフェ	2月12日	哲学対話を通じた交流	13名

## ②ひだまりサロン

内 容 1階ひだまりホールでの定例のサロンとして、運営の主体は地域団体やボランティアが担い、毎月さまざまなプログラムを実施し、参加者同士が年齢を問わず交流し、顔見知りとなりゆるやかなつながりをつくる。

事業内容	日時	内容・講師等	参加者数
カポエイラをやってみよう	4月30日	NPO法人カポエイラジェライス	16名

・イタリアのゲームであそぼ! ・明大落研わくわくらくご教室	5月28日	アスケーロ・ファビオ氏(イタリア文化会館)、明治大学落語研究会	16名
Hola! はじめてのスペイン	6月25日	インスティトゥト・セルバンテス東京	16名
おえかきフィッシング	7月30日	高齢者活動センター企画運営サポーターによる企画	20名
化石発掘体験	8月27日	宮田真也氏(城西大学)	35名
入浴剤をつくろう	8月27日	株式会社バスクリン	31名
わくわく電車タイム!	9月24日	法政大学市ヶ谷鉄道研究会	24名
「Hola アミーゴス メキシコを旅しよう!」	10月29日	メキシコ大使館	14名
「はじめての手話」	11月26日	NPO 法人ホープ	11名
「多世代交流クリスマス会~大学生とゲームをしよう!~」	12月24日	法政大学 VSP	28名
恐竜サロン~恐竜の時代へタイムスリップ!~	1月28日	宮田真也氏(城西大学)	33名
「みんなで身体を動かそう」	2月25日	高齢者活動センター同好会による交流企画	8名
「さくら工作サロン」	3月25日	高齢者活動センター企画運営サポーターによる工作を通じた交流	14名

### ③その他企画

#### 〈1〉あそび講座

内 容 子どもの自由なあそびの場をつくるプレイワークを学び、多世代の参加者が協力しながら場づくりに挑戦する。

事業内容	日時	内容	参加者数
多世代でつながる子どものあそび -プレイワーカー養成講座はじめの一步-	10月22日	「遊びとは?遊びの価値とは?」	7名
	11月12日	「遊びに関わる大人に大切な要素」	7名
	11月26日	「身近なもので遊んでみよう」	7名
プレーパーク視察	11月11日	世田谷区羽根木プレーパーク	2名
チャオのみちあそび	3月19日	受講者によるあそび場イベント	41名



## 〈2〉 ボッチャ活動

事業内容	日時	内容	参加者数
ボッチャひろば	6月25日 11月27日 3月25日	ボッチャによる交流	59名
ボッチャサポーター養成講座 （再掲）	9月11日	ボッチャ企画を運営しているサポーターの養成講座	15名

## 〈3〉 季節イベント

事業内容	日時	内容	参加者数
多世代 クリスマスコンサート	12月22日	多世代でのクリスマスコンサート	53名
節分福まき会	2月2日	豆まきとマジックショー	58名
コーヒーサロン	2月12日	バリスタボランティアによる交流サロン	11名

## 〈4〉 離れていても多世代交流 チャオチャンネル

**内 容** コロナ禍によって中止となった「みんなのおうち Ciao さん」事業を、「チャオチャンネル」として学生やボランティアグループ、高齢者の協力によって作成した動画を YouTube にて配信。対面での活動を再開した令和4年度は、対面事業の様子を中心に継続した。令和5年3月をもって定例の配信は終了する。

配信日	内容
4/9	ちよだキュンピープル
5/14	ちよだキュンピープル
6/11	ひだまりサロンチャオ

6/11	多世代Ciao!おんがくとあそぼう
6/12	明大落研わくわく落語
7/9	多世代ciao!「スティーロパンであそぼう」
7/9	ひだまりサロンチャオ「Hola!はじめてのスペイン!」
8/13	多世代ciao!「大学生とピアノタイム」
8/13	多世代ciao!「ひだまり俳句くらぶ 夏」
8/13	多世代ciao!「おえかきフィッシング」
9/10	かがやき納涼会「自分専用の入浴剤作りに挑戦!」
9/10	プラモデルサロン
10/8	ひだまりマジックショー
10/8	大学生と簡単・楽しい楽器作り
10/8	ひだまりサロンチャオ「わくわく電車タイム」
11/12	多世代カレッジ「おんがくとあそぼう」
11/12	ひだまりサロンチャオ「メキシコを旅しよう」
12/10	ひだまりサロンチャオ「はじめての手話」
1/14	ひだまりサロンチャオ「多世代クリスマス会」
1/14	チャオのクリスマスリースづくり
2/17	ひだまりサロンチャオ「恐竜サロン」
2/17	チャオ「おんがくとあそぼう」
3/30	ひだまり俳句くらぶ 冬
3/30	ひだまりサロンチャオ「みんなで身体を動かそう」




### 〈5〉多世代交流食堂かがやキッチン

内 容 ボランティアが作る食事と学生のレクリエーションを通じた地域の交流会

※新型コロナウイルスのため中止

## (2) 協働事業

内 容 ボランティア、他団体や他事業者等との協働による事業

団体名	企画名	日付	参加者数
法政大学サークルVSP	大学生とピアノタイム	8/4	30名
	大学生と簡単・楽しい楽器づくり	9/17	19名
上智大学コミュニティ心理学研修室 	チャオのボードゲーム交流会	9/17	12名
	チャオのボードゲーム交流会	10/1	3名
	チャオのボードゲーム交流会	10/29	3名
	チャオのボードゲーム交流会	11/19	15名
	チャオのボードゲーム交流会	12/17	9名
	チャオのボードゲーム交流会	1/28	15名
	チャオのボードゲーム交流会	2/4	14名
	チャオのボードゲーム交流会	2/18	13名
	チャオのボードゲーム交流会	3/4	10名
	チャオのボードゲーム交流会	3/18	11名
IVUSA 市ヶ谷クラブ	イチフェス!	3/26	36名



## (3) ボランティア活動

目 的 ・福祉に携わるボランティアの育成  
 ・ボランティア活動の場を広げることで区内ボランティア活動を活性化  
 ・企業やNPO・福祉団体等、協働による事業メニューの充実

内 容 ボランティア活動者を主体とした事業の実施  
 (累計 51回 延べ240名)

## VIII 研修センターの運営（平成27年度から指定管理受託）

研修センターは、平成28年1月に千代田区が開設した高齢者総合サポートセンター（愛称：かがやきプラザ）を構成する5拠点のひとつである人材育成・研修拠点として整備され、開設当初から千代田区社会福祉協議会が指定管理者として運営しています。

福祉ボランティア、家族介護者、介護・福祉サービス等従事者の育成を目的とした事業や、介護サービスと医療サービスの連携を強化する研修、そして、介護・福祉分野への人材参入促進を目的とした事業など、高齢者の在宅生活継続を支援する人材の育成を通じ、高齢者総合サポートセンターの設置目的である地域包括ケアシステムの推進を行っています。

### 沿革

- 平成27年10月 千代田区より人材育成・研修拠点の指定管理者として事業を受託。  
千代田区社会福祉協議会事務局内(西神田庁舎)に研修センター(準備室)を開設
- 平成28年 1月 高齢者総合サポートセンターに事務所を移転。研修センターとして、事業を開始

## 1 施設概要

室名	規模等	備考
①研修室1	定員45人	研修室1・2は連結しての使用も可能
②研修室2	定員42人	
③研修室3	定員39人	
④閲覧室	席数12	福祉情報誌、福祉関連図書、大活字本、千代田にゆかりの文豪全集等を収蔵
⑤保育・授乳室	おむつ換え台×1 キッズスペース×1 授乳スペース×2	研修センター事業ほか、かがやきプラザ事業参加者・利用者で、乳幼児連れの方による利用を想定

## 2 利用対象等

①利用対象	区民、区をサービス範囲に含む介護・福祉事業所等従事者、在勤者、在学者、ほか一般
②休業日	毎月第1日曜日（ただし、事務室業務時間は、原則として、祝日を除く月曜日から金曜日の8時30分から17時まで）

### 3 事業等実施状況概要

	令和4年度		令和3年度	
	講座開催回数等	延べ参加者数	講座開催回数等	延べ参加者数
(1) ボランティアの育成と活動支援	15回	286名	13回	311名
(2) 家族介護者のスキルアップ	7回	130名	8回	151名
(3) 介護・福祉従事者のスキルアップ	47回	1,064名	47回	935名
(4) 介護と医療の連携づくり	令和4年度より(3)に統合		9回	266名
(5) 区民向け福祉・医療学習	4回	351名	6回	176名
(6) 介護・福祉人材の育成と就職・復職支援	6回	158名	2回	11名
(7) 介護カウンセリング	23回	37名	24回	23名
(8) 協力研修	4回	63名	—	—
合計	106回	2,089名	109回	1,873名
閲覧室利用開放	335回	—	150日	—

### 4 事業内容

#### (1) ボランティアの育成と活動支援

予算決算 令和4年度 決算額 1,079,454円  
 令和5年度 予算額 1,261千円  
目的 高齢者の生活を支援するボランティアの養成を行います。



#### ① 認知症のある方を支援するボランティアの養成

事業内容	日時	内容	参加者数
認知症サポーター養成講座	7月27日	認知症を理解し、認知症の人とその家族を支える認知症サポーターの養成講座（ボランティア活動の説明含む）	31名
	2月4日		32名
認知症サポーターステップアップ講座	12月7日	全3回の講座と通しグループワーク、認知症カフェやサロンについて学び、その後ボランティア体験や仲間との活動を通して、地域で活動するための講座	16名
	12月14日		16名
	12月21日		15名
認知症サポーターステップアップ講座④修了生ボランティア体験	12月27日～2月9日	実際に区内で活躍している地域・高齢者を支える団体に各々活動を体験しに行く回	22名
認知症サポーターステップアップ講座⑤活動体験報告会	2月15日	2月9日までに行われた活動体験を経て、実際にどのようにして高齢者を支える活動ができるか話し合う報告会	6名



## ②高齢者の生活を支援するボランティアの養成

事業内容	日 時	内 容	参加者数
介護の入門的研修 基礎(1)、入門講座(6) ※初回に基礎と入門を 合わせて実施	6月4日	介護に関する仕事やボランティア活 動をするにあたって役立つ知識や技 術を学ぶ講座	13名
	6月11日		18名
	6月18日		17名
	6月25日		18名
	7月2日		16名
	7月9日	19名	

## ③地域活動指導者の養成

事業内容	日 時	内 容	参加者数
地域の見守り・声かけ学 習会	3月18日	講師は山田理恵子氏。見守り活動の際 に気になる方と会った時や異変を感 じたときなど、その対応方法を学び、 活動者の不安を解消する講座	25名
	3月20日		22名

## (2) 家族介護者のスキルアップ

予算決算 令和4年度 決算額 713,041円  
令和5年度 予算額 756千円

目 的 家族介護者、高齢者の生活支援に携わる人向けに  
介護の知識と技術が学べる講座を実施し、家族等の負担軽減を図ります。



## ① 高齢者の権利擁護・虐待防止の講座

事業内容	日 時	内 容	参加者数
映画上映会「わが母の 記」	11月4日	認知症の母とその家族が暮らす内容 の映画の鑑賞を通じ、高齢者虐待防止 について高齢者本人と家族への理解 促進を図る講座。上映会後に区在宅支 援課職員より「認知症の対応について ～高齢者虐待防止のために～」のミニ 講話を入れ、区の制度への理解を深め る。	55名

## ② 講座・講習会

事業内容	日 時	内 容	参加者数
かがやき介護スクール ①「家族介護者のための VR認知症体験」	9月3日	VR体験を通じて、認知症VRを体験し、 認知症についての知識や理解・対応を より深め、家族としての接し方を学ぶ 講座【対面】	14名
かがやき介護スクール ②「調理・栄養編～心と	9月15日	低栄養予防のコツや時短メニューの レシピを学ぶことで、介護者の調理の	12名

体の健康は食事から～」		負担を減らすとともに、高齢者介護の「食」の充実を図る講座【対面】	
かがやき介護スクール ③「遠距離介護と介護離職防止」基礎編	11月25日	高齢者家族と離れて暮らしていても仕事を辞めずに、介護を行うコツやポイントを学ぶ講座	6名
かがやき介護スクール ④遠距離介護と介護離職防止 応用編	12月9日	高齢者家族と離れて暮らしていても仕事を辞めずに、介護を行うコツやポイントを学ぶ講座	3名
かがやき介護スクール (動画配信)「遠距離介護と介護離職防止」基礎編/応用編	1月17日 ～1月31日	高齢者家族と離れて暮らしていても仕事を辞めずに、介護を行うコツやポイントを学ぶ講座【オンデマンド配信】	16名
かがやき介護スクール 「介護を楽にする実技編」	1月31日	自宅での介護で気を付けるポイントやベッドを中心とした介助関連のコツを学び、安全なベッドでの介助やリスクについて実技で学ぶ講座	24名

### (3) 介護・福祉従事者のスキルアップ

予算決算 令和4年度 決算額 2,307,295円

令和5年度 予算額 4,302千円

目 的 区内にサービス提供を行う介護・福祉職等のスキルアップ研修を行います。

#### ①介護職・福祉職向けスキルアップ研修

##### 【基本編】

事業内容	日 時	内 容	参加者数
eラーニングで学ぶ新任職員向けビジネスマナー研修	4月1日 ～5月13日	介護職が必要な知識をオンラインで時間や場所を問わず学べるeラーニングシステムを活用した研修。今回は新任職員向けに「ビジネスマナー」動画を必須視聴とする研修【オンデマンド】	17名
千代田区の福祉施策研修	5月19日	区内専門職向けの千代田区の福祉施策や独自サービスについて学ぶ研修	18名
『8050問題（家族に精神疾患の疑いがある場合）』原因とその対応～引きこもり家族の原因別の対応～	6月16日 ～6月30日	家族に精神疾患の疑いがある8050問題について、その原因を整理し、対応方法について学ぶ研修【オンデマンド】	64名
社会資源の捉え方	7月1日 ～7月15日	社会資源の考え方や見つけ方について学ぶ研修【オンデマンド】	15名
社会資源の捉え方（グループワーク）	7月15日	事例をもとに受講者自身が考える社会資源について情報共有や意見交換をするグループワーク	9名
パーソナリティ障害と神経症	7月26日～ 8月9日	パーソナリティ障害のタイプ別に特徴や接し方など医療の視点で学ぶ講座【ハイブリッド】	57名

利用者の満足度アップ！時短のコツと簡単メニュー！ 専門職向け調理スキルUP研修	10月7日	利用者宅にある食材や調味料・冷蔵庫の残り野菜等で作れる簡単レシピを座学・実習にて学ぶ講座	8名
介助技術の秘訣①	11月2日	腰痛とボディメカニズムを理解してベッド上で行う介助者に負担の少ない介助方法（寝返り、起き上がり、上方移動など）と、障害に合わせた車いすやクッションの特徴を実演を交えて理解する講座	5名
介助技術の秘訣②	11月9日	1日目に学んだボディメカニクスを応用しながら、利用者の身体や特徴に合わせたさまざまな方法でのベッドと車いすの移乗介助について学ぶ講座	5名

【中級編】

事業内容	日時	内容	参加者数
かがやきサポートネット学習会	5月13日	区内専門職の連携と学びを目的にした「かがやきサポートネット学習会」との共催研修。手作りけん玉体験を通じたりハビリや身体機能を学ぶ	12名
採用・集客に効果的な「届けたい人に伝える広報」	6月10日	講師の経験にもとづく、介護施設・事業所における広報戦略とその考え方について学ぶ講座【オンライン】	13名
高齢者のお薬事情（配信）	8月17日～ 8月31日	高齢者に使われることの多い薬の種類や飲み合わせ、高齢者ならではの副反応や服薬時の注意点について事例をおりませながら学びます。 【オンデマンド】	16名
理想の法人・チームにむかって、職員一丸となって目指すブランディング&マネジメント講座	9月22日	介護施設・事業所におけるブランディングとそのために必要なマネジメントについて学ぶ講座【オンライン】	4名
区在宅支援課共催研修 具体事例とともに考える高齢者・障がい者の虐待予防	10月18日	施設虐待・身体拘束について学び、グループワークを行い、理解を深める講座	22名
	12月20日 ～1月19日	施設虐待・身体拘束について学び、グループワークを行い、理解を深める講座【オンデマンド】	39名
多様なバックグラウンドを持つ人材が介護現場を活性化させる「外国人採用研修」	10月27日 ～11月10日	介護業界全体での人材不足を解決するための一手として外国人採用のメリットや受入のフロー、どのような準備や職員の意識が必要かなどを学ぶ講座【オンデマンド】	5名
高齢者の嚥下障害と具体的なケア～九段坂病院共催研修	11月15日 ～ 11月29日	九段坂病院との共催研修。九段坂病院摂食嚥下障害看護認定看護師より高齢者の嚥下障害の基本と気をつけ	19名

		たい場面について学ぶ講座 【オンデマンド】	
杏雲堂病院共催研修「多職種連携・協働で支える在宅ケア」	12月1日～ 12月15日	在宅ケアを必要とする当事者に対する多職種連携・協働による支援を強化するために、連携事例を学ぶ講座 【オンライン】	11名
ファシリテーション入門	1月12日	介護福祉職のためミーティングと対話の実践のコツを学ぶ講座	12名

## 【上級編】

事業内容	日時	内 容	参加者数
令和4年度第1回スーパービジョン型事例検討会	11月22日	区内福祉専門職から困難事例を提供していただき、その事例検討を通してスーパーバイズの視点や考え方を学ぶ講座	13名
令和4年度第2回スーパービジョン型事例検討会	3月17日	知的障がいのある高齢者の支援について、実際の事例をもとに第三者によるスーパーバイザーがケースの支援評価を行いながら問題やトラブルへの対処方法をアドバイスし支援方法を見出す講座。	15名
千代田区多職種協働研修	3月2日	在宅の高齢者を職種間連携でどう支えるか。	49名
ちよだケアマネ連絡会楽習会～コロナ禍、うまく乗り切ってますか？	2月14日	医療と介護のケアマネジャー同士の情報交換や意見交換を行い、ケアマネのネットワークの再構築やスキルアップを図る講座	41名

## (2)その他

事業内容	日時	内 容	回答者数
令和4年度研修ニーズに関するアンケート調査	6月	区内介護施設・事業所の管理者に研修事業の要望を聞くアンケート調査	32名

## ②認知症ケア研修

（「認知症とともに、安心して暮らし続けられるまちへ」を基本テーマに開催）

事業内容	日時	内 容	参加者数
第1回 認知症の人の生活のしづらさとその支援	5月13日	認知症になっても自分らしく暮らし続けるため、本人の力をどのように発揮してもらうことが大切かを学ぶ講座【ハイブリッド】	52名

第2回 本人の想いととも に～千代田区の小さ くて大きな一歩～	6月23日	認知症本人ミーティング「実桜の会 （みおのかい）」の活動紹介、千代田 区の認知症ケアパスについて学ぶ講 座【ハイブリッド】	31名
第3回 若年性認知症支援の基 本的理解	7月22日	若年性認知症について、高齢者の認知 症との違い、必要な社会保障制度、就 労支援について学ぶ講座【ハイブリッ ド】	34名
第4回 認知症診療の現場から	8月6日	認知症の人と家族の思いやニーズを 聞き、認知症の本人と共に地域での活 動を始めた講師の経験から、病院外で の居場所の重要性について学ぶ講座 【ハイブリッド】	37名
第5回 認知症の人と家族の一 体的支援プログラムの 取り組みについて	9月20日	「認知症の人と家族の一体的支援プ ログラム（ミーティングセンター）」 の取り組みや見えてきたことについ て学ぶ講座【ハイブリッド】	33名
第6回 認知症の人の心を知り、 語り出しを支える	10月19日	認知症の人の体験や心情・心理を深く 理解した丁寧な診察を行い、認知症の 本人を相談員として雇用し診断後の ピアサポートにも取り組む講師より、 臨床や活動を通しての気づきを学ぶ 講座【ハイブリッド】	62名
第7回 認知症と共に生きる	11月5日	若年性認知症当事者等を迎え、エピソ ードをまじえてどのように向き合っ たのかを話してもらおう。新たな気づき を得て、前向きに暮らすためのヒント について参加者を交えて語り合う講 座	47名
第8回 認知症の人が自信を取 り戻し、地域のカタチ を取り戻す	12月12日	「HOME BLG」の取り組みや、各地に 広がるBLGの取り組みをデイサービ スの現場からライブ発信し学ぶ講座 【ハイブリッド】	23名
第9回 認知症の人と共に創る これからのまち	2月21日	近年自治体での取り組みが始まって いる認知症条例について、実際に条例 施行に携わった自治体職員から話を 聞く講座【ハイブリッド】	35名
第10回 心のケアとは何か	3月15日	多くのクライアントのこころの声に 寄り添ってきた臨床心理士経験をヒ ントに、長引くコロナ禍によって失わ れてしまった日常の「つながり」や「ケ ア」を取り戻すために必要な、こころ の在り方について学ぶ講座【ハイブリ ッド】	94名



### ③資格取得への支援

事業内容	日 時	内 容	参加者数
介護福祉士国家試験勉強法のコツ講座	8月17日	令和4年度介護福祉士国家試験に向けたコツ講座	5名
社会福祉士国家試験勉強のコツ講座	9月8日	令和4年度社会福祉士国家試験に向けたコツ講座	16名
社会福祉士国家試験対策自主勉強会	9月21日	社会福祉士国家試験に向けた自主勉強会	8名
	10月12日		8名
	10月26日		8名
	11月9日		8名
	11月24日		8名
	12月7日		8名
	12月21日		8名
	1月11日 1月25日		8名 8名
介護福祉士国家試験筆記直前対策講座	12月18日	東京福祉保育専門学校非常勤講師為田靖子氏を講師に迎え、介護福祉士国家試験の試験範囲を総合的に学ぶ講座	5名
社会福祉士・精神保健福祉士国家試験共通科目直前対策講座	1月8日	第35回社会福祉士・精神保健福祉士国家試験共通科目に向けた5時間の直前対策講座	17名

## （４）区民向け福祉・医療学習

予算決算 令和4年度 決算額 363,239円  
令和5年度 予算額 475千円

目 的 福祉に対する理解促進と活動参加のきっかけづくりを目的として、他者への思いやり、介護職への理解、障がいへの理解等、福祉への理解を広めるイベントを開催します。



### ①区民向け医療学習

タイトル	日 時	内 容	参加者数
知って安心がんのお話 （※杏雲堂病院との共催）	1月25日	「がんってどういう病気？」「もしもがんと診断されてしまった場合の対応について」など受講者に適宜質問を投げかけながら、がんについて学ぶ	18名

### ②区民向け福祉学習（福祉への理解を深める上映会）

タイトル	日 時	内 容	参加者数
だってしょうがないじゃない 【オンデマンド】	5月24日 ～6月7日	障がいを持つ親戚、監督のドキュメンタリーを視聴することにより、障がいというものについて考える。同時配信で、えみふるのボランティアも紹介	56名

きらめく拍手の音 【オンデマンド】	3月4日	耳の聞こえない両親の日常を健聴者である娘の目線からとらえたドキュメンタリーを視聴することで障がいというものについて考える。同時配信でNPO 法人ホープの手話講習会動画、ちよだボランティアセンターの紹介	48名
----------------------	------	--	-----

### ③区民向け福祉講座（障がいへの理解促進講座）

タイトル	日時	内容	参加者数
第20回ふれあい福祉まつり 「フクシチャレンジ」 (福祉体験)	10月15日	ボランティア4団体と協力し、来場者が「白杖」「手話」「車いす」「ウォーキング」を体験できる福祉体験コーナーを運営	229名

### ④閲覧室の運営

介護・福祉関係の書籍や月刊誌をそろえ、区内の介護・福祉の職場で働く人や関心をもつ人の学びの場として、また、介護・福祉の仕事への理解促進を図るために、閲覧室を運営します。



年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
閲覧室利用開放	335日	150日	69日

## (5) 介護・福祉人材の育成と就職・復職支援

予算決算 令和4年度 決算額 1,789,832円  
令和5年度 予算額 4,232千円

目的 求職者・潜在資格者等に対する区内福祉事業所等への就労支援・現場復帰支援や、区内の介護・福祉人材の養成校と介護・福祉事業者との連携により、区内への質の高い介護・福祉人材確保を図ります。

沿革 ①介護・福祉のしごと合同面接会 平成28年度より実施  
②介護・福祉人材の育成と就職・復職支援 平成29年度より実施



### ①介護・福祉のしごと相談会

事業内容	日時	内容	参加者数
KAiGO PRiDE (カイゴ・プライド) トークショー	7月30日	全国で介護職の魅力を伝える活動を行っているゲストによるトークイベント。日本中の介護職を撮影したポートレートと本人たちの声も同時展示	28名
カイゴ・フクシのしごと 相談面接会	7月30日	千代田区内介護・福祉施設、事業所の採用担当者と求職者との就職相談面接会	28名

採用者向け研修	1月26日	2月に行われる就職フェアに向けて、採用担当としてのPR方法や、採用のコツを学ぶ講座	5名
トークイベント「介護ってじつは〇〇」働いて分かった介護の魅力	2月18日	介護について関心を持っていただける活動を行っているゲストによるトークイベント	39名
未来を掴む就職フェア —千代田区ではたらくということ—	2月18日	千代田区内介護・福祉施設、事業所の採用担当者と求職者との就職相談面接会	39名

### ②介護職員初任者研修・介護福祉士実務者研修受講費助成

- 目 的** 介護職員初任者研修の受講助成を通じ、区内介護施設等で働く介護職の就労促進を図ります。
- 対 象** 18歳以上の区内在住、在勤、在学、その他どなたでも
- 内 容** 介護職員初任者研修修了後に区内介護事業所等に就労した者に、研修受講費の助成を行います。
- 沿 革** 平成28年度より実施

年 度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
受講費助成	12件	7件	6件

### ③介護・福祉人材の育成と就職の一体的支援事業

- 目 的** 人材の養成校と介護施設・事業所とのつながりを強化し、養成校への出張型の面接会、施設見学や実習等の受入調整を行い、区内施設への就職を支援します。

事業内容	日 時	内 容	参加者数
区内施設・事業所への区内養成校実習受入助成	通年	「介護人材の育成と就職の一体的支援事業」施設実習受入助成 ※1施設につき5名まで助成	1名

### ④社会福祉士・介護福祉士実習指導者講習会受講費助成

- 目 的** 社会福祉士及び介護福祉士養成に係る実習生の受け入れ体制の強化を図り、質の高い介護・福祉人材を育成するための支援をします。

事業内容	日 時	内 容	参加者数
実習指導者講習会受講費助成	通年	社会福祉士・介護福祉士実習指導者講習会受講費助成	2名

### ⑤介護職員初任者研修の実施（※直接開催）

- 目 的** 委託する養成校（都内各所）の介護職員初任者研修講座の受講を案内することにより、介護知識のある人材を増やすとともに、区内介護事業所への就労につなげる。

事業内容	日 時	内 容	参加者数
介護職員初任者研修	1月	介護職員初任者研修講座受講を案内	4名



## （６）介護カウンセリング

予算決算 令和4年度 決算額 444,211円  
令和5年度 予算額 518千円

目 的 介護ストレス・高齢者虐待・ターミナル期の家族の心のケア、介護の仕事に従事する職員の心のケアなどについて、専門のカウンセラーが相談に応じ、家族介護者や介護サービス従事者の負担軽減を図ります。  
(毎月2回/第2水曜日・第4土曜 ※年未年始・祝日は除く)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
実施回数	23回	24回	13回
相談件数	37件	23件	8件

## （７）協力事業

事業内容	日 時	内 容	参加者数
第1回コーディネーター連携プログラム検討会（準備会）	7月21日	高齢者、障がい、子ども等、各分野のコーディネーターの連携に必要なプログラム（研修含む）を検討する会に出席（区福祉総務課主催）	13名
第2回コーディネーター連携プログラム検討会（準備会）	9月16日		16名
第1回コーディネーター連絡会	12月8日		19名
第2回コーディネーター連絡会	3月23日		15名

## （８）広報事業（メールマガジン）

予算決算 令和4年度 決算額 41,800円  
令和5年度 予算額 44千円

目 的 研修センター事業の情報を定期的にメールで直接登録者に配信することで、研修センターの広報を強化し、講座参加者増進を図る。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
配信回数	12回	11回	4回
登録数	355件	287件	255件



第3章 令和4年度 会計決算書  
(計算書類等)

社会福祉法人 千代田区社会福祉協議会



## 財 産 目 録

令和 5年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
<b>I 資産の部</b>						
<b>1 流動資産</b>						
現金	現金手許残高	—	運転資金として	—	—	2,179,353
預貯金	三井住友銀行東京公務部他	—	運転資金として	—	—	651,614,384
事業未収金		—	令和5年3月分利用料・受託事業契約金等	—	—	26,306,082
立替金		—	社会保険料概算払い分等	—	—	4,831,270
前払金		—	令和5年度保険料等	—	—	1,929,092
	流動資産合計					686,860,181
<b>2 固定資産</b>						
<b>(1) 基本財産</b>						
定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	—	寄付による設立基本金	—	—	5,200,000
	基本財産合計					5,200,000
<b>(2) その他の固定資産</b>						
器具及び備品		—	電話加入権	18,499,400	14,671,407	3,827,993
権利		—	ふたばサービス・ウイルス対策	576,800	941,063	576,800
ソフトウェア		—	退職金引当金	941,063	—	59,230,925
退職給付引当資産	三菱UFJ信託銀行本店営業部等	—	退職積立金	—	—	23,727,410
その他の固定資産	従事者共済会（東京都社会福祉協議会）	—		—	—	87,363,128
	その他の固定資産合計					92,563,128
	固定資産合計					779,423,309
	資産合計					
<b>II 負債の部</b>						
<b>1 流動負債</b>						
事業未払金	令和5年度に支払う令和3年度の費用等	—		—	—	59,238,844
預り金	令和4年分源泉所得税他	—		—	—	9,063,093
前受金	令和5年度活動費助金	—		—	—	225,000
賞与引当金	令和4年度賞与への引当金	—		—	—	13,685,835
	流動負債合計					82,212,772
<b>2 固定負債</b>						
退職給付引当金	職員の退職金用引当金	—		—	—	82,958,335
	固定負債合計					82,958,335
	負債合計					165,171,107
	差引純資産					614,252,202

法人単位資金収支計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	会費収入	2,900,000	2,858,800	41,200
		指定寄附金収入	6,070,000	6,535,348	-465,348
		経常経費補助金収入	289,850,000	289,737,077	112,923
		受託金収入	219,751,000	220,441,437	-690,437
		事業収入	15,731,000	14,977,132	753,868
		負担金収入	2,976,000	3,085,000	-109,000
		受取利息配当金収入	5,000	1,619	3,381
		その他の収入	3,781,000	3,003,598	777,402
		事業活動収入計(1)	541,064,000	540,640,011	423,989
	支出	人件費支出	370,249,000	364,045,697	6,203,303
		事業費支出	176,457,000	143,063,861	33,393,139
		事務費支出	45,022,000	40,515,933	4,506,067
		返還金費用		9,565,395	-9,565,395
		分担金支出	12,157,000	10,847,066	1,309,934
助成金支出		300,000	600,000	-300,000	
その他の支出			23,580	-23,580	
事業活動支出計(2)		604,185,000	568,661,532	35,523,468	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		-63,121,000	-28,021,521	-35,099,479	
施設整備等による収支	収入	固定資産売却収入	2,100,000	2,954,120	-854,120
		施設整備等収入計(4)	2,100,000	2,954,120	-854,120
	支出	固定資産取得支出	3,098,000	2,187,760	910,240
		施設整備等支出計(5)	3,098,000	2,187,760	910,240
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-998,000	766,360	-1,764,360	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	15,000,000	14,478,503	521,497
		その他の活動収入計(7)	15,000,000	14,478,503	521,497
	支出	積立資産支出	8,662,000	9,266,850	-604,850
		その他の活動による支出	30,000	22,780	7,220
		その他の活動支出計(8)	8,692,000	9,289,630	-597,630
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		6,308,000	5,188,873	1,119,127	
予備費支出(10)		5,000,000	—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-57,811,000	-22,066,288	-35,744,712	
前期末支払資金残高(12)			640,399,532	-640,399,532	
当期末支払資金残高(11)+(12)		-57,811,000	618,333,244	-676,144,244	

法人単位事業活動計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	活動賛助金収益	2,858,800	2,808,400	50,400
		寄附金収益	6,535,348	5,508,838	1,026,510
		経常経費補助金収益	289,737,077	288,038,355	1,698,722
		受託金収益	220,441,437	200,570,970	19,870,467
		事業収益	14,977,132	13,201,622	1,775,510
		負担金収益	3,085,000	1,319,882	1,765,118
		その他の収益	3,003,598	3,336,505	-332,907
		サービス活動収益計(1)	540,638,392	514,784,572	25,853,820
	費用	人件費	357,104,041	352,495,444	4,608,597
		事業費	143,063,861	117,178,539	25,885,322
		事務費	40,539,263	36,782,280	3,756,983
		返還金費用	9,565,395	11,919,571	-2,354,176
		分担金費用	10,847,066	10,360,918	486,148
		助成金費用	600,000	150,000	450,000
減価償却費		976,966	1,354,396	-377,430	
徴収不能額			-757,320	757,320	
その他の費用	23,580		23,580		
サービス活動費用計(2)	562,720,172	529,483,828	33,236,344		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		-22,081,780	-14,699,256	-7,382,524	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	2,137	2,357	-220
		その他のサービス活動外収益		1,808,150	-1,808,150
	サービス活動外収益計(4)	2,137	1,810,507	-1,808,370	
	費用				
サービス活動外費用計(5)					
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		2,137	1,810,507	-1,808,370	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		-22,079,643	-12,888,749	-9,190,894	
特別増減の部	収益	特別収益計(8)			
		費用	固定資産売却損・処分損	2	2
	特別費用計(9)	2	2	2	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)		-2	-2	-2
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		-22,079,645	-12,888,749	-9,190,896	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		631,131,847	644,020,596	-12,888,749
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		609,052,202	631,131,847	-22,079,645
	基本金取崩額(14)				
	基金取崩額(15)				
	その他の積立金取崩額(16)				
	その他の積立金積立額(17)				
	次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)		609,052,202	631,131,847	-22,079,645

## 法人単位貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

(単位: 円)

	資 産 の 部			負 債 の 部		
	当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	686,860,181	702,651,077	-15,790,896	82,212,772	76,900,991	5,311,781
現金	2,179,353	2,183,401	-4,048	59,238,844	53,317,678	5,921,166
預貯金	651,614,384	671,951,934	-20,337,550	9,063,093	8,912,867	150,226
事業未収金	26,306,082	21,979,392	4,326,690	225,000	21,000	204,000
立替金	4,831,270	4,831,270		13,685,835	14,649,446	-963,611
前払金	1,929,092	1,705,080	224,012	82,958,335	88,936,380	-5,978,045
固定資産	92,563,128	99,518,141	-6,955,013	82,958,335	88,936,380	-5,978,045
基本財産	5,200,000	5,200,000		165,171,107	165,837,371	-666,264
定期預金	5,200,000	5,200,000		純 資 産 の 部		
その他の固定資産	87,363,128	94,318,141	-6,955,013	5,200,000	5,200,000	
器具及び備品	3,827,993	4,804,959	-976,966	5,200,000	5,200,000	
権利	576,800	576,800		609,052,202	631,131,847	-22,079,645
ソフトウェア		2	-2	609,052,202	631,131,847	-22,079,645
退職給付引当資産	59,230,925	64,442,610	-5,211,685	-22,079,645	-12,888,749	-9,190,896
その他の固定資産	23,727,410	24,493,770	-766,360	614,252,202	636,331,847	-22,079,645
資産の部合計	779,423,309	802,169,218	-22,745,909	779,423,309	802,169,218	-22,745,909



資金収支内訳表

（自）令和 4年 4月 1日（至）令和 5年 3月31日

（単位：円）

勘定科目		社会福祉事業	収益事業	合計	内部取引消去	法人合計	
事業活動による収支	収入	会費収入	2,858,800		2,858,800		2,858,800
		指定寄附金収入	6,535,348		6,535,348		6,535,348
		経常経費補助金収入	289,737,077		289,737,077		289,737,077
		受託金収入	220,441,437		220,441,437		220,441,437
		事業収入	11,376,600	3,600,532	14,977,132		14,977,132
		負担金収入	3,085,000		3,085,000		3,085,000
		受取利息配当金収入	1,619		1,619		1,619
		その他の収入	2,592,340	411,258	3,003,598		3,003,598
		事業活動収入計(1)	536,628,221	4,011,790	540,640,011		540,640,011
	支出	人件費支出	364,045,697		364,045,697		364,045,697
		事業費支出	141,051,661	2,012,200	143,063,861		143,063,861
		事務費支出	40,109,433	406,500	40,515,933		40,515,933
		返還金費用	9,565,395		9,565,395		9,565,395
		分担金支出	10,847,066		10,847,066		10,847,066
助成金支出		600,000		600,000		600,000	
その他の支出		23,580		23,580		23,580	
事業活動支出計(2)	566,242,832	2,418,700	568,661,532		568,661,532		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-29,614,611	1,593,090	-28,021,521		-28,021,521		
施設整備等による収支	収入	固定資産売却収入	2,954,120		2,954,120		2,954,120
		施設整備等収入計(4)	2,954,120		2,954,120		2,954,120
	支出	固定資産取得支出	2,187,760		2,187,760		2,187,760
		施設整備等支出計(5)	2,187,760		2,187,760		2,187,760
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	766,360		766,360		766,360		
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	14,478,503		14,478,503		14,478,503
		事業区分間繰入金収入	1,593,090		1,593,090	-1,593,090	
		その他の活動収入計(7)	16,071,593		16,071,593	-1,593,090	14,478,503
	支出	積立資産支出	9,266,850		9,266,850		9,266,850
		事業区分間繰入金支出		1,593,090	1,593,090	-1,593,090	
		その他の活動による支出	22,780		22,780		22,780
		その他の活動支出計(8)	9,289,630	1,593,090	10,882,720	-1,593,090	9,289,630
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	6,781,963	-1,593,090	5,188,873		5,188,873		
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	-22,066,288		-22,066,288		-22,066,288		
前期末支払資金残高(11)		640,399,532		640,399,532		640,399,532	
当期末支払資金残高(10)+(11)		618,333,244		618,333,244		618,333,244	

事業活動内訳表

（自）令和 4年 4月 1日（至）令和 5年 3月31日

（単位：円）

勘定科目		社会福祉事業	収益事業	合計	内部取引消去	法人合計	
サービス活動増減の部	収 益	活動賛助金収益	2,858,800		2,858,800		2,858,800
		寄附金収益	6,535,348		6,535,348		6,535,348
		経常経費補助金収益	289,737,077		289,737,077		289,737,077
		受託金収益	220,441,437		220,441,437		220,441,437
		事業収益	11,376,600	3,600,532	14,977,132		14,977,132
		負担金収益	3,085,000		3,085,000		3,085,000
		その他の収益	2,592,340	411,258	3,003,598		3,003,598
		サービス活動収益計(1)	536,626,602	4,011,790	540,638,392		540,638,392
	費 用	人件費	357,104,041		357,104,041		357,104,041
		事業費	141,051,661	2,012,200	143,063,861		143,063,861
		事務費	40,132,763	406,500	40,539,263		40,539,263
		返還金費用	9,565,395		9,565,395		9,565,395
		分担金費用	10,847,066		10,847,066		10,847,066
		助成金費用	600,000		600,000		600,000
減価償却費		976,966		976,966		976,966	
その他の費用		23,580		23,580		23,580	
サービス活動費用計(2)	560,301,472	2,418,700	562,720,172		562,720,172		
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		-23,674,870	1,593,090	-22,081,780		-22,081,780	
サービス活動外増減の部	収 益	受取利息配当金収益	2,137		2,137		2,137
		サービス活動外収益計(4)	2,137		2,137		2,137
	費 用						
		サービス活動外費用計(5)					
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		2,137		2,137		2,137	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		-23,672,733	1,593,090	-22,079,643		-22,079,643	
特別増減の部	収 益	事業区分間繰入金収益	1,593,090		1,593,090	-1,593,090	
		特別収益計(8)	1,593,090		1,593,090	-1,593,090	
	費 用	固定資産売却損・処分損	2		2		2
		事業区分間繰入金費用		1,593,090	1,593,090	-1,593,090	
特別増減差額(10)=(8)-(9)		1,593,088	-1,593,090	-2		-2	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		-22,079,645		-22,079,645		-22,079,645	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		631,131,847		631,131,847		631,131,847
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		609,052,202		609,052,202		609,052,202
	基本金取崩額(14)						
	基金取崩額(15)						
	その他の積立金取崩額(16)						
	その他の積立金積立額(17)						
次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)		609,052,202		609,052,202		609,052,202	

貸借対照表内訳表

令和 5年 3月31日現在

（単位：円）

勘定科目	社会福祉事業	収益事業	合計	内部取引消去	法人合計
流動資産	684,690,942	2,169,239	686,860,181		686,860,181
現金	2,173,353	6,000	2,179,353		2,179,353
預貯金	649,732,357	1,882,027	651,614,384		651,614,384
事業未収金	26,024,870	281,212	26,306,082		26,306,082
立替金	4,831,270		4,831,270		4,831,270
前払金	1,929,092		1,929,092		1,929,092
固定資産	92,563,128		92,563,128		92,563,128
基本財産	5,200,000		5,200,000		5,200,000
定期預金	5,200,000		5,200,000		5,200,000
その他の固定資産	87,363,128		87,363,128		87,363,128
器具及び備品	3,827,993		3,827,993		3,827,993
権利	576,800		576,800		576,800
退職給付引当資産	59,230,925		59,230,925		59,230,925
その他の固定資産	23,727,410		23,727,410		23,727,410
資産の部合計	777,254,070	2,169,239	779,423,309		779,423,309
流動負債	80,043,533	2,169,239	82,212,772		82,212,772
事業未払金	57,069,605	2,169,239	59,238,844		59,238,844
預り金	9,063,093		9,063,093		9,063,093
前受金	225,000		225,000		225,000
賞与引当金	13,685,835		13,685,835		13,685,835
固定負債	82,958,335		82,958,335		82,958,335
退職給付引当金	82,958,335		82,958,335		82,958,335
負債の部合計	163,001,868	2,169,239	165,171,107		165,171,107
基本金	5,200,000		5,200,000		5,200,000
基本金	5,200,000		5,200,000		5,200,000
次期繰越活動増減差額	609,052,202		609,052,202		609,052,202
次期繰越活動増減差額	609,052,202		609,052,202		609,052,202
（うち当期活動増減差額）	-22,079,645		-22,079,645		-22,079,645
純資産の部合計	614,252,202		614,252,202		614,252,202
負債及び純資産の部合計	777,254,070	2,169,239	779,423,309		779,423,309

社会福祉事業区分 資金収支内訳表

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		社会福祉事業(拠)	指定管理事業(拠)	合計	内部取引消去	事業区分合計
事業活動による収支	収入					
	会費収入	2,858,800		2,858,800		2,858,800
	指定寄附金収入	6,535,348		6,535,348		6,535,348
	經常経費補助金収入	289,737,077		289,737,077		289,737,077
	受託金収入	61,314,777	159,126,660	220,441,437		220,441,437
	事業収入	10,269,000	1,107,600	11,376,600		11,376,600
	負担金収入	3,085,000		3,085,000		3,085,000
	受取利息配当金収入	1,619		1,619		1,619
	その他の収入	2,540,340	52,000	2,592,340		2,592,340
	事業活動収入計(1)	376,341,961	160,286,260	536,628,221		536,628,221
	支出					
	人件費支出	269,773,243	94,272,454	364,045,697		364,045,697
	事業費支出	96,625,937	44,425,724	141,051,661		141,051,661
	事務費支出	32,020,736	8,088,697	40,109,433		40,109,433
返還金費用	9,565,395		9,565,395		9,565,395	
分担金支出	10,847,066		10,847,066		10,847,066	
助成金支出	600,000		600,000		600,000	
その他の支出	23,580		23,580		23,580	
事業活動支出計(2)	419,455,957	146,786,875	566,242,832		566,242,832	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-43,113,996	13,499,385	-29,614,611		-29,614,611	
施設整備等による収支	収入					
	固定資産売却収入	2,954,120		2,954,120		2,954,120
	施設整備等収入計(4)	2,954,120		2,954,120		2,954,120
	支出					
固定資産取得支出	1,710,740	477,020	2,187,760		2,187,760	
施設整備等支出計(5)	1,710,740	477,020	2,187,760		2,187,760	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	1,243,380	-477,020	766,360		766,360	
その他の活動による収支	収入					
	積立資産取崩収入	14,478,503		14,478,503		14,478,503
	事業区分間繰入金収入	1,593,090		1,593,090		1,593,090
	その他の活動収入計(7)	16,071,593		16,071,593		16,071,593
	支出					
	積立資産支出	6,839,955	2,426,895	9,266,850		9,266,850
その他の活動による支出	22,780		22,780		22,780	
その他の活動支出計(8)	6,862,735	2,426,895	9,289,630		9,289,630	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	9,208,858	-2,426,895	6,781,963		6,781,963	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	-32,661,758	10,595,470	-22,066,288		-22,066,288	
前期末支払資金残高(11)	589,547,302	50,852,230	640,399,532		640,399,532	
当期末支払資金残高(10)+(11)	556,885,544	61,447,700	618,333,244		618,333,244	

社会福祉事業区分 事業活動内訳表

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		社会福祉事業(拠)	指定管理事業(拠)	合計	内部取引消去	事業区分合計
サービス活動増減の部	収入					
	活動賛助金収益	2,858,800		2,858,800		2,858,800
	寄附金収益	6,535,348		6,535,348		6,535,348
	経常経費補助金収益	289,737,077		289,737,077		289,737,077
	受託金収益	61,314,777	159,126,660	220,441,437		220,441,437
	事業収益	10,269,000	1,107,600	11,376,600		11,376,600
	負担金収益	3,085,000		3,085,000		3,085,000
	その他の収益	2,540,340	52,000	2,592,340		2,592,340
	サービス活動収益計(1)	376,340,342	160,286,260	536,626,602		536,626,602
	費用					
	人件費	260,627,873	96,476,168	357,104,041		357,104,041
	事業費	96,625,937	44,425,724	141,051,661		141,051,661
	事務費	32,044,066	8,088,697	40,132,763		40,132,763
	返還金費用	9,565,395		9,565,395		9,565,395
分担金費用	10,847,066		10,847,066		10,847,066	
助成金費用	600,000		600,000		600,000	
減価償却費	976,966		976,966		976,966	
その他の費用	23,580		23,580		23,580	
サービス活動費用計(2)	411,310,883	148,990,589	560,301,472		560,301,472	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-34,970,541	11,295,671	-23,674,870		-23,674,870	
サービス活動外増減の部	収入					
	受取利息配当金収益	2,137		2,137		2,137
	サービス活動外収益計(4)	2,137		2,137		2,137
費用						
サービス活動外費用計(5)						
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,137		2,137		2,137	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	-34,968,404	11,295,671	-23,672,733		-23,672,733	
特別増減の部	収益					
	事業区分間繰入金収益	1,593,090		1,593,090		1,593,090
	特別収益計(8)	1,593,090		1,593,090		1,593,090
	費用					
固定資産売却損・処分損	2		2		2	
特別費用計(9)	2		2		2	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	1,593,088		1,593,088		1,593,088	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-33,375,316	11,295,671	-22,079,645		-22,079,645	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	576,923,284	54,208,563	631,131,847		631,131,847
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	543,547,968	65,504,234	609,052,202		609,052,202
	基本金取崩額(14)					
	基金取崩額(15)					
	その他の積立金取崩額(16)					
	その他の積立金積立額(17)					
	次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	543,547,968	65,504,234	609,052,202		609,052,202

社会福祉事業区分 貸借対照表内訳表

令和 5年 3月31日現在

(単位: 円)

勘定科目	社会福祉事業(拠)	指定管理事業(拠)	合計	内部取引消去	事業区分合計
流動資産	615,243,609	69,447,333	684,690,942		684,690,942
現金	1,816,377	356,976	2,173,353		2,173,353
預貯金	581,341,692	68,390,665	649,732,357		649,732,357
事業未収金	26,098,593	-73,723	26,024,870		26,024,870
立替金	4,792,945	38,325	4,831,270		4,831,270
前払金	1,194,002	735,090	1,929,092		1,929,092
固定資産	80,078,522	12,484,606	92,563,128		92,563,128
基本財産	5,200,000		5,200,000		5,200,000
定期預金	5,200,000		5,200,000		5,200,000
その他の固定資産	74,878,522	12,484,606	87,363,128		87,363,128
器具及び備品	3,827,993		3,827,993		3,827,993
権利	576,800		576,800		576,800
退職給付引当資産	49,739,999	9,490,926	59,230,925		59,230,925
その他の固定資産	20,733,730	2,993,680	23,727,410		23,727,410
資産の部合計	695,322,131	81,931,939	777,254,070		777,254,070
流動負債	68,362,694	11,680,839	80,043,533		80,043,533
事業未払金	48,865,993	8,203,612	57,069,605		57,069,605
預り金	9,267,072	-203,979	9,063,093		9,063,093
前受金	225,000		225,000		225,000
賞与引当金	10,004,629	3,681,206	13,685,835		13,685,835
固定負債	78,211,469	4,746,866	82,958,335		82,958,335
退職給付引当金	78,211,469	4,746,866	82,958,335		82,958,335
負債の部合計	146,574,163	16,427,705	163,001,868		163,001,868
基本金	5,200,000		5,200,000		5,200,000
基本金	5,200,000		5,200,000		5,200,000
次期繰越活動増減差額	543,547,968	65,504,234	609,052,202		609,052,202
次期繰越活動増減差額	543,547,968	65,504,234	609,052,202		609,052,202
(うち当期活動増減差額)	-33,375,316	11,295,671	-22,079,645		-22,079,645
純資産の部合計	548,747,968	65,504,234	614,252,202		614,252,202
負債及び純資産の部合計	695,322,131	81,931,939	777,254,070		777,254,070

## 計算書類に対する注記

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

・満期保有目的の債券等：償却原価法

#### (2) 固定資産の減価償却方法

・器具及び備品、ソフトウェア：新定額法

#### (3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金：当該会計年度までに負担すべき額を見積り、退職給付引当金に計上している  
 ・賞与引当金：決算時において、翌年度の夏季賞与のうちの12月から3月分相当額をを計上している

### 3. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 4. 法人で採用する退職給付制度

職員の退職金の支給に備えるために、東京都社会福祉協議会の退職共済制度及び中小企業退職共済制度に加入しているほか、法人独自に引当を行っている。

### 5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の計算書類(第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式)

(2) 事業区分別内訳表(第一号第二様式、第二号第二様式、第三号第二様式)

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表(第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式)

(4) 収益事業における拠点区分別内訳表(第一号の第三様式、第二号の第三様式)は拠点区分が1つであるため、作成を省略する

(5) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

ア 社会福祉事業拠点区分(社会福祉事業)

- ・社会福祉事業
- ・共同募金事業

イ 指定管理事業拠点区分(社会福祉事業)

- ・研修センター事業
- ・高齢者活動センター事業
- ・維持管理・総合業務

ウ 自動販売機設置等事業(収益事業)

- ・自動販売機設置等事業

## 6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	5,200,000	0	0	5,200,000
合 計	5,200,000	0	0	5,200,000

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し  
該当なし

8. 担保に供している資産  
該当なし

## 9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
器具及び備品	18,499,400	14,671,407	3,827,993
権利（電話加入権）	576,800	0	576,800
ソフトウェア	941,063	941,063	0
合 計	20,017,263	15,612,470	4,404,793

## 10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。  
該当なし

## 11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。  
該当なし

## 12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。  
該当なし



13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け

該当なし

16. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

第一号第四様式(第十七条第四項関係)

社会福祉事業拠点区分 資金収支計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)			
業	収	会費収入	2,900,000	2,858,800	41,200		
		社協会員賛助金収入	2,600,000	2,436,800	163,200		
		ふたばサービス賛助会費収入	300,000	422,000	-122,000		
		指定寄附金収入	6,070,000	6,535,348	-465,348		
		指定寄附金収入	970,000	597,000	373,000		
		経常経費寄附金収入	5,100,000	5,938,348	-838,348		
		経常経費補助金収入	289,850,000	289,737,077	112,923		
		市区町村補助金収入	283,774,000	283,774,000			
		共同募金配分金収入	6,076,000	5,963,077	112,923		
		受託金収入	58,577,000	61,314,777	-2,737,777		
	入	市区町村受託金収入	35,442,000	38,177,562	-2,735,562		
		東社協受託金収入	21,815,000	21,817,215	-2,215		
		その他の受託金収入	1,320,000	1,320,000			
		事業収入	9,767,000	10,269,000	-502,000		
		参加費収入	652,000	1,906,000	-1,254,000		
		利用料収入	9,115,000	8,363,000	752,000		
		負担金収入	2,976,000	3,085,000	-109,000		
		負担金収入	2,976,000	3,085,000	-109,000		
		受取利息配当金収入	5,000	1,619	3,381		
		受取利息配当金収入	5,000	1,619	3,381		
業	活	その他の収入	2,926,000	2,540,340	385,660		
		退職手当積立基金預け金差益	300,000	596,740	-296,740		
		雑収入	2,626,000	1,943,600	682,400		
		事業活動収入計(1)	373,071,000	376,341,961	-3,270,961		
		業	動	人件費支出	272,484,000	269,773,243	2,710,757
				職員給料支出	166,425,000	151,425,926	14,999,074
				職員賞与支出	48,583,000	44,604,856	3,978,144
				非常勤職員給与支出	2,028,000	3,428,377	-1,400,377
				派遣職員費支出	4,508,000	7,710,686	-3,202,686
				退職給付支出	15,000,000	17,999,303	-2,999,303
法定福利費支出	35,940,000			35,550,694	389,306		
区補助金返還金支出				9,053,401	-9,053,401		
事業費支出	119,032,000			96,625,937	22,406,063		
業	支			教養娯楽費(業)	245,000	375,230	-130,230
		本人支給金支出	2,000,000	1,660,000	340,000		
		水道光熱費(業)	582,000	74,087	507,913		
		消耗器具備品費(業)	5,006,000	3,865,790	1,140,210		
		保険料(業)	1,823,000	1,758,970	64,030		
		賃借料(業)	10,501,000	7,923,007	2,577,993		
		諸謝金支出	29,721,000	26,853,758	2,867,242		
		旅費交通費支出	1,186,000	1,184,600	1,400		
		研修費支出(業)	375,000	285,327	89,673		
		資料購入支出(業)	134,000	46,820	87,180		
業	支	印刷製本費支出(業)	10,512,000	8,505,423	2,006,577		
		修繕費支出(業)	547,000	210,610	336,390		
		通信運搬費支出(業)	6,261,000	4,296,390	1,964,610		
		会議費支出(業)	348,000	61,014	286,986		
		業務委託費支出	24,765,000	21,218,659	3,546,341		
		手数料支出(業)	769,000	708,457	60,543		
業	支	租税公課支出(業)	102,000	110,100	-8,100		

社会福祉事業拠点区分 資金収支計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
る 収 支	渉外費支出(業)	453,000	128,550	324,450
	諸会費支出(業)	96,000	83,000	13,000
	助成金支出(業)	19,741,000	13,330,602	6,410,398
	雑支出(業)	77,000	98,500	-21,500
	援護費(業)	3,788,000	3,847,043	-59,043
	事務費支出	36,994,000	32,020,736	4,973,264
	諸謝金	134,000	77,957	56,043
	福利厚生費支出	1,109,000	388,830	720,170
	旅費交通費支出	556,000	357,400	198,600
	研修研究費支出	924,000	583,428	340,572
	資料購入費支出	75,000	33,816	41,184
	事務消耗品費支出	2,006,000	743,269	1,262,731
	印刷製本費支出	2,887,000	2,196,144	690,856
	修繕費支出	100,000		100,000
	通信運搬費支出	1,055,000	1,030,277	24,723
	会議費支出	66,000		66,000
	広報費支出	400,000	82,000	318,000
	委託費支出	4,412,000	4,588,381	-176,381
	手数料支出	1,284,000	1,073,878	210,122
	保険料支出	966,000	847,570	118,430
	賃借料支出	7,710,000	4,236,422	3,473,578
	租税公課支出	10,118,000	12,435,000	-2,317,000
	保守料支出	2,489,000	2,670,194	-181,194
	渉外費支出	200,000	206,000	-6,000
	諸会費支出	443,000	441,985	1,015
	雑支出	60,000	28,185	31,815
	返還金費用		9,565,395	-9,565,395
	市区町村補助金返還金支出		9,565,395	-9,565,395
	分担金支出	12,157,000	10,847,066	1,309,934
	分担金支出	12,157,000	10,847,066	1,309,934
助成金支出	300,000	600,000	-300,000	
助成金支出	300,000	600,000	-300,000	
その他の支出		23,580	-23,580	
雑支出		23,580	-23,580	
事業活動支出計(2)		440,967,000	419,455,957	21,511,043
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		-67,896,000	-43,113,996	-24,782,004
施設 整備 等 に よ る 収 支	収入			
	固定資産売却収入	2,100,000	2,954,120	-854,120
	その他の売却収入	2,100,000	2,954,120	-854,120
	施設整備等収入計(4)	2,100,000	2,954,120	-854,120
	支出			
	固定資産取得支出	2,435,000	1,710,740	724,260
器具及び備品取得支出	200,000		200,000	
その他の取得支出	2,235,000	1,710,740	524,260	
施設整備等支出計(5)	2,435,000	1,710,740	724,260	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-335,000	1,243,380	-1,578,380
そ の 他 の 入	収入			
	積立資産取崩収入	15,000,000	14,478,503	521,497
	退職給付引当資産取崩収入	15,000,000	14,478,503	521,497
	事業区分間繰入金収入	2,500,000	1,593,090	906,910
収益事業区分繰入金収入	2,500,000	1,593,090	906,910	

社会福祉事業拠点区分 資金収支計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
活動による収入	その他の活動収入計(7)	17,500,000	16,071,593	1,428,407
	積立資産支出	7,050,000	6,839,955	210,045
	退職給付引当資産支出	7,050,000	6,839,955	210,045
	その他の活動による支出	30,000	22,780	7,220
	その他の支出	30,000	22,780	7,220
	その他の活動支出計(8)	7,080,000	6,862,735	217,265
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		10,420,000	9,208,858	1,211,142
予備費支出(10)		5,000,000	—	
		-5,000,000		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-57,811,000	-32,661,758	-25,149,242
前期末支払資金残高(12)			589,547,302	-589,547,302
当期末支払資金残高(11)+(12)		-57,811,000	556,885,544	-614,696,544

第二号第四様式(第二十三条第四項関係)

社会福祉事業拠点区分 事業活動計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収	活動賛助金収益	2,858,800	2,808,400	50,400
	活動賛助金収益	2,436,800	2,392,400	44,400
	ふたばサービス賛助会費収益	422,000	416,000	6,000
	寄附金収益	6,535,348	5,508,838	1,026,510
	指定寄附金収益	597,000	437,000	160,000
	経常経費寄附金収益	5,938,348	5,071,838	866,510
	経常経費補助金収益	289,737,077	288,038,355	1,698,722
	市区町村補助金収益	283,774,000	275,274,000	8,500,000
	共同募金配分金収益	5,963,077	12,764,355	-6,801,278
	受託金収益	61,314,777	46,254,670	15,060,107
	市区町村受託金収益	38,177,562	24,711,973	13,465,589
	東社協受託金収益	21,817,215	20,222,697	1,594,518
	その他の受託金収益	1,320,000	1,320,000	
益	事業収益	10,269,000	8,364,120	1,904,880
	参加費収益	1,906,000	40,700	1,865,300
	利用料収益	8,363,000	8,323,420	39,580
	負担金収益	3,085,000	1,319,882	1,765,118
	負担金収益	3,085,000	1,319,882	1,765,118
	その他の収益	2,540,340	2,268,005	272,335
	雑収益	1,943,600	1,920,005	23,595
	退職手当積立基金預け金差益	596,740	348,000	248,740
	サービス活動収益計(1)	376,340,342	354,562,270	21,778,072
	サ ビ ス 活 動	人件費	260,627,873	258,679,667
職員給料		151,425,926	154,532,176	-3,106,250
職員賞与		33,859,797	36,927,876	-3,068,079
賞与引当金繰入		10,004,629	10,745,059	-740,430
非常勤職員給与		3,428,377	3,272,250	156,127
派遣職員費		7,710,686	6,626,171	1,084,515
退職給付費用		9,594,363	11,293,773	-1,699,410
法定福利費		35,550,694	35,282,362	268,332
区補助金返還金支出		9,053,401		9,053,401
事業費		96,625,937	72,748,222	23,877,715
教養娯楽費(業)		375,230	166,054	209,176
本人支給金(業)		1,660,000	1,410,000	250,000
水道光熱費(業)		74,087	432,918	-358,831
消耗器具備品費(業)		3,865,790	3,002,216	863,574
保険料(業)		1,758,970	1,195,253	563,717
賃借料(業)		7,923,007	8,535,065	-612,058
諸謝金(業)		26,853,758	16,860,598	9,993,160
旅費交通費(業)		1,184,600	1,467,374	-282,774
研修費(業)		285,327	381,612	-96,285
資料購入費(業)		46,820	52,442	-5,622
印刷製本費(業)		8,505,423	6,676,800	1,828,623
修繕費(業)		210,610	204,110	6,500
通信運搬費(業)		4,296,390	5,091,347	-794,957
会議費(業)	61,014	65,255	-4,241	
業務委託費(業)	21,218,659	11,813,960	9,404,699	
手数料(業)	708,457	773,744	-65,287	
租税公課(業)	110,100	69,350	40,750	
渉外費(業)	128,550	10,420	118,130	

社会福祉事業拠点区分 事業活動計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
増	諸会費(業)	83,000	86,000	-3,000
	助成金支出(業)	13,330,602	10,589,210	2,741,392
	雑費(業)	98,500	2,400	96,100
	援護費(業)	3,847,043	3,862,094	-15,051
	事務費	32,044,066	30,123,025	1,921,041
	諸謝金	77,957	66,817	11,140
	福利厚生費	388,830	662,340	-273,510
	旅費交通費	357,400	299,740	57,660
	研修研究費	583,428	528,688	54,740
	本人支給金(務)	22,780		22,780
	資料購入費	33,816	54,396	-20,580
	事務消耗品費	743,269	795,750	-52,481
	印刷製本費	2,196,144	1,820,171	375,973
	通信運搬費	1,030,277	840,036	190,241
	会議費		9,240	-9,240
	広報費	82,000	344,000	-262,000
	委託費	4,588,381	2,577,118	2,011,263
	手数料	1,074,428	967,579	106,849
	保険料	847,570	810,230	37,340
	賃借料	4,236,422	4,070,770	165,652
租税公課	12,435,000	11,754,700	680,300	
保守料	2,670,194	3,069,148	-398,954	
渉外費	206,000	126,850	79,150	
諸会費	441,985	437,610	4,375	
雑費	28,185	887,842	-859,657	
返還金費用	9,565,395	11,919,571	-2,354,176	
区補助金返還金費用	9,565,395	11,919,571	-2,354,176	
分担金費用	10,847,066	10,360,918	486,148	
分担金費用	10,847,066	10,360,918	486,148	
助成金費用	600,000	150,000	450,000	
助成金費用	600,000	150,000	450,000	
減価償却費	976,966	1,079,396	-102,430	
減価償却費	976,966	1,079,396	-102,430	
徴収不能額		-757,320	757,320	
徴収不能額		-757,320	757,320	
その他の費用	23,580		23,580	
その他の費用	23,580		23,580	
サービス活動費用計(2)	411,310,883	384,303,479	27,007,404	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-34,970,541	-29,741,209	-5,229,332	
サービス活動外増減の部	受取利息配当金収益	2,137	2,357	-220
	受取利息配当金収益	2,137	2,357	-220
	その他のサービス活動外収益		1,808,150	-1,808,150
	雑収益		1,808,150	-1,808,150
	サービス活動外収益計(4)	2,137	1,810,507	-1,808,370
費				
	サービス活動外費用計(5)			
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,137	1,810,507	-1,808,370	

社会福祉事業拠点区分 事業活動計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
経常増減差額(7)=(3)+(6)			-34,968,404	-27,930,702	-7,037,702
特別増減の部	収益	事業区分間繰入金収益	1,593,090	3,885,457	-2,292,367
		収益事業区分繰入金収益	1,593,090	3,885,457	-2,292,367
		特別収益計(8)	1,593,090	3,885,457	-2,292,367
	費用	固定資産売却損・処分損	2		2
		その他の固定資産売却損・処分損	2		2
		特別費用計(9)	2		2
特別増減差額(10)=(8)-(9)			1,593,088	3,885,457	-2,292,369
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			-33,375,316	-24,045,245	-9,330,071
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		576,923,284	600,968,529	-24,045,245
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		543,547,968	576,923,284	-33,375,316
	基本金取崩額(14)				
	基金取崩額(15)				
	その他の積立金取崩額(16)				
	その他の積立金積立額(17)				
	次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)		543,547,968	576,923,284	-33,375,316

社会福祉事業拠点区分 貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

	資 産 の 部		負 債 の 部	
	当年度末	前年度末	当年度末	前年度末
流動資産	615,243,609	638,137,176	68,362,694	59,334,933
現金	1,816,377	2,074,521	48,865,993	39,452,028
預貯金	581,341,692	608,565,497	9,267,072	9,116,846
事業未収金	26,098,593	21,596,333	225,000	21,000
立替金	4,792,945	4,792,945	10,004,629	10,745,059
前払金	1,194,002	1,107,880	78,211,469	86,616,409
固定資産	80,078,522	89,937,450	78,211,469	86,616,409
基本財産	5,200,000	5,200,000	146,574,163	145,951,342
定期預金	5,200,000	5,200,000		
その他の固定資産	74,878,522	84,737,450	5,200,000	5,200,000
器具及び備品	3,827,993	4,804,959	543,547,968	576,923,284
権利	576,800	576,800	543,547,968	576,923,284
ソフトウェア		2		
退職給付引当資産	49,739,999	57,378,579	-33,375,316	-24,045,245
その他の固定資産	20,733,730	21,977,110	548,747,968	582,123,284
資産の部合計	695,322,131	728,074,626	695,322,131	728,074,626
			純 資 産 の 部	
			基本金	5,200,000
			基本金	5,200,000
			次期繰越活動増減差額	576,923,284
			次期繰越活動増減差額	576,923,284
			(うち当期活動増減差額)	-24,045,245
			純資産の部合計	582,123,284
			負債及び純資産の部合計	728,074,626
				622,821



## 計算書類に対する注記(社会福祉事業(抛)用)

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券等／償却原価法（定額法）

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ・車両運搬具、器具及び備品、ソフトウェア／定額法

#### (3) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金：当該会計年度までに負担すべき額を見積り、退職給付引手金に計上している
- ・賞与引当金：決算時において、翌年度の夏季賞与のうちの12月から3月分相当額を計上している

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

職員の退職金の支給に備えるために東京都社会福祉協議会の退職共済制度及び中小企業退職制度に加入しているほか、法人独自に引当を行っている。

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている

- (1) 社会福祉事業拠点計算書類(第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書
- (3) 拠点区分資金収支明細書
- (4) 社会福祉事業事業拠点におけるサービス区分の内容
  - ・社会福祉事業
  - ・共同募金事業

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	5,200,000	0	0	5,200,000
合 計	5,200,000	0	0	5,200,000

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

7. 担保に供している資産

該当なし

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
器具及び備品	18,499,400	14,671,407	3,827,993
権利	576,800	0	576,800
ソフトウェア	941,063	941,063	0
合 計	20,017,263	15,612,470	4,404,793

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし			
合 計			

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

第一号第四様式(第十七条第四項関係)

指定管理事業拠点区分 資金収支計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
収 入	受託金収入	161,174,000	159,126,660	2,047,340
	市区町村受託金収入	161,174,000	159,126,660	2,047,340
	事業収入	2,364,000	1,107,600	1,256,400
	参加費収入	2,314,000	1,075,600	1,238,400
	利用料収入	50,000	32,000	18,000
	その他の収入	55,000	52,000	3,000
	雑収入	55,000	52,000	3,000
	事業活動収入計(1)	163,593,000	160,286,260	3,306,740
事 業 活 動 に よ る 収 支	人件費支出	97,765,000	94,272,454	3,492,546
	職員給料支出	66,004,000	55,184,000	10,820,000
	職員賞与支出	18,038,000	15,733,323	2,304,677
	非常勤職員給与支出		5,349,087	-5,349,087
	派遣職員費支出		6,234,266	-6,234,266
	法定福利費支出	13,723,000	11,771,778	1,951,222
	事業費支出	55,775,000	44,425,724	11,349,276
	給食費支出	2,160,000	1,051,735	1,108,265
	医薬品費支出(業)	60,000		60,000
	教養娯楽費(業)	118,000	143,080	-25,080
	水道光熱費(業)	20,000	8,662	11,338
	燃料費(業)	5,000		5,000
	消耗器具備品費(業)	4,086,000	3,516,162	569,838
	保険料(業)	263,000	137,343	125,657
	賃借料(業)	2,722,000	1,761,037	960,963
	諸謝金支出	4,945,000	4,749,939	195,061
	旅費交通費支出	361,000	183,110	177,890
	研修費支出(業)	40,000	9,000	31,000
	資料購入支出(業)	290,000	198,662	91,338
	印刷製本費支出(業)	1,266,000	1,218,000	48,000
	修繕費支出(業)	418,000	140,030	277,970
	通信運搬費支出(業)	854,000	347,709	506,291
	会議費支出(業)	27,000	138	26,862
	業務委託費支出	35,589,000	30,004,386	5,584,614
	手数料支出(業)	20,000	69,850	-49,850
	租税公課支出(業)	1,000	20,000	-19,000
	助成金支出(業)	2,500,000	827,480	1,672,520
	雑支出(業)	30,000	39,401	-9,401
	事務費支出	7,778,000	8,088,697	-310,697
	旅費交通費支出	80,000	48,310	31,690
	研修研究費支出	52,000	115,500	-63,500
	資料購入費支出	31,000	42,760	-11,760
事務消耗品費支出	877,000	686,572	190,428	
印刷製本費支出	1,429,000	1,477,098	-48,098	
修繕費支出	150,000	53,150	96,850	
通信運搬費支出	221,000	144,426	76,574	
委託費支出	3,459,000	3,784,800	-325,800	
手数料支出	38,000	38,039	-39	
保険料支出	100,000	74,800	25,200	
賃借料支出	1,022,000	1,453,242	-431,242	
租税公課支出	6,000	600	5,400	
保守料支出	303,000	169,400	133,600	

指定管理事業拠点区分 資金収支計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
	雑支出	10,000		10,000	
	事業活動支出計(2)	161,318,000	146,786,875	14,531,125	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	2,275,000	13,499,385	-11,224,385	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出	固定資産取得支出	663,000	477,020	185,980
		その他の取得支出	663,000	477,020	185,980
	施設整備等支出計(5)	663,000	477,020	185,980	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-663,000	-477,020	-185,980		
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	支出	積立資産支出	1,612,000	2,426,895	-814,895
		退職給付引当資産支出	1,612,000	2,426,895	-814,895
	その他の活動支出計(8)	1,612,000	2,426,895	-814,895	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-1,612,000	-2,426,895	814,895		
	予備費支出(10)		—		
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		10,595,470	-10,595,470	
	前期末支払資金残高(12)		50,852,230	-50,852,230	
	当期末支払資金残高(11)+(12)		61,447,700	-61,447,700	

第二号第四様式(第二十三条第四項関係)

指定管理事業拠点区分 事業活動計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収 益	受託金収益	159,126,660	154,316,300	4,810,360
	市区町村受託金収益	159,126,660	154,316,300	4,810,360
	事業収益	1,107,600	239,800	867,800
	参加費収益	1,075,600	239,800	835,800
	利用料収益	32,000		32,000
	その他の収益	52,000	52,692	-692
	雑収益	52,000	52,692	-692
	サービス活動収益計(1)	160,286,260	154,608,792	5,677,468
サ ー ビ ス 活 動 費 の 部	人件費	96,476,168	93,815,777	2,660,391
	職員給料	55,184,000	53,205,090	1,978,910
	職員賞与	11,828,936	12,440,006	-611,070
	賞与引当金繰入	3,681,206	3,904,387	-223,181
	非常勤職員給与	5,349,087	6,048,310	-699,223
	派遣職員費	6,234,266	3,005,282	3,228,984
	退職給付費用	2,426,895	2,319,971	106,924
	法定福利費	11,771,778	12,892,731	-1,120,953
	事業費	44,425,724	42,702,264	1,723,460
	給食費(業)	1,051,735		1,051,735
	教養娯楽費(業)	143,080	78,701	64,379
	水道光熱費(業)	8,662	9,288	-626
	消耗器具備品費(業)	3,516,162	3,518,183	-2,021
	保険料(業)	137,343	189,180	-51,837
	賃借料(業)	1,761,037	2,127,124	-366,087
	諸謝金(業)	4,749,939	4,157,569	592,370
	旅費交通費(業)	183,110	104,240	78,870
	研修費(業)	9,000		9,000
	資料購入費(業)	198,662	97,380	101,282
	印刷製本費(業)	1,218,000	1,112,154	105,846
	修繕費(業)	140,030	533,500	-393,470
	通信運搬費(業)	347,709	530,290	-182,581
	会議費(業)	138	1,434	-1,296
	業務委託費(業)	30,004,386	29,456,419	547,967
	手数料(業)	69,850	113,302	-43,452
	租税公課(業)	20,000	20,200	-200
	助成金支出(業)	827,480	653,300	174,180
	雑費(業)	39,401		39,401
	事務費	8,088,697	6,659,255	1,429,442
	旅費交通費	48,310	51,340	-3,030
	研修研究費	115,500	68,500	47,000
	資料購入費	42,760		42,760
事務消耗品費	686,572	405,645	280,927	
印刷製本費	1,477,098	1,279,067	198,031	
修繕費	53,150	16,500	36,650	
通信運搬費	144,426	164,391	-19,965	
委託費	3,784,800	2,897,880	886,920	
手数料	38,039	27,591	10,448	
保険料	74,800	102,550	-27,750	
賃借料	1,453,242	1,420,333	32,909	
租税公課	600	200	400	
保守料	169,400	225,258	-55,858	

指定管理事業拠点区分 事業活動計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
	減価償却費		275,000	-275,000
	減価償却費		275,000	-275,000
	サービス活動費用計(2)	148,990,589	143,452,296	5,538,293
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	11,295,671	11,156,496	139,175
サービス活動外増減の部	収益			
	サービス活動外収益計(4)			
	費用			
	サービス活動外費用計(5)			
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)			
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	11,295,671	11,156,496	139,175
特別増減の部	収益			
	特別収益計(8)			
	費用			
	特別費用計(9)			
	特別増減差額(10)=(8)-(9)			
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	11,295,671	11,156,496	139,175
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	54,208,563	43,052,067	11,156,496
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	65,504,234	54,208,563	11,295,671
	基本金取崩額(14)			
	基金取崩額(15)			
	その他の積立金取崩額(16)			
	その他の積立金積立額(17)			
	次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	65,504,234	54,208,563	11,295,671

## 指定管理事業拠点区分 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

	資 産 の 部			負 債 の 部		
	当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	69,447,333	59,925,055	9,522,278	11,680,839	12,977,212	-1,296,373
現金	356,976	102,880	254,096	8,203,612	9,276,804	-1,073,192
預貯金	68,390,665	59,260,373	9,130,292	-203,979	-203,979	
事業未収金	-73,723	-73,723		3,681,206	3,904,387	-223,181
立替金	38,325	38,325		4,746,866	2,319,971	2,426,895
前払金	735,090	597,200	137,890	4,746,866	2,319,971	2,426,895
固定資産	12,484,606	9,580,691	2,903,915	16,427,705	15,297,183	1,130,522
その他の固定資産	12,484,606	9,580,691	2,903,915	純 資 産 の 部		
退職給付引当資産	9,490,926	7,064,031	2,426,895	65,504,234	54,208,563	11,295,671
その他の固定資産	2,993,680	2,516,660	477,020	65,504,234	54,208,563	11,295,671
				11,295,671	11,156,496	139,175
				純資産の部合計		
				65,504,234	54,208,563	11,295,671
				負債及び純資産の部合計		
資産の部合計	81,931,939	69,505,746	12,426,193	81,931,939	69,505,746	12,426,193

## 計算書類に対する注記(指定管理事業(抛)用)

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

該当なし

#### (3) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金：当該会計年度までに負担すべき額を見積り、退職給付引手金に計上している
- ・賞与引当金：決算時において、翌年度の夏季賞与のうちの12月から3月分相当額を計上している

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

職員の退職金の支給に備えるために東京都社会福祉協議会の退職共済制度及び中小企業退職制度に加入しているほか、法人独自に引当を行っている。

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 指定管理事業拠点計算書類(第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)
- (2) 拠点区分事業活動明細書
- (3) 拠点区分資金収支明細書
- (4) 指定管理事業拠点におけるサービス区分
  - ・研修センター事業
  - ・高齢者活動センター事業
  - ・維持管理・総合業務

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
該当なし				
合 計				

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし



7. 担保に供している資産

該当なし

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
該当なし			
合 計			

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の 当期末残高
該当なし			
合 計			

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし			
合 計			

11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

自動販売機設置等事業拠点区分 資金収支計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	事業収入	3,600,000	3,600,532	-532
		手数料収入	3,000,000	3,600,532	-600,532
		その他の収入	600,000		600,000
		その他の収入	800,000	411,258	388,742
		雑収入	800,000	411,258	388,742
		事業活動収入計(1)	4,400,000	4,011,790	388,210
	支出	事業費支出	1,650,000	2,012,200	-362,200
		水道光熱費(業)	1,200,000	997,059	202,941
		消耗器具備品費(業)		8,321	-8,321
		印刷製本費支出(業)		337,460	-337,460
		通信運搬費支出(業)		17,620	-17,620
		業務委託費支出		201,300	-201,300
		手数料支出(業)		440	-440
		助成金支出(業)	450,000	450,000	
事務費支出	事務費支出	250,000	406,500	-156,500	
	租税公課支出	250,000	406,500	-156,500	
	事業活動支出計(2)	1,900,000	2,418,700	-518,700	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	2,500,000	1,593,090	906,910	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
施設整備等支出計(5)					
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)					
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	支出	事業区分間繰入金支出	2,500,000	1,593,090	906,910
		社会福祉事業区分繰入金支出	2,500,000	1,593,090	906,910
	その他の活動支出計(8)	2,500,000	1,593,090	906,910	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-2,500,000	-1,593,090	-906,910		
予備費支出(10)		—			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)					
前期末支払資金残高(12)					
当期末支払資金残高(11)+(12)					

自動販売機設置等事業拠点区分 事業活動計算書

(自) 令和 4年 4月 1日 (至) 令和 5年 3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	事業収益	3,600,532	4,597,702	-997,170
		手数料収益	3,600,532	4,597,702	-997,170
		その他の収益	411,258	1,015,808	-604,550
		雑収益	411,258	1,015,808	-604,550
		サービス活動収益計(1)	4,011,790	5,613,510	-1,601,720
	費用	事業費	2,012,200	1,728,053	284,147
		水道光熱費(業)	997,059	1,239,746	-242,687
		消耗器具備品費(業)	8,321	11,407	-3,086
		印刷製本費(業)	337,460		337,460
		通信運搬費(業)	17,620		17,620
		業務委託費(業)	201,300		201,300
		手数料(業)	440		440
		租税公課(業)		26,900	-26,900
		助成金支出(業)	450,000	450,000	
事務費	事務費	406,500		406,500	
	租税公課	406,500		406,500	
	サービス活動費用計(2)	2,418,700	1,728,053	690,647	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		1,593,090	3,885,457	-2,292,367	
サービス活動外増減の部	収益				
		サービス活動外収益計(4)			
	費用				
サービス活動外費用計(5)					
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)					
経常増減差額(7)=(3)+(6)		1,593,090	3,885,457	-2,292,367	
特別増減の部	収益	特別収益計(8)			
		事業区分間繰入金費用	1,593,090	3,885,457	-2,292,367
	費用	社会福祉事業区分繰入金費用	1,593,090	3,885,457	-2,292,367
		特別費用計(9)	1,593,090	3,885,457	-2,292,367
特別増減差額(10)=(8)-(9)		-1,593,090	-3,885,457	2,292,367	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)					
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)				
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)				
	基本金取崩額(14)				
	基金取崩額(15)				
	その他の積立金取崩額(16)				
	その他の積立金積立額(17)				
次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)					

自動販売機設置等事業拠点区分 貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

(単位:円)

	資 産 の 部			負 債 の 部		
	当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	2,169,239	4,588,846	-2,419,607	2,169,239	4,588,846	-2,419,607
現金	6,000	6,000		2,169,239	4,588,846	-2,419,607
預貯金	1,882,027	4,126,064	-2,244,037	2,169,239	4,588,846	-2,419,607
事業未収金	281,212	456,782	-175,570			
				純 資 産 の 部		
資産の部合計	2,169,239	4,588,846	-2,419,607	2,169,239	4,588,846	-2,419,607

## 計算書類に対する注記(自動販売機設置等事業(拠)用)

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

該当なし

(3) 引当金の計上基準

該当なし

### 2. 重要な会計方針の変更

該当なし

### 3. 採用する退職給付制度

該当なし

### 4. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている

(1) 自動販売機設置等事業拠点計算書類（第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式）

(2) 拠点区分事業活動明細書

(3) 拠点区分資金収支明細書

(4) 自動販売機設置等事業拠点におけるサービス区分

・自動販売機設置等事業

### 5. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
該当なし				
合 計				

### 6. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

### 7. 担保に供している資産

該当なし

8. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。  
(単位：円)

	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
該当なし			
合 計			

9. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。  
(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金 の当期末残高	債権の 当期末残高
該当なし			
合 計			

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。  
(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
該当なし			
合 計			

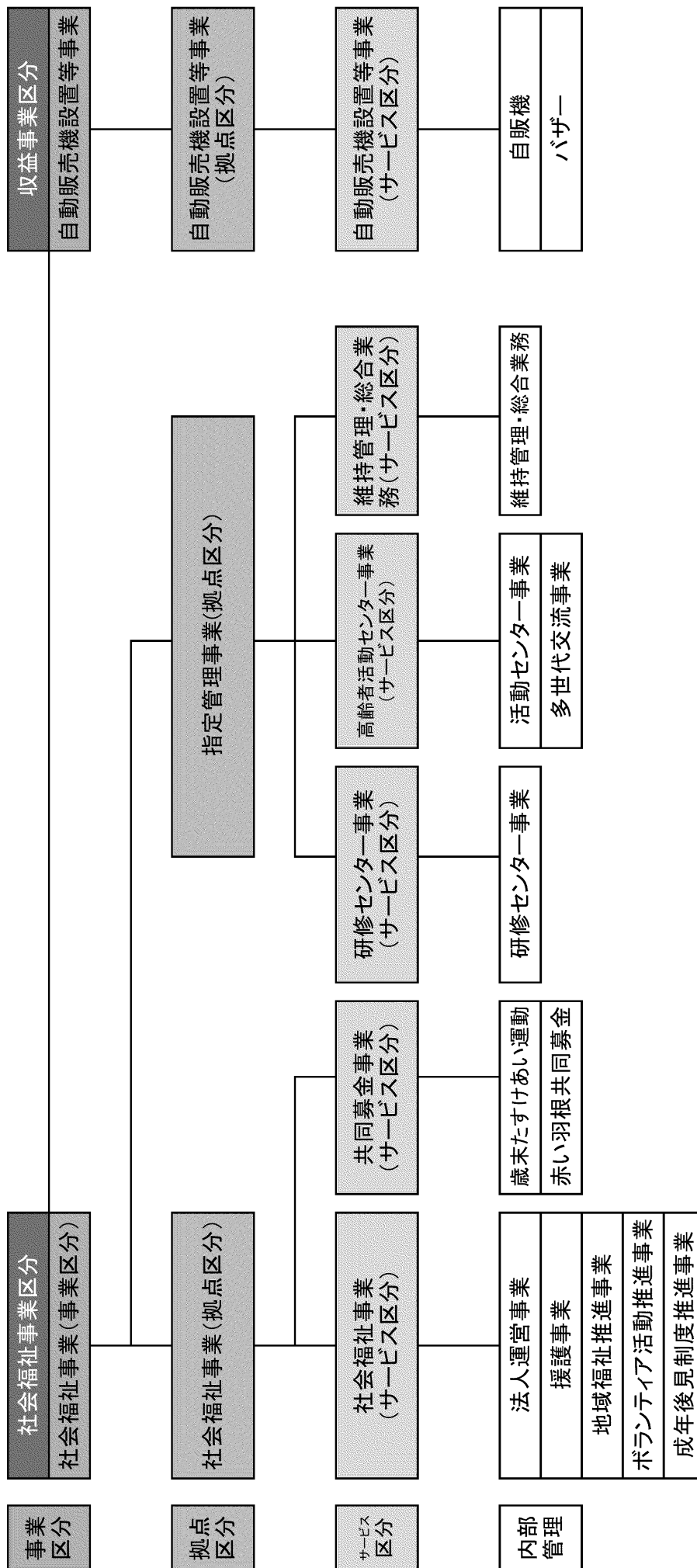
11. 重要な後発事象

該当なし

12. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

# 会計区分表



## 令和4年度歳末地域たすけあい募金 募金配分金

項 目	令和4年度募金 配分実績	令和3年度募金 配分実績
募 金 総 額	4,639,674	5,750,128
(1) 見舞金品贈呈事業費 (令和4年度に事業を実施します)	3,847,043	3,862,094
①支援を必要とする方々への見舞金	690,099 (実績17世帯)	731,794 (実績19世帯)
②障がい者への見舞金	2,557,721 (実績 986人)	2,507,400 (実績 995人)
③ひとり親家庭への見舞金	599,223 (実績231世帯)	622,900 (実績240世帯)
(2) 地域たすけあい活動費 (令和5年度に事業を実施します)	329,631	1,313,034
①ご近所福祉活動事業	0	483,034
②長寿会等地域団体支援事業	329,631	830,000
(3) 事務費 (資料作成費、郵送代、町会への協力金等)	463,000	575,000
①募金活動協力事務費	200,000	200,000
②周知ポスター、資料作成費、郵送費等	263,000	375,000





# 固定資産管理台帳

(単位：円)

資産の種類及び名称	取得年月日	数量	償却方法	耐用年数	償却率	償却月数	取得価額		期首帳簿価額		減価償却累計額		期末帳簿価額		摘要
							うち国庫補助金等の額	うち国庫補助金等の額	うち国庫補助金等の額	うち国庫補助金等の額	うち国庫補助金等の額	うち国庫補助金等の額			
<b>【無形固定資産】</b>															
[0081-00] 権利（電話加入権）	H13/ 2/ 5	1	非償却	***	*.***	**	576,800	0	576,800	0	0	0	576,800	0	
[0087-00] ウイルス対策ソフト一式	H21/ 6/25	1	新定額法	5	0.200	12	101,063	0	1	0	101,062	0	0	0	
[0090-00] ふたばサービスシステム一式	H22/ 3/31	1	新定額法	5	0.200	12	840,000	0	1	0	839,999	0	0	0	
計							1,517,863	0	576,802	0	941,061	0	576,800	0	
無形固定資産計							1,517,863	0	576,802	0	941,061	0	576,800	0	
その他の固定資産合計							20,017,263	0	5,381,761	0	15,612,468	0	4,404,793	0	
固定資産合計							20,017,263	0	5,381,761	0	15,612,468	0	4,404,793	0	

## 高額寄付者一覧表

※敬称略

S 41. 04	三井信託銀行丸の内支店	金	5,000,000	円
S 41. 04	志 津 義 雄	金	1,000,000	円
S 44. 10	新 村 長次郎	金	10,000,000	円
S 46. 02	鈴 木 ミ ヨ	金	1,000,000	円
S 46. 02	東京駅名店会	金	1,000,000	円
S 57. 05	区内有力企業	金	46,000,000	円
	大 島 義 愛	金	3,000,000	円
	三菱信託銀行株式会社	金	3,000,000	円
	西 郷 之 厚	金	2,000,000	円
	株式会社富士銀行	金	2,000,000	円
	株式会社ホテルニューオータニ	金	2,000,000	円
	関東興業株式会社	金	2,000,000	円
	三菱地所株式会社	金	2,000,000	円
	日本テレビ放送網株式会社	金	2,000,000	円
	株式会社債券信用銀行	金	1,000,000	円
	株式会社ダイヤモンドホテル	金	1,000,000	円
	株式会社東條会館	金	1,000,000	円
	株式会社三菱銀行	金	1,000,000	円
	山京商事株式会社	金	1,000,000	円
	新村印刷株式会社	金	1,000,000	円
	飛島建設株式会社	金	1,000,000	円
	株式会社赤坂プリンスホテル	金	1,000,000	円
	株式会社埼玉銀行	金	1,000,000	円
	谷 口 正 治	金	1,000,000	円
	株式会社大信実業	金	1,000,000	円
	株式会社太陽神戸銀行	金	1,000,000	円
	東亜建設株式会社	金	1,000,000	円
	株式会社秀和	金	1,000,000	円
	前田建設工業株式会社	金	1,000,000	円
	鉄建建設株式会社	金	1,000,000	円
	富国生命保険相互会社	金	1,000,000	円
	野 沢 太 一 郎	金	1,000,000	円
	株式会社第一勧業銀行	金	1,000,000	円
	株式会社協和銀行	金	1,000,000	円
	株式会社主婦の友社	金	1,000,000	円
	ライト工業株式会社	金	1,000,000	円
	広瀬ビルディング株式会社	金	1,000,000	円
	水戸工業株式会社	金	1,000,000	円
	株式会社ホテルグランドパレス	金	1,000,000	円
	株式会社伊勢半	金	1,000,000	円
	株式会社三和銀行	金	1,000,000	円
	トヨタ自動車販売株式会社	金	1,000,000	円

S 58.05	平野宣朗	金	1,000,000	円
S 58.07	大島義愛	金	10,000,000	円
S 60.02	細川政英	金	50,000,000	円
S 60.12	五味ミキ	金	1,100,000	円
S 60.12	原島芳子	金	4,000,000	円
S 61.04	関柳子	金	1,000,000	円
S 61.04~	奥田嘉門	金	4,800,000	円
S 61.07	木村迪夫	金	10,000,000	円
S 62.10	大和殖産株式会社	金	1,000,000	円
S 62.11~	山の上ホテル	金	6,500,000	円
S 62.11	西郷之厚	金	20,000,000	円
S 63.06~	福田彰	金	4,000,000	円
S 63.10	篠田清乃	金	10,000,000	円
S 63.11	松澤猛	金	2,000,000	円
H01.01	名古屋路 ゆき江	金	2,000,000	円
H01.04	早川護正	金	2,000,000	円
H01.06	田村美江子	金	7,000,000	円
H01.07	持田豊	金	1,000,000	円
H01.11	泉邦夫	金	1,000,000	円
H01.12	濱田隆	金	5,000,000	円
H01.12	中村浩	金	5,000,000	円
H02.01	大橋一夫	金	1,000,000	円
H02.03	加藤竹代	金	1,000,000	円
H02.03	高橋伯雄	金	1,000,000	円
H02.03	垣見尚二郎	金	1,000,000	円
H02.12	平野宣朗	金	5,000,000	円
H03.01	柴藤つる	金	2,000,000	円
H03.10	石川芳和	金	2,000,000	円
H04.11	会澤輝男	金	1,000,000	円
H04.12	応用地質株式会社	金	1,000,000	円
H04.12	神浦哲男	金	1,000,000	円
H07.06	匿名	金	1,000,000	円
H08.01	加藤和男	金	1,000,000	円
H08.03	井出武甫	金	1,000,000	円
H08.06	丸野万亀恵	金	1,000,000	円
H08.11	宇治野イツ子	金	1,000,000	円
H08.12	社団法人東京都宅地建物取引業協会 千代田・中央支部	金	1,000,000	円
H09.10	佐々木忠男	金	1,000,000	円
H12.09	近藤まつ	金	1,000,000	円
H14.11	珈琲エリカ	金	1,000,000	円
H14.12	南山金太郎	金	1,000,000	円
H17.12	日産化学工業株式会社	金	1,139,670	円
H18.03	サンフロンティア不動産株式会社	金	2,000,000	円
H19.03	サンフロンティア不動産株式会社	金	3,000,000	円
H19.06	東京神田ライオンズクラブ	金	1,573,370	円
H20.02	大塚実	金	5,000,000	円

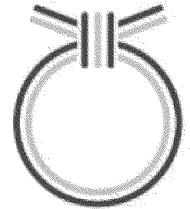
H20.03	サンフロンティア不動産株式会社	金	4,000,000	円
H20.04	田村要	金	1,000,000	円
H20.11	永田町一丁目町会	金	3,062,340	円
H20.11	大塚実	金	11,000,000	円
H21.03	正岡道一	金	3,000,000	円
H21.07	正岡道一	金	2,000,000	円
H21.09	清水朝香	金	5,000,000	円
H22.07	富士見二丁目北部地区市街地再開発組合	金	2,000,000	円
H22.08	千代田区民生・児童委員協議会	金	4,150,000	円
H24.12	宗教法人 真如苑	金	1,000,000	円
H25.03	サンフロンティア不動産株式会社	金	1,000,000	円
H25.12	河村 恣	金	111,844,604	円
H25.12	宗教法人 真如苑	金	1,000,000	円
H26.03	宮崎永子	金	1,000,000	円
H26.03	サンフロンティア不動産株式会社	金	1,000,000	円
H26.12	宗教法人 真如苑	金	1,000,000	円
H27.03	サンフロンティア不動産株式会社	金	1,000,000	円
H27.06	山田 故都	金	1,000,000	円
H27.12	根本 幹弘	金	1,000,000	円
H27.12	宗教法人 真如苑	金	1,000,000	円
H28.03	サンフロンティア不動産株式会社	金	1,000,000	円
H28.04	具頭 英子	金	1,500,000	円
H28.07	藤澤 トラ	金	1,000,000	円
H28.10	宮崎 永子	金	1,000,000	円
H28.12	根本 幹弘	金	1,000,000	円
H28.12	宗教法人 真如苑	金	1,000,000	円
H29.03	サンフロンティア不動産株式会社	金	1,000,000	円
H29.12	根本 幹弘	金	1,000,000	円
H29.12	故宮崎 永子	金	10,780,787	円
H29.12	宗教法人 真如苑	金	1,000,000	円
H30.03	サンフロンティア不動産株式会社	金	1,000,000	円
H30.05	故 嶽川愛子様	金	14,179,178	円
H30.12	宗教法人 真如苑	金	1,000,000	円
H30.12	根本 幹弘	金	1,000,000	円
H31.02	堀田 和子	金	1,000,000	円
H31.04	サンフロンティア不動産株式会社	金	1,000,000	円
R01.08	東京都立東部療育センター	金	1,000,000	円
R01.10	平野 邦夫	金	2,000,000	円
R01.11	宗教法人 真如苑	金	1,000,000	円
R02.04	サンフロンティア不動産株式会社	金	1,000,000	円
R02.12	宗教法人 真如苑	金	1,000,000	円
R03.03	サンフロンティア不動産株式会社	金	1,000,000	円
R03.12	宗教法人 真如苑	金	1,000,000	円
R04.02	故 窪田 正紀	金	1,000,000	円
R04.03	山崎金属産業株式会社	金	1,000,000	円
R04.03	サンフロンティア不動産株式会社	金	1,000,000	円
R04.12	宗教法人 真如苑	金	1,000,000	円
R05.03	山崎金属産業株式会社	金	1,000,000	円
R05.03	サンフロンティア不動産株式会社	金	1,000,000	円

# 千代田区社会福祉協議会が目指すもの

～活動理念(Mission)に基づく3つの目標(Vision)と8つの指針(Way)～

## 活動理念(Mission)

みんなが参加し、ささえ合うまちづくり



千代田区社会福祉協議会  
Chiyoda Council of Social Welfare

## 活動目標(Vision)

1. 公的な制度だけでは対応できない複雑多様な生活上の問題を解決するために、地域の社会資源の活用、多様な団体との協働、新たな仕組みづくりを行い、誰も取り残さない地域社会づくりに取り組みます。
2. 日常の生活圏における住民主体の福祉活動の立ち上げや支援、福祉団体、ボランティア・NPO等の多様な社会資源との関係づくりやネットワーク化を行い、インフォーマルな活動(家族、近隣、友人、民生委員、ボランティア、非営利団体などが行う支援や活動)を創出します。
3. サービスの受け手と支え手という関係を超え、誰もが支え手となり、すべての人が社会参加できる機会を作り、誰もが生きがいを持って生活できる地域共生社会の実現を目指します。

## 活動指針(Way)

1. アウトリーチを中心とした調査と地域との信頼関係に基づく情報収集により、地域の福祉課題を把握するとともに、社会資源を発掘し、多様な機関との関係づくりを行います。
2. 支援を必要とする人と支援ができる人とを結びつけます。
3. フォーマルサービスやインフォーマルな活動を適切に組み合わせ、必要な支援を調整します。
4. 多様な機関が集まる場を設け、課題解決のための情報共有やケース検討を行います。
5. 既存のサービスだけでは対応できない課題に対し、住み、働き、学ぶ広範な区民の主体的な活動を活性化することにより、新たなサービスや支援の仕組みを創出します。
6. 広範な区民に対して、地域や福祉について関心を持つ機会を提供することで、地域の福祉課題に気づき、地域の活動に参画し、主体的に行動しようという人を増やします。
7. 過剰な情報の中から必要な情報を選択できるよう支援するとともに、意思決定を尊重し、その権利を擁護します。
8. これらを達成するために、地域福祉推進のための体制を整備し、コミュニティソーシャルワークを実践します。

# 監査報告書

令和5年5月19日

社会福祉法人 千代田区社会福祉協議会

会 長 田 邊 恵 三 様

監事

鎌倉 勤

監事

櫻本 滋

監事

若月 曠義

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

### (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

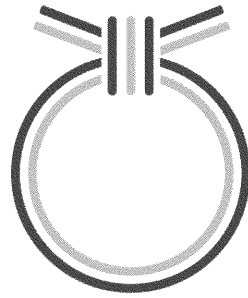
計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上









千代田区社会福祉協議会

令和5年6月